

消 防 年 報

令和 7 年度版



久 万 高 原 町 消 防 本 部

令和 8 年刊行

はじめに

1 この年報は、久万高原町消防本部の消防行政の現状を一般に紹介するとともに、近年ますます多様化現象にある災害に対処するための資料として、令和7年中の消防現勢及び消防業務の内容・火災・救急統計等を収録編さんしたものであります。

2 この年報は、人事・予算・予防・警防・救急等は会計年度及び暦年とし、一部を令和8年4月1日で集計し、令和7年中の統計を収録しました。

※会計年度 令和7年4月1日～令和8年3月31日

※暦 年 令和7年1月1日～令和7年12月31日

上記、ことわりのない限り同じ。

令和8年9月1日

久万高原町消防本部

目 次

久万高原町消防の現勢

久万高原町の概要	1
面積・人口・世帯数	2
消防・救急機関配置図	2
消防本部・署所の所在地 及び庁舎等の現況	3
消防本部の組織	4
歴代消防長	5
歴代消防署長	5
消防本部重点施策	6
消防力の現況	7
消防職員	8
消防予算	9

火災履歴の検証

火災の実態	11
-------	----

災害を未然に防止するために

火災予防	15
住宅防火対策	16
防火対象物	17
危険物	18

災害から住民を守るために

消防活動体制及び消防隊の活動状況	19
消防相互応援体制の状況	20
緊急消防援助隊	21
情報通信	22
無線局一覧表	23
Net119	24
消防水利	25
訓練	26
消防団	27
久万高原町消防警察捜索推進協議会	28
救急体制	29
救助体制	36

総務編

令和6年度おもな行事	37
職員の年齢別状況	39
消防職員研修状況	40
消防職員特殊技能有資格者状況	41
予算概況	42

予防編

年間の主な行事	43
防火対象物数・立入検査状況	44
消防用設備の設置状況	45
防火管理者の選任状況・消防計画 の届出状況	46
各種届出事務の処理状況	47

危険物施設数	48
危険物関係事務の処理状況	48
危険物手数料の徴収状況	49
危険物施設に対する査察状況	49

クラブ広報編

幼年消防クラブ	51
少年消防クラブ	53
女性防火クラブ	57
表彰及び助成事業状況	59
少年消防クラブ助成事業	60
少年消防クラブ コミュニティ助成事業	61

警防編

保有消防車両	63
消防機械器具の保有状況(抜粋)	64
化学消火薬剤保有状況	65
油処理剤保有状況	65
消防水利の状況	66
耐震性防火水槽設置状況	66
年間出動状況及び燃料消費量	67
月別出動状況	69
緊急通報受信状況	70
携帯 119 転送受信状況	70
覚知方法別受信状況	70
携帯電話別受信件数	70
久万高原町における気象記録	71
気象観測年報	72

火災統計編

火災発生状況	73
火災一覧表	74
地区別火災発生状況	75
月別火災発生状況	76
時間帯別火災発生状況	77
地区別火災発生一覧表	78

救急編

年別救急活動状況	79
月別救急活動状況	80
署・地区別救急活動状況	81
覚知方法別状況	81
曜日別発生件数状況	82
時間帯別発生件数状況	82
居住区別搬送人員の対人口比	82
年齢別区分搬送人員状況	83
医療機関別収容人員の状況	84
収容機関別状況	85
事故種別・傷病程度	85
急病疾患別内訳	86
事故種別・理由別不搬送	86
緊急電話受信時における口頭指導内容	87
応急処置及び拡大処置件数	87

現場到着所要時間	88
収容所要時間状況	88
平均出場時間	88
ドクターヘリの運行・ドクターカー運用状況	89
ドクターヘリ運航状況	90

救助編

救助出動及び活動状況	91
救助関係資器材の保有状況	92
ヘリコプター新離着陸場一覧	93

消防団編

消防団の沿革	95
階級別消防団員数	100
消防団員の職業構成	100
年齢別消防団員数	101
在職年数別消防団員数	101
消防団員の退職・新任状況	101
消防団年俸調べ	101
消防団手当調べ	101
久万高原町消防団組織図	102
各方面隊別出動範囲	103
本部消防隊	104
久万方面隊	104
消防ポンプ自動車調査表	104
消防積載自動車調査表	104
小型(可搬)ポンプ配置調査表	104
面河方面隊	105
消防積載自動車調査表	105
小型(可搬)ポンプ配置調査表	105
美川方面隊	105
消防積載自動車調査表	105
小型(可搬)ポンプ配置調査表	106
柳谷方面隊	106
消防積載自動車調査表	106
小型(可搬)ポンプ配置調査表	106
方面隊別消防団保有資器材	107
消防団幹部調べ	108
久万高原町消防団長	108
久万高原町消防操法大会成績表	109
愛媛県消防操法大会成績表	110

久万高原町
消防の現勢

久万高原町の概要

〔位 置〕

四国山脈は石鎚山から西と南西に主脈を分けて走り、久万高原町はこの主脈に挟まれた標高 400～800m の山岳丘陵地域です。北に松山市、伊予郡、東温市、東に西条市、南に高知県、西に喜多郡、西予市と接し、県下でも数少ない海を持たない地域です。

〔気 候〕

夏は冷涼多雨、冬は寒気厳しく平均して 12 月下旬から 3 月初旬まで降雪があり、10 月下旬に初霜、5 月初旬に晩霜を見るという内陸高冷地型の気候です。そのため、夏には「四国の軽井沢」、冬は「四国の北海道」と呼ばれています。

〔産 業〕

基幹産業は農林業であり、厳しい自然条件が育てる杉・檜などの良質な木材や、夏季冷涼な気候を生かしたトマト・ピーマン・清流米などの高原野菜の生産が町の産業を支えています。

〔観 光〕

久万高原町は、平均標高 800m の冷涼な気候に恵まれ、面河溪、石鎚山、御三戸、四国カルスト、皿ヶ嶺など従来より避暑地、行楽地として多く人が訪れます。また、四国霊場 88 ヶ所の札所 44 番大宝寺、45 番岩屋寺があり、遍路姿の巡礼者も多く訪れています。

〔町村合併〕

平成 16 年 8 月 1 日、1 町 3 村（久万町、面河村、美川村、柳谷村）の合併により久万高原町が誕生しました。

〔消防業務〕

平成 16 年 12 月 31 日、町村合併に伴い昭和 48 年から 31 年続いた『上浮穴郡生活環境事務組合』の歴史に幕を閉じ、平成 17 年 1 月 1 日から久万高原町を管轄とする『久万高原町消防本部・署』として業務を継承しています。

また、平成 17 年 4 月 1 日から消防団事務も新たに加わりました。平成 28 年 6 月 23 日には、久万高原町下野尻に消防本部・署新庁舎が完成し、運用を開始しました。



面積・人口・世帯数

令和2年の国勢調査での総人口は7,404人で、その後、人口の都市集中により、過疎化と高齢化の一途をたどり、令和8年3月31日現在、令和2年の89.3%にあたる6,610人（高齢化率51.8%）まで減少しています。

区 分 構成 地区別		面 積 km ²	人 口			世 帯 数		
			令和2年 国勢調査	令和7年 3月31日	令和8年 3月31日	令和2年 国勢調査	令和7年 3月31日	令和8年 3月31日
久万高原町	久 万	164.95	7,404	6,799	6,610	3,638	3,902	3,843
	面 河	157.81						
	美 川	134.38						
	柳 谷	126.55						
合 計		583.69	7,404	6,799	6,610	3,638	3,902	3,843

久万高原町消防機関配置図



凡 例

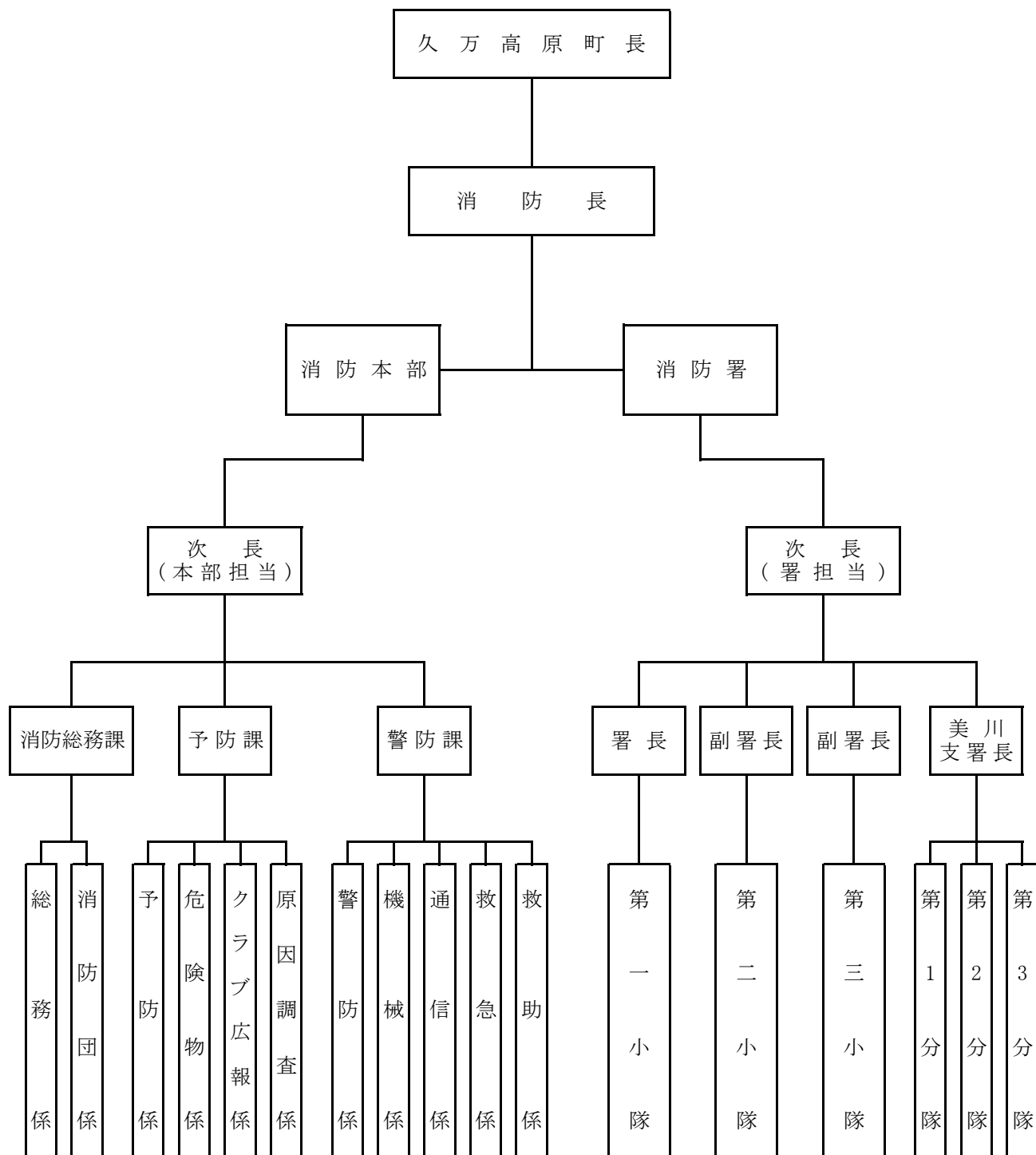
	本部・署
	支 署
	団本部
	無線基地局

消防本部・署所の所在地および庁舎等の現況

名 称		所 在 地	
久 万 高 原 町 消 防 本 部 ・ 消 防 署	庁舎・車庫棟	上浮穴郡久万高原町下野尻甲33番地	
		建 築 構 造	延べ面積
		鉄 筋 コ ン ク リ ー ト ・ 3 階 建	1,821.30㎡
	訓練主塔	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト ・ 3 階 建	122.50㎡
	車 庫 棟	鉄 骨 造 ・ 1 階 建	148.14㎡
	土嚢・砂置棟	鉄 骨 造 ・ 1 階 建	22.75㎡
	特定屋内貯蔵所	鉄 骨 造 ・ 1 階 建	18.11㎡
	自 転 車 プロパン置場	そ の 他	13.37㎡
	合計	敷地面積 建築面積 延床面積	9,839.42㎡ 1,307.51㎡ 2,146.17㎡
消 防 署 美 川 支 署	上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1		
	建 築 構 造	延べ面積	
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト ・ 4 階 建 (地 下 室 ・ 1 階 の 一 部)	2462.91㎡ (161.05㎡)	
消 防 署 無 線 中 継 所	上浮穴郡久万高原町日野浦4368番地 (大川嶺基地局) 上浮穴郡久万高原町柳井川3537番地 (柳谷基地局) 上浮穴郡久万高原町久万188番地 (久万中継局)		
	建 築 構 造	延べ面積	
	鉄筋コンクリート造 (大川嶺基地局) 軽量鉄骨造(柳谷基地局) 軽量鉄骨造(久万中継局)	30.25㎡ 20.00㎡ 12.00㎡	

消防本部の組織

〔組 織〕



歴 代 消 防 長

年 代	氏 名	在 任 期 間	在 任 年 数
初 代	山 下 岩 男	自 昭 和 53 年 4 月 1 日 至 昭 和 58 年 3 月 31 日	5 年
2 代	中 嶋 徹	自 昭 和 58 年 4 月 1 日 至 平 成 63 年 3 月 31 日	5 年
3 代	平 岡 新太郎	自 昭 和 63 年 4 月 1 日 至 平 成 5 年 3 月 31 日	5 年
4 代	城 戸 武 士	自 平 成 5 年 4 月 1 日 至 平 成 17 年 3 月 31 日	12 年
5 代	山 本 進	自 平 成 17 年 4 月 1 日 至 平 成 20 年 3 月 31 日	3 年
6 代	小 倉 一 幸	自 平 成 20 年 4 月 1 日 至 平 成 25 年 3 月 31 日	5 年
7 代	織 川 真 二	自 平 成 25 年 4 月 1 日 至 平 成 31 年 3 月 31 日	6 年
8 代	高 野 貢	自 平 成 31 年 4 月 1 日 至 令 和 3 年 3 月 31 日	2 年
9 代	大 野 秋 義	自 令 和 3 年 4 月 1 日 至 令 和 5 年 3 月 31 日	2 年
10 代	大 野 秋 義	自 令 和 5 年 4 月 1 日 至 令 和 8 年 3 月 31 日	3 年
11 代	山 口 直 樹	自 令 和 8 年 4 月 1 日 至 現 在	

歴 代 消 防 署 長

年 代	氏 名	在 任 期 間	在 任 年 数
初 代	山 下 岩 男	自 昭 和 53 年 4 月 1 日 至 昭 和 58 年 3 月 31 日	5 年
2 代	中 嶋 徹	自 昭 和 58 年 4 月 1 日 至 平 成 63 年 3 月 31 日	5 年
3 代	城 戸 武 士	自 昭 和 63 年 4 月 1 日 至 平 成 15 年 3 月 31 日	15 年
4 代	小 倉 一 幸	自 平 成 15 年 4 月 1 日 至 平 成 20 年 3 月 31 日	5 年
5 代	織 川 真 二	自 平 成 20 年 4 月 1 日 至 平 成 24 年 3 月 31 日	4 年
6 代	平 岡 幸 夫	自 平 成 24 年 4 月 1 日 至 平 成 30 年 3 月 31 日	6 年
7 代	高 野 貢	自 平 成 30 年 4 月 1 日 至 平 成 31 年 3 月 31 日	1 年
8 代	大 野 秋 義	自 平 成 31 年 4 月 1 日 至 令 和 2 年 3 月 31 日	1 年
9 代	明 賀 徹	自 令 和 2 年 4 月 1 日 至 令 和 3 年 3 月 31 日	1 年
10 代	岡 本 剛	自 令 和 3 年 4 月 1 日 至 令 和 6 年 3 月 31 日	3 年
11 代	山 口 直 樹	自 令 和 6 年 4 月 1 日 至 令 和 8 年 3 月 31 日	2 年
12 代	高 岡 憲 一	自 令 和 8 年 4 月 1 日 至 現 在	

消防本部重点施策

近年、災害や事故に対する不断の備えの重要性はますます増大し、住民の消防に寄せる期待は極めて大きなものがあります。消防行政において第一時的な役割を担っている地方公共団体は安全で安心な地域社会づくりに向け、消防防災行政の推進及びその体制の充実強化を図っています。

また、久万高原町は高齢者が51.8%を占める高齢化社会の進展した町であり、このことを踏まえ職員一人ひとりが社会と住民のニーズに応え得る消防行政に邁進し、毎日が安全であるという確かな手応えが得られるよう職務に精励しなければなりません。

これらの背景を踏まえ、令和7年度においては下記の事項を重点施策として掲げ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」に努めました。

重 点 施 策	主 な 推 進 策
1 消防防災体制の整備	● 防災対策の充実強化 ・ 地域防災計画の見直しに伴う警防計画の整備 ● 消防体制の充実強化 ・ 消防機関間の柔軟な連携・協力の推進 ・ 自然災害(地震、水害等)の研究と対応能力の向上 ・ トンネル災害を想定した訓練及び隣接消防との連携訓練 ● 救急業務の高度化 ・ 救急救命士再教育及び職員の教育研修 ・ MC体制に伴う業務高度化の方策 ・ 応急手当の普及啓発活動の推進 ・ 救急活動時における安全管理徹底と感染防止対策
2 地域の防災対応能力の向上	● 地域の防災能力の向上 ・ 地域における防災力の強化 ・ 防災ボランティアの育成と自主防災組織の育成強化 ・ 常備・非常備消防活動の一体化 ・ 高齢者を対象とした住宅防火対策の推進 ● 住民の防災意識と行動力の向上 ・ 住宅用火災警報器の設置推進及び適正な維持管理 ・ 災害時要援護者対策 ・ AED普及に伴う救命講習の推進
3 将来に向けた組織づくり	● 消防職員の資質の向上対策 ・ 創造性の醸成と日常業務の創意工夫の実践, 職責の完遂 ・ 安全運転と道路交通法の厳守 ・ 法, 条例, 規則, 規程等の習熟と遵守 ・ 働きやすい職場環境づくりへの取組み(ハラスメントの防止) ● 消防の広域化等 ・ 女性消防吏員の職域拡大に関する検討 ・ 女性消防吏員の活躍に向けた取組の推進

消防力の現況

区 分		基準数	現有数	充足率(%)
施 設	消 防 署 所	2	2	100
消 防 車 等	指 揮 車	1	1	100
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	100
	救 急 自 動 車 (非 常 用 1 台 除 く)	3	3	100
	救 助 工 作 車	1	1	100
	そ の 他 特 殊 車 両	5	5	100
	合 計	12	12	100
人 員	指 揮 隊 員	10	3	30
	消 防 隊 員	23	15	65
	救 急 隊 員	30	18	60
	救 助 隊 員	17	1	6
	警 防 要 員 小 計	80	33	41
	予 防 要 員	2	2	100
	通 信 員	3	3	100
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員	6	6	100
	小 計	12	12	100
	合 計	92	46	50
水 利	消 防 水 利 数	1,154	855	74

※基準数は令和7年度消防力の整備指針による。

消 防 職 員

消防職員は、住民の期待に応えるべく、防災の担い手として、住民の命と暮らしを守り、安全な地域づくりに向けて、災害の予防、災害の防御、救急救助の消防業務に尽力していきます。

現在の職員には、災害の複雑多様化、高度情報化の進展をはじめとする時代の変化に対応し、また、住民に密着した防災行政を適切に遂行できる防災行政職員としての手腕が求められます。

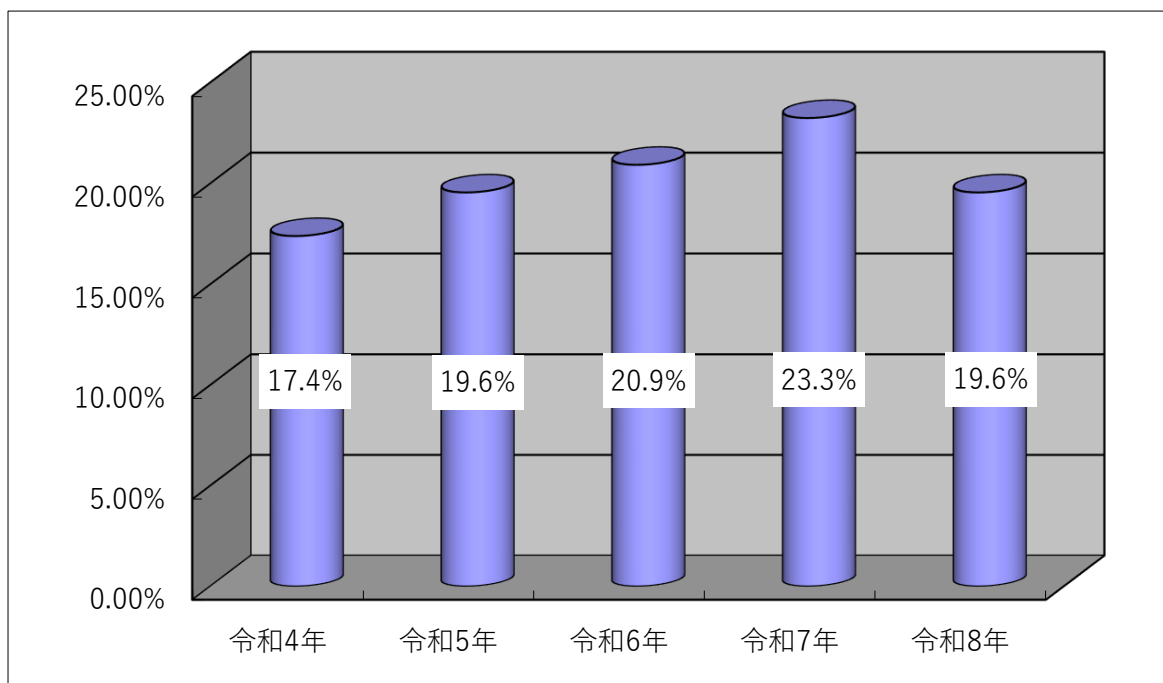
所 属		階 級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他	計
消 防 本 部	消 防 長		1	—	—	—	—	—	—	1
	消 防 次 長		—	1	—	—	—	—	—	1
	消 防 総 務 課		—	—	—	—	—	1	—	1
	予 防 課		—	1	—	—	—	—	—	1
	警 防 課		—	1	—	—	—	—	—	1
	本 部 付		—	—	—	—	—	3	—	3
	団 係		—	1	—	—	—	—	1	2
	役 場 出 向		—	1	—	—	—	—	—	1
計			1	5	0	0	0	4	1	11
消 防 署	署 長		—	1(1)	—	—	—	—	—	1(1)
	副署長・支署長		—	6	—	—	—	—	—	6
	第 1 小 隊		—	—	2	2	2	1	—	7
	第 2 小 隊		—	—	4	1	—	2	—	7
	第 3 小 隊		—	—	3	—	—	3	—	6
	美 川 支 署		—	—	3	2	2	1	—	8
計			0	7(1)	12	5	4	7	0	35(1)

() 兼務

〔職員の年齢構成〕

令和8年4月1日現在の消防職員の平均年齢は37.4歳であり、50歳以上の職員構成は19.6%となっています。

〔50歳以上の職員構成〕



消防予算

令和8年度消防予算は、財源の効率的かつ重点的な配分と経費の節減に努め、これまでに進めてきた施策や事業の着実な実現を図るとともに、災害に強く住民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」を推進することとしました。この基本姿勢のもとに編成当初予算478,970千円 となっています。

〔一般会計予算に対する消防費の割合〕

区 分		令和8年度当初予算（千円）
一 般 会 計 予 算 額		9,077,177
消 防 費 （ 町 全 体 ）		478,970
一 般 会 計 対 構 成 比		5.3%
消防費内訳	常 備 消 防 費	363,121
	非 常 備 消 防 費	53,626
	消 防 施 設 費	21,271
	災 害 対 策 費	40,952

〔令和7年度消防予算額〕

区 分		令和7年度当初予算額 （千円）	令和6年度当初予算額 （千円）	対前年度予算の増減 (▲は減)	
				比較(千円)	割合(%)
消 防 費		459,125	443,179	15,946	3.6
内 訳	人 件 費	344,877	338,547	6,330	1.9
	物 件 費	85,270	77,941	7,329	9.4
	維 持 補 修 費	0	600	▲ 600	—
	補 助 費	28,972	26,089	2,883	11.1
	普 通 建 設 事 業 費	0	0	0	—
	積 立 金	6	2	4	—

〔主 な 事 業 の 概 要 〕

- (1) 救急救命九州研修所救急救命士研修課程第44期(北九州市) 1名
- (2) 消防職員ハラスメント防止研修
- (3) 指令台更新

非常備分

- (1) 小型動力ポンプ付軽四輪駆動積載車整備

火災履歴の
検証

火災の実態

(1) 出火件数 0 件

令和 7 年中の出火件数は 0 件となっています。出火率(人口 1 万人あたりの出火件数)は、0 件/万人で、全国平均の出火率 3.1 件/万人(令和 7 年版「消防白書」)を下回っています。

< 令和 7 年中 >

火災件数	0 件	損害額(全火災)	0 千円
建物火災件数	0 件	損害額(建物火災)	0 千円
建物以外の火災件数	0 件	り災世帯数	0 世帯
建物焼損床面積	0 m ²	り災人員	0 人
林野焼損面積	0 a	死者	0 人
焼損棟数	0 棟	負傷者	0 人

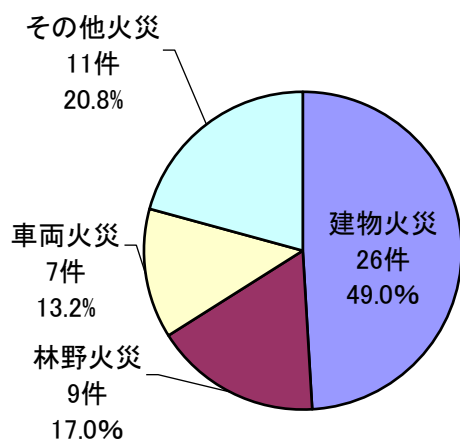
久万高原町人口：6,801 人

(注) 人口は令和 7 年 4 月 1 日現在

(2) 建物火災の占める割合は約 5 割

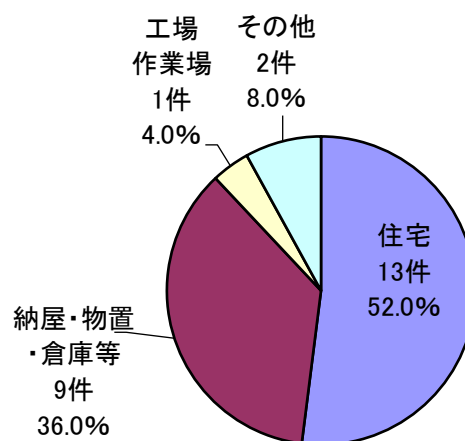
平成 28 年から令和 7 年までの火災出火件数 53 件のうち、建物火災は 26 件(49.0%)となっています。また、建物火災を用途別にみると、住宅火災が 13 件と最も多く、全体の 52.0%を占めています。

< 火災種別出火件数の構成比率 >



(平成 28 年～令和 7 年/出火件数 53 件)

< 建物火災における用途別構成比率 >

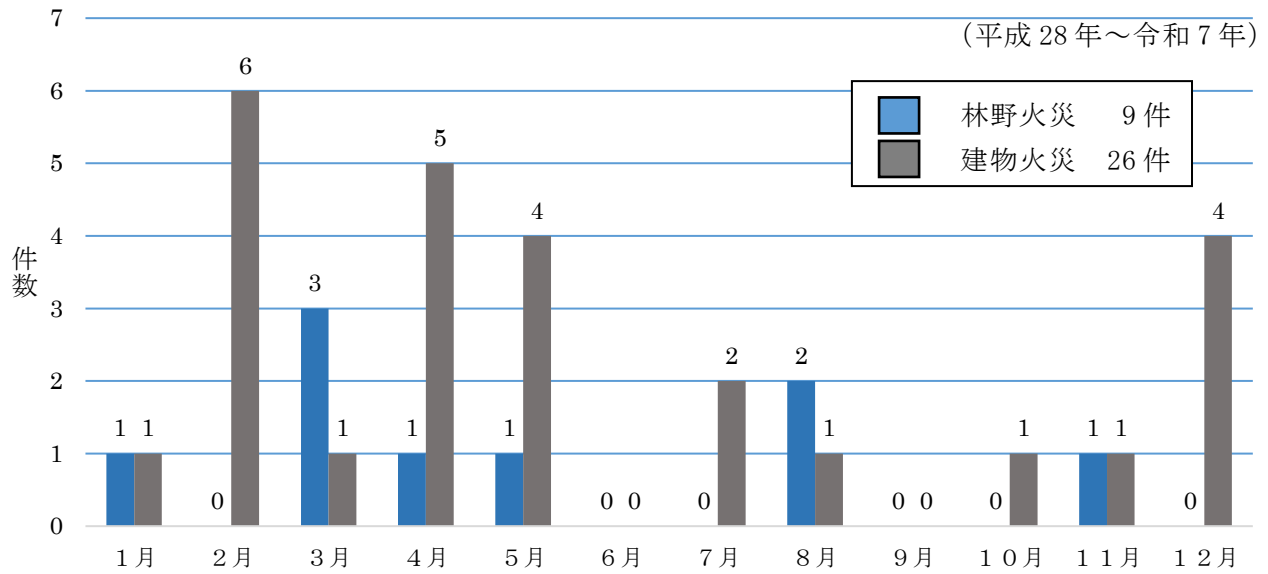


(平成 28 年～令和 7 年/建物火災件数 26 件)

(3) 建物火災は冬季から春季が多発傾向

過去 10 年間の月別出火件数をみると、2 月と 4 月に建物火災が発生しています。建物火災は冬季から春季にかけて、林野火災は春季に多く発生する傾向があります。

〈林野及び建物火災の月別出火件数〉



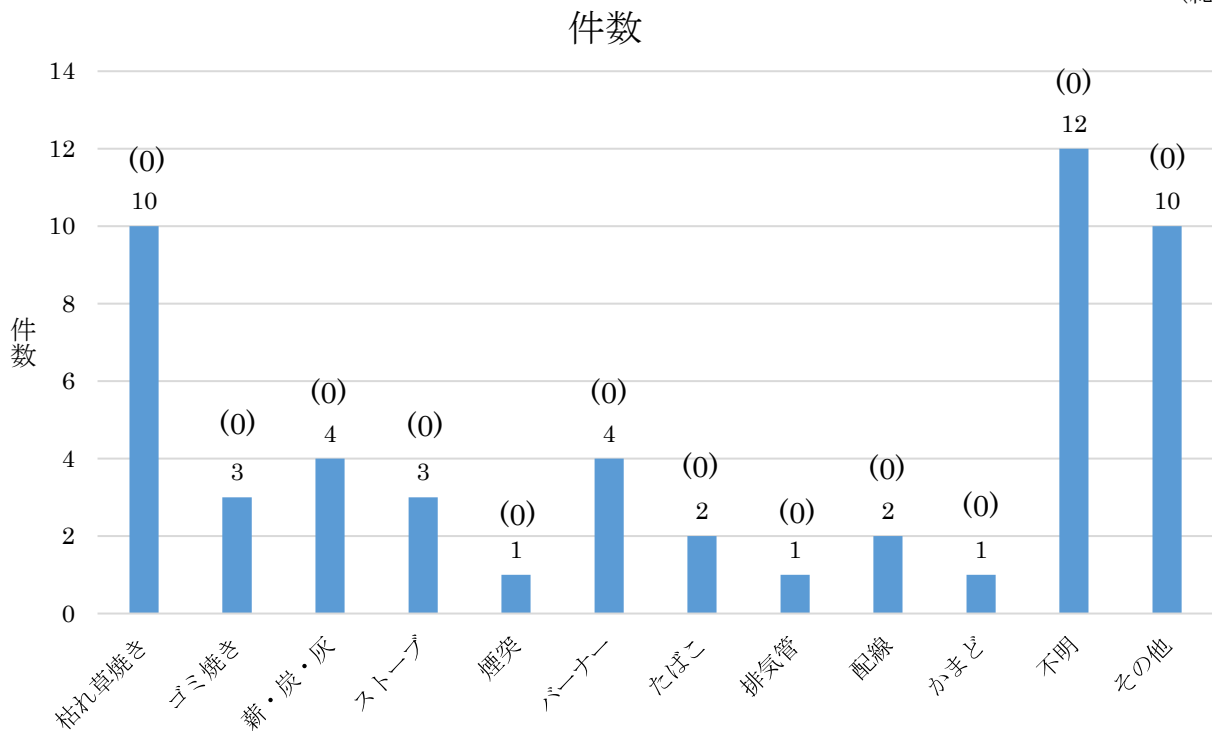
(4) 出火原因の大半は火気取扱いの不注意

平成 28 年から令和 7 年までの火災原因（出火件数 53 件）みると、枯れ草焼き 10 件（18.9%）、ゴミ焼き 3 件（5.7%）、薪・炭・灰が 4 件（7.5%）等となっています。

〈出火原因別の出火件数〉

(平成 28 年～令和 7 年)

(総数 53 件)

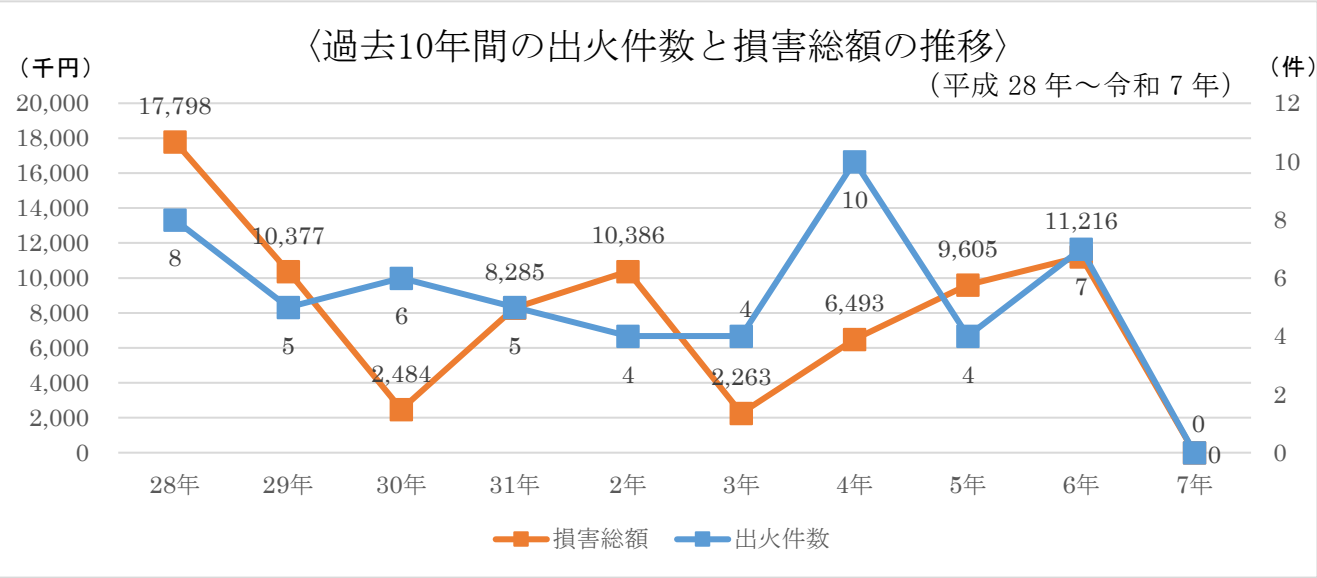


※()内は令和 7 年中の出火原因件数

※出火原因の区分(名)は当本部の火災調査取扱要領による。

(5) 出火件数は 0 件

令和 7 年の出火件数は 0 件でした。



(6) 死傷者件数

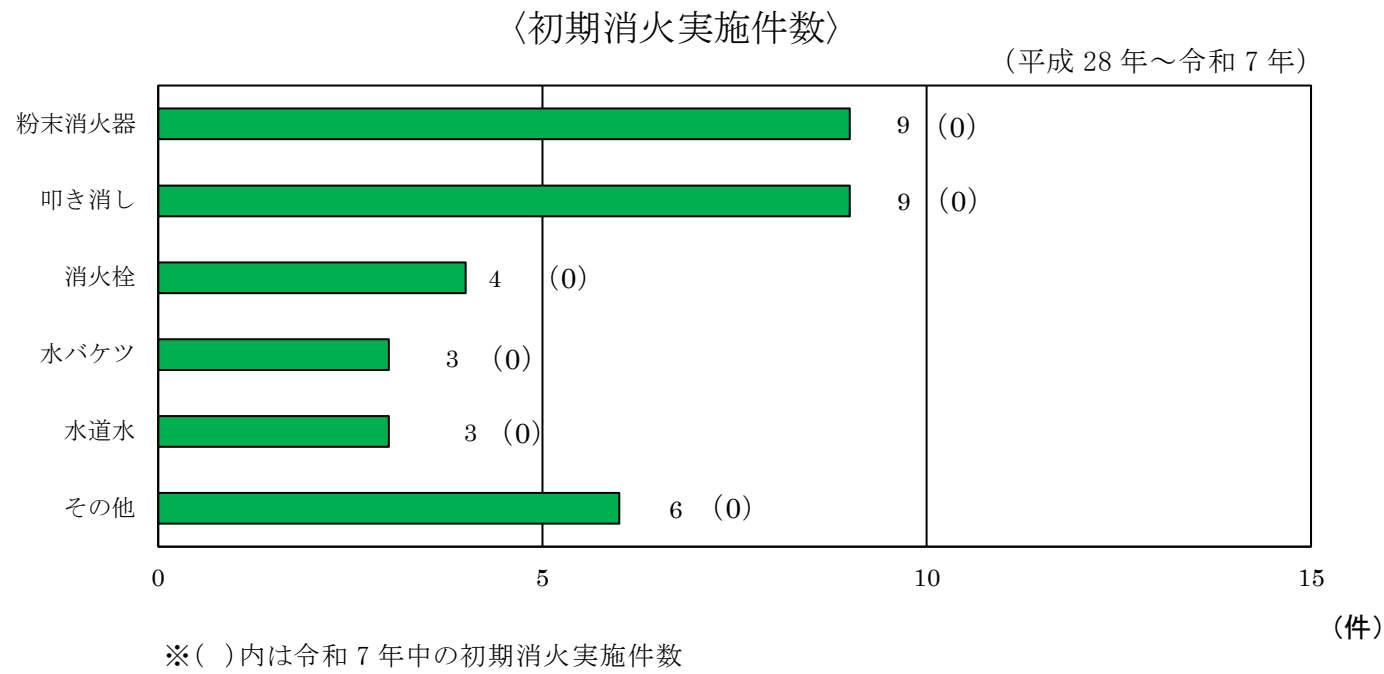
令和 7 年中の死傷者は、負傷者 0 名、死者 0 名となっています。なお、死者については、平成 29 年 5 月以降発生していません。

〈死傷者件数〉
(平成 28 年～令和 7 年)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
死者	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
負傷者	2	－	1	－	1	1	2	1	1	－

(7) 初期消火実施率 64.2%

過去 10 年間で初期消火の状況を見ると、全火災 53 件中 34 件(64.2%)で実施されており、内訳は粉末消火器が 9 件、叩き消し 9 件、水バケツ 3 件、水道水 3 件、消火栓 4 件、その他 6 件となっています。



災害を未然に
防止するために

火災予防

〔広報活動〕…住民とつながり、期待に応える

消防広報は、消防の実態や各種施策を広く住民に伝え、理解と協力を得るとともに、住民とふれあうなかで要望や意見などを把握し、消防行政に反映するために行う重要な活動です。

当本部では、広報誌・ホームページを活用し、災害や防火・防災に関する情報提供のほか、高齢者宅防災診断、防火ポスター等コンクール、消防フェスタ、消防団及び幼・少年・女性防火クラブの活動、火災予防運動等を通じた防火・防災思想の普及など、積極的な広報活動を展開しています。

〔幼・少年・女性防火委員会〕…地域に根ざした防災活動

管内の人口減少と高齢化の進行を踏まえ、地域に根ざした防災活動を推進するため、幼・少年・女性防火委員会を設置しています。各クラブの結成と人材育成を図ることで、住民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」を目指しています。

＜幼・少年・女性防火クラブ結成状況＞

区 分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
幼年消防クラブ	ク ラ ブ 数	5	—	1	1	7 クラブ
	クラブ員数	118	—	6	5	129 人
少年消防クラブ	ク ラ ブ 数	6	1	2	1	10 クラブ
	クラブ員数	93	3	30	6	132 人
女性防火クラブ	ク ラ ブ 数	3	1	—	—	4 クラブ
	クラブ員数	71	8	—	—	79 人

〔防火・防災に関する知識・技術の住民普及〕…地域ぐるみの防災体制と共助の力を強化

地域ぐるみの防災体制と共助の力を強化するためには、日頃から近隣や地域とのつながりを大切にし、住民一人一人が高い防火・防災意識を持つことが重要です。災害時には、その意識に基づき、迅速かつ的確な通報、初期消火、避難を行うとともに、正しい知識と行動力を身につけた自主的な防災活動が不可欠です。

このため、防火クラブや自治会などの自主防災組織、事業所等に対して防火・防災に関する知識の普及啓発を行うとともに、防災訓練等を通じて、地域ぐるみの防災体制の一層の強化を図っています。

＜防災・防火教室等実施状況＞

区 分	学校関係	事業所	地域関係	総 計
実施回数	6	34	1	41 回
参加者数	550	768	20	1, 338 人

〔林野火災対策〕…林野火災注意報・警報の運用開始

近年の大規模林野火災の発生事例を踏まえ、令和 8 年 1 月 1 日から林野火災警報・注意報の運用を開始しています。この注意報・警報は、少雨や乾燥、強風などにより林野火災発生危険性が高まった場合に発令し、火の使用を制限することで林野火災予防の実効性を図るものです。

当本部では、運用開始から注意報・警報の発令状況や林野火災の発生動向を検証しつつ、危険な気象条件が見込まれる場合のパトロール強化や関係機関等との連携を図り、林野火災の未然防止及び被害の軽減に努めています。

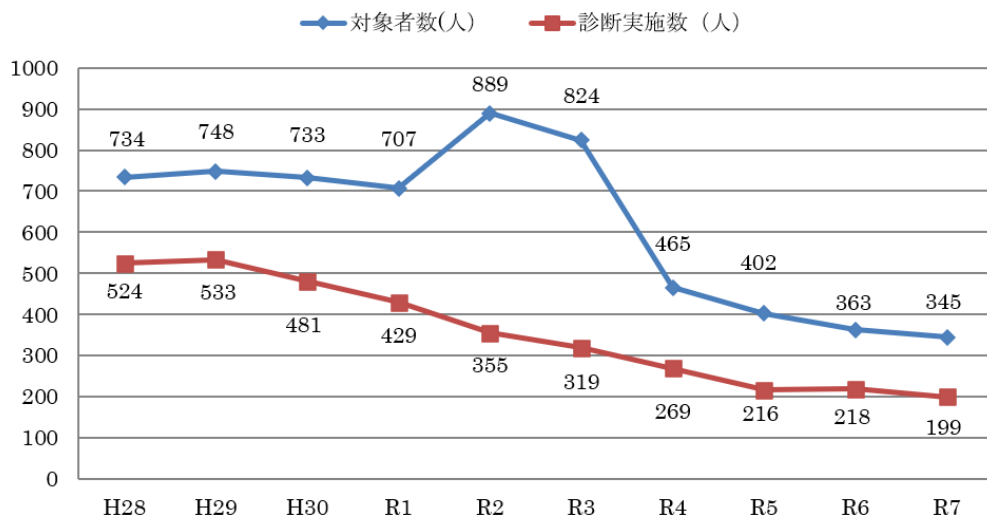
住宅防火対策

〔高齢者宅防災診断〕…高齢者の暮らしを守るために

平成 27 年以降、火災による死傷者数はほぼ横ばいで推移しており、犠牲者の約 6 割が 65 歳以上の高齢者となっています。この状況を踏まえ、毎年、高齢者宅防災診断を実施し、住宅における火災要因の把握と改善を図るとともに、防火・防災意識の向上に取り組んでいます。

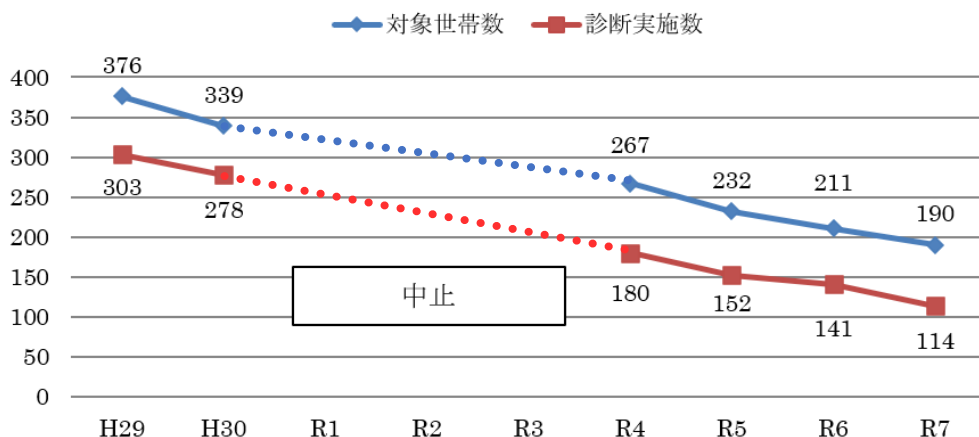
＜防災診断実施状況＞

○ひとり暮らし



※対象者は R3 年度までは 65 歳以上、R4 年度からは 75 歳以上

○後期高齢夫婦世帯



※対象は 75 歳以上の夫婦世帯 ※R1～3 年度は新型コロナウイルスの影響により中止

〔住宅用火災警報器設置の推進〕…命を守る「気づき」を、すべての家庭に

人命や財産を火災から守るため、住宅火災における「逃げ遅れ」による犠牲者を減らすことを目的として、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。住宅用火災警報器の普及は、住宅防火対策の切り札と言えるものであり、地域の安心・安全を確保するうえで極めて重要な課題です。

また、設置から 10 年以上が経過すると、電池切れや作動不良などの不具合が生じ始めます。設置の普及とあわせて、定期点検や適切な交換など、適正な維持管理の取り組みを一層進めていく必要があります。

＜住宅用火災警報器の都道府県別設置率及び条例適合率＞（令和 7 年 6 月 1 日現在）

都道府県（順位）	設置率	都道府県（順位）	条例適合率
福井県（ 1 ）	94.0%	福井県（ 1 ）	83.8%
愛媛県（33）	81.2%	愛媛県（11）	70.6%
全 国	84.9%	全 国	65.8%
久万高原町	92.0%	久万高原町	76.0%

※ 標本調査のため、各数値は一定の誤差を含む

※ 設置率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分のうち、一箇所以上設置されている世帯（条例適合世帯を含む）の全世帯に占める割合

※ 条例適合率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分すべてに設置されている世帯（条例適合世帯という）の全世帯に占める割合

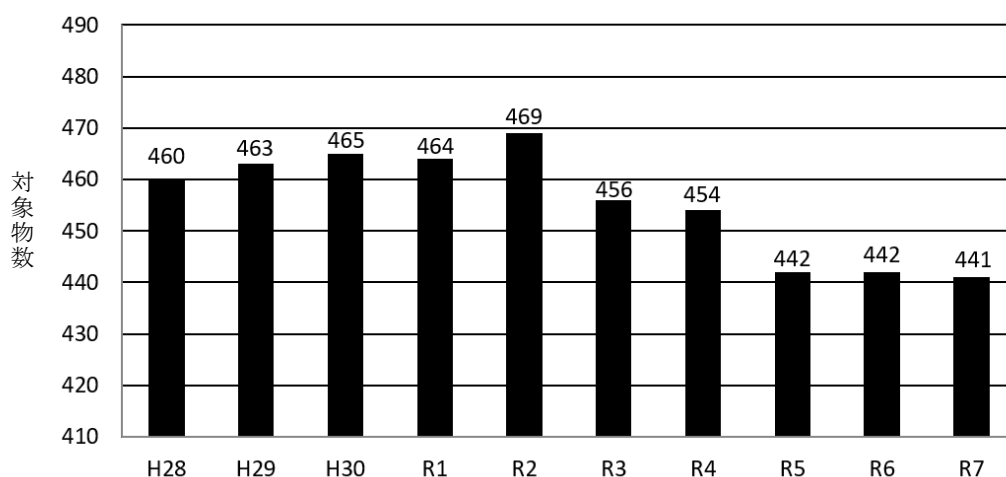
防火対象物

〔消防法に基づく防火対象物の現況〕…管内件数は減少傾向

消防法では、建築物など火災予防行政の主たる対象となるものを「防火対象物」と定義し、そのうち消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物については、その用途や規模等に応じて、火災予防のための人的体制の整備や消防用設備等の設置などを義務付けています。

また、管内の防火対象物数は減少傾向にあり、令和 7 年 3 月 31 日現在、441 件となっています。

防火対象物数の推移



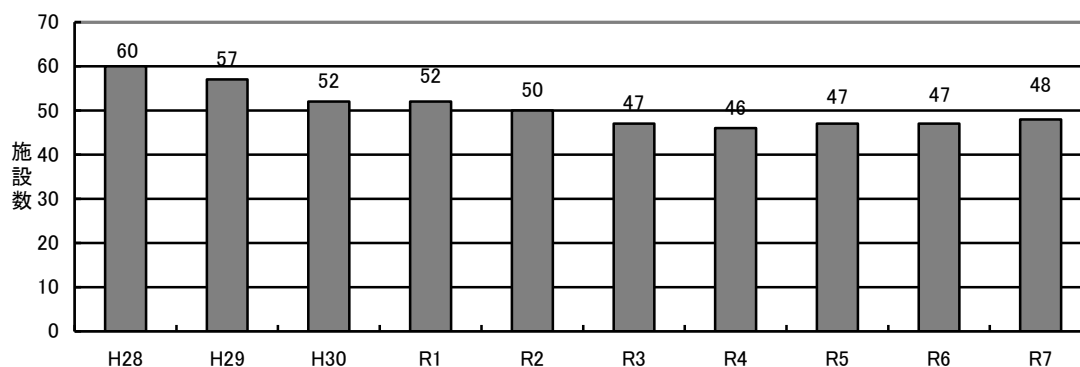
危険物施設

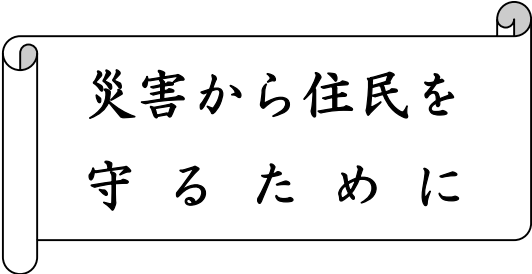
〔危険物安全対策と普及啓発〕・・・危険物事故防止に向けた継続的取組

危険物施設における主な事故発生原因は、維持管理不十分や操作確認不十分などの人的要因によるものが多くを占めています。こうした状況を踏まえ、当消防本部では立入検査を通じて事業所の自主保安体制の確立を促進するとともに、施設不備等の是正を指導しています。

また、広く危険物に対する意識の高揚および啓発を図るため、毎年 6 月第 2 週の「危険物安全週間」などの機会を捉え、住民に対する普及啓発活動を実施し、危険物に対する理解と安全意識の向上に努めています。

危険物施設数の推移





災害から住民を
守るために

消防活動体制及び消防隊の活動状況

当消防本部では、効果的な消防活動体制を確立するため、日々消防隊の活動能力の向上に努めるとともに、消防団をはじめとする関係機関と各種災害を想定した合同訓練等を継続的に実施し、連携強化を図っています。

<消防隊の火災出動状況>

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

区 分	合 計	準市街地 建物火災	その他地域 建 物 火 災	車両火災	林野火災	その他火災
火災出動件数	0	—	—	—	—	—
出 動 隊 数	0	—	—	—	—	—

<消防隊の活動状況>

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

区 分		出動 件数	出動 隊数	放水 隊数	放水 量	ホ ー ス	活 動 内 容			
							救助隊 活動	指揮隊 活動	消火隊 活動	活動隊 支援
					(m ³)	(本)				
建物火災	1 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建物以外	1 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0

消防相互応援体制の状況

〔消防相互応援協定〕

- 伊予・大洲・久万高原広域消防相互応援協定(平成 17 年 11 月 1 日)
伊予消防等事務組合・大洲地区広域消防事務組合・大洲市・伊予市・砥部町・内子町・久万高原町
- 中予地区広域消防相互応援協定(平成 31 年 3 月 29 日)
松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町・伊予消防等事務組合
- 西部四国山地消防相互応援協定(昭和 45 年 9 月 1 日) ※令和 4 年 10 月 7 日一部改正
西予市・鬼北町・久万高原町・津野町・四万十町・梶原町・中土佐町・仁淀川町・高幡消防組合
高吾北広域町村事務組合 10 団体
- 真弓トンネル内における消防活動に関する覚書(平成 17 年 11 月 1 日)
内子町、久万高原町、久万高原町消防本部、大洲地区広域消防事務組合消防本部
- 愛媛県消防広域相互応援協定(平成 18 年 4 月 1 日)
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 広域消防相互応援協定(平成 18 年 4 月 1 日)
仁淀消防組合・いの町・久万高原町・久万高原町消防本部
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定(平成 21 年 6 月 1 日)
須崎市・四万十町・中土佐町・梶原町・津野町・久万高原町
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定実施に関する覚書(平成 21 年 6 月 1 日)
高幡消防組合・久万高原消防本部
- 三坂道路に係る消防相互応援に関する覚書(平成 24 年 3 月 1 日) ※令和 3 年 4 月 1 日一部改正
松山市消防局・久万高原町消防本部・伊予消防等事務組合消防本部
- 橘中津トンネルに係る消防相互応援に関する覚書(令和 2 年 1 月 10 日)
高吾北広域町村事務組合消防本部・久万高原町消防本部

〔その他の応援協定〕

- 救急搬送協定(昭和 54 年 2 月 13 日)
高吾北広域町村事務組合消防本部
- 救急業務応援協定(昭和 54 年 6 月 29 日)
西条市
- 救急救命処置に関する覚書(平成 7 年 12 月 22 日)
国民健康保険久万町立病院・医療法人社団マリナ会西本医院
- 愛媛県消防防災ヘリコプター応援協定(平成 8 年 10 月 1 日)
- 携帯電話からの 119 番通報、転送等に関する協定書(平成 17 年 10 月 各消防本部直接受信)
- 愛媛県消防防災ヘリコプターの支援に関する協定(平成 18 年 4 月 1 日)
- 愛媛県立中央病院ドクターカーに関わる相互応援協定(平成 22 年 3 月 8 日)

緊急消防援助隊

〔契機・発足及び実績〕

緊急消防援助隊は、平成 7 年に発生した阪神・淡路大震災を契機に、同年創設されました。その後、平成 15 年 6 月に消防組織法の改正により法制化され、平成 16 年 4 月から法制度上明確化のうえ新たに発足しました。

平成 7 年の創設以来、令和 7 年 3 月末までの間に 46 回の出動実績があり、当消防本部では平成 23 年に東日本大震災に出動しています。

1. 登録部隊

全国の登録部隊数は、令和 7 年 4 月 1 日現在 6,731 隊の登録がされています。基本計画の改定に伴い新規創設された情報統括支援隊 9 隊、安全管理部隊指揮隊 25 隊、特別編成統括救急隊 30 隊を新たに登録し、DX の推進、隊員の体調管理等にも対応できる緊急消防援助隊の充実・強化を図っています。

緊急消防援助隊の編成等については、「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」（令和 7 年 3 月改定）において、南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など甚大な被害が想定される大規模災害に的確に対応できるよう、登録目標隊数を 7,200 隊程度まで増強を図ることとされました。

当消防本部は、消火小隊（平成 7 年 9 月 5 日）、救急小隊（平成 13 年 1 月 23 日）各 1 隊を登録し、緊急消防援助隊の出動に備えています。

2. 国庫補助制度

消防組織法第 44 条第 5 項に基づく指示を受けて出動した緊急消防援助隊の活動により、必要となる費用やその他政令で定める経費等は、国庫負担制度によって国が負担します。

3. 緊急消防援助隊全国合同訓練

消防庁では、緊急消防援助隊の消火・救助技術や指揮・連携活動能力等の向上を図ることを目的に、創設以来おおむね 5 年に 1 回、全国の緊急消防援助隊が一同に会して行う全国合同訓練を実施しています。

4. 保有資機材

国有無償使用物品

個人線量計	X 線ガンマ線線量率計	表面汚染検査計	全面マスク
3	1	1	5

後方支援物品

寝袋	簡易ベッド	机	暖房器具	燃料携行缶	ガスボンベ	調理器具	発電機	投光器	リアカー	エアートント	簡易トイレ
10	10	2	4	4	9	3	1	1	2	1	5

情報通信

〔緊急通報〕

災害情報は緊急性と正確性を要するため、収集した情報は直ちに分析し、正確な情報を活動現場、活動部隊、及び防災関係機関等に伝達、共有することが極めて重要です。

当本部の通信指令装置は設置から約 9 年が経過し、各所に老朽化が進んできたことから、令和 7 年度に全更新を行いました。通信指令装置は 119 番通報の受信、消防車や救急車の出動指令を行う、消防活動の中核となる設備です。今回の更新により、通報内容や出動情報の処理能力が向上し、より迅速で確実な指令業務が可能となりました。しかし、携帯電話による 119 番通報においては、電波状況等により誤差が大きくなり、正確な位置の特定が困難な場合もあります。

令和 7 年における通報件数は 694 件となっており、うち 119 番通報件数が 455 件、一般加入電話通報件数が 189 件、その他通報件数が 50 件となっています。

<通報件数(過去 10 年間)>

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
119 番	513	526	525	476	442	483	490	531	525	455
内携帯電話	154	176	199	188	190	218	246	295	295	247
一般加入	236	233	189	243	230	232	247	228	229	189
その他	20	26	45	29	34	26	25	45	58	50
合計	769	785	759	748	706	741	762	804	812	694

〔消防無線〕

消防無線は、平成 26 年 3 月から 260MHz 帯の周波数を使用したデジタル方式による無線方式に移行しています。管内面積 (583.69k m²) が広大であることから、町内に基地局 2 箇所、中継局 1 箇所を整備し、無線不感地帯の解消、携帯電話・衛星電話を配備し通信網の多ルート化を図っています。災害時には、現地災害対策本部に可搬型無線機を設置するなど、消防・防災活動の要とも言える情報通信網の確保を図っています。また、消防団との連携を密にするため、消防団指令車・ポンプ車等に 260MHz 帯デジタル方式の消防無線 (10W) を装備及び町防災行政無線の移動系端末を通信指令室に配置し、二系統の連絡を細やかにするとともに、広域応援等が行われた場合の通信確保のため、主運用波・統制波を実装し応援側と受援側の連絡を適切に行うようにしています。

また、全国各地で頻発している台風・豪雨災害や、近年発生が予測されている南海トラフ巨大地震等では、消防無線網が輻輳状態となることが懸念されます。このことから災害の多発や緊急消防援助隊での活動時等に、自隊間の連絡統制の確立を目的として、令和 2 年 10 月 1 日から 466MHz 帯の周波数を使用したアナログ方式の署活動系無線の運用を開始しています。

無線局一覽表

〔基地局〕 免許有効期間： 基地局： R10. 5.31

呼出名称	設置場所	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましようほんぶ	大川嶺基地局 (久万高原町日野浦4368) 北緯 33° 34' 05" 東経 132° 56' 28"	活動波1	10W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		活動波2	10W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		愛媛県波	10W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		統制波1	10W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		統制波2	10W	複信	CF-2514F	R5.6.1
くましようやなだに	柳谷基地局 (久万高原町柳井川3537) 北緯 33° 32' 15" 東経 133° 00' 06"	統制波3	10W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		活動波1	5W	複信	CF-2416F	R5.6.1
		活動波2	5W	複信	CF-2416F	R5.6.1

〔多重局〕 免許有効期間： 多重局： R9.11.30

呼出名称	設置場所	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
しょうぼうおおがわみね	大川嶺基地局(久万高原町日野浦)	79mW	単信	JA85874	R4.12.1
ちゅうけいきよく	北緯 33° 34' 05" 東経 132° 56' 28"				
しょうぼうくま	久万中継局(久万高原町久万)	79mW	単信	JA85873	R4.12.1
ちゅうけいきよく	北緯 33° 39' 17" 東経 132° 54' 10"				

〔移動局〕 免許有効期間： 移動局： R10. 5.31

呼出名称	設置車両	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましよう 100	本署 卓上固定型	活動波 1・2 愛媛県波 共通6ch 全国3ch	10W	複信	CM-2510DF	R5.6.1
くましよう 200	美川 卓上固定型		10W	複信	CM-2510DF	R5.6.1
くましよう 101	本署 指揮車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 102	本署 人員搬送車		10W	複信	CM-2010D3	R5.6.1
くましよう 103	本署 タンク車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 104	本署 積載工作車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 105	本署 水槽車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 106	美川 タンク車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 107	本署 査察広報車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 108	本署 査察広報車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 109	本署 資器材搬送車		10W	複信	CM-2010D3	R5.6.1
くましよう 301	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 302	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 303	美川 高規格救急車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 305	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 201	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 202	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 203	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 204	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 205	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 206	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 207	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 208	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 209	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 210	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 211	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 212	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 213	消防団 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 214	美川 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 215	美川 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 216	美川 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 217	消防団 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 218	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 219	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 220	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 221	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 222	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 223	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 224	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 225	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 226	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 227	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 228	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 229	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましよう 230	本署 可搬型		5W	単信	CM-2010SM	R5.6.1
くましよう 231	危機管理室 可搬型		5W	単信	CM-2010SM	R5.6.1
くましよう 110	久万方面隊 指令車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 413	久万方面隊 ポンプ車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましよう 421	久万方面隊 ポンプ車		10W	複信	CM-2010D2	R5.6.1

〔署活動系〕

免許有効期間：

署活動系：

R12. 5.31

呼出名称	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましよう1	久万高原町全域 9・16ch 全国・緊急消防援助隊活動時のみ 1～18ch(9・16ch除く)	1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう2		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう3		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう4		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう5		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう6		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう7		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう8		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう9		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう10		1w	単信	IC-UH38MFT	R7.6.1
くましよう11		1w	単信	IC-DU60S3	R7.6.1
くましよう12		1w	単信	IC-DU60S3	R7.6.1
くましよう13		1w	単信	IC-DU60S3	R7.6.1
くましよう14		1w	単信	IC-DU60S3	R7.6.1
くましよう15		1w	単信	IC-DU60S3	R7.6.1

〔Net119〕

Net119 とは、聴覚や言語機能による障害等で、音声による通報が困難な方が、携帯電話やスマートフォン等のWEB(インターネット)機能を通して、簡単な画面操作で119番通報を行うことが出来るシステムです。久万高原町消防本部では、松山市消防局・伊予消防等事務組合消防本部・東温市消防本部と4消防間で共同運用化の協議を行い、「まつやま圏域 Net119」という名称で令和5年4月1日からサービスを開始しています。

※「まつやま圏域 Net119」は令和8年3月31日をもって廃止となり、令和8年4月1日より、県内11消防本部(松山市、今治市、西予市、東温市、上島町、久万高原町、愛南町、八幡浜地区施設事務組合、伊予消防等事務組合、宇和島地区広域事務組合、大洲地区広域消防事務組合)で「えひめ Net119」の共同運用が開始されています。



消防水利

消防水利には、消火栓・防火水槽・プール等の人工水利と、河川・池・湖・沼等の自然水利があります。

人工水利のうち、消火栓は上水道の配水管に付置されており、連続的に給水され、且つ簡易に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断滅水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点も併せ持っています。こうした消火栓の持つ弱点をカバーするため、耐震防火水槽を地域の実情に応じて計画的に整備しています。

自然水利は、人工水利と並んで消防水利としての重要な役割を果たしていますが、季節によっては使用不能となったり、取水場所が制限されたりすることもあります。

消防署では常に管内の水利状況を把握し常時使用可能な状態に保つため、定期的に調査し、機能の保全に努めています。

<人工水利と自然水利の現況>

(令和7年12月31日現在)

合 計	人 工 水 利				自 然 水 利		
	小 計	防火水槽	消 火 栓	プール	小 計	河 川	池・沼
852	750	131	605	14	102	90	12

<令和7年中の火災における水利使用状況>

火災合計	水 利 別 延 べ 使 用 数						水 利 を 利用した 火災件数	水 利 を 利用した 消防隊数
	防火水槽	消火栓	プール	河川池沼	積載水	他		
0	-	-	-	-	-	-	0	0

※火災合計と水利使用数は一致しない。

訓練

火災等の危険で困難を伴う災害現場に臨む消防隊、高齢化社会の進展、疾病構造の変化に対応し救命率の向上を図る救急隊、交通事故・水難事故等の災害から人命救助を行う救助隊は厳正な規律と旺盛な士気はもとより、各種災害に精通し、専門的な能力を保持した精強な部隊でなくてはなりません。

隊長には、災害状況等の変化を把握し、効率的に現場活動を指揮する能力が必要とされ、また、隊員は資器材に精通し、困難な現場活動を遂行できる能力が必要とされます。これが相まって初めて組織的かつ効率的な現場活動が可能となり、被害を最小限に抑えることができます。

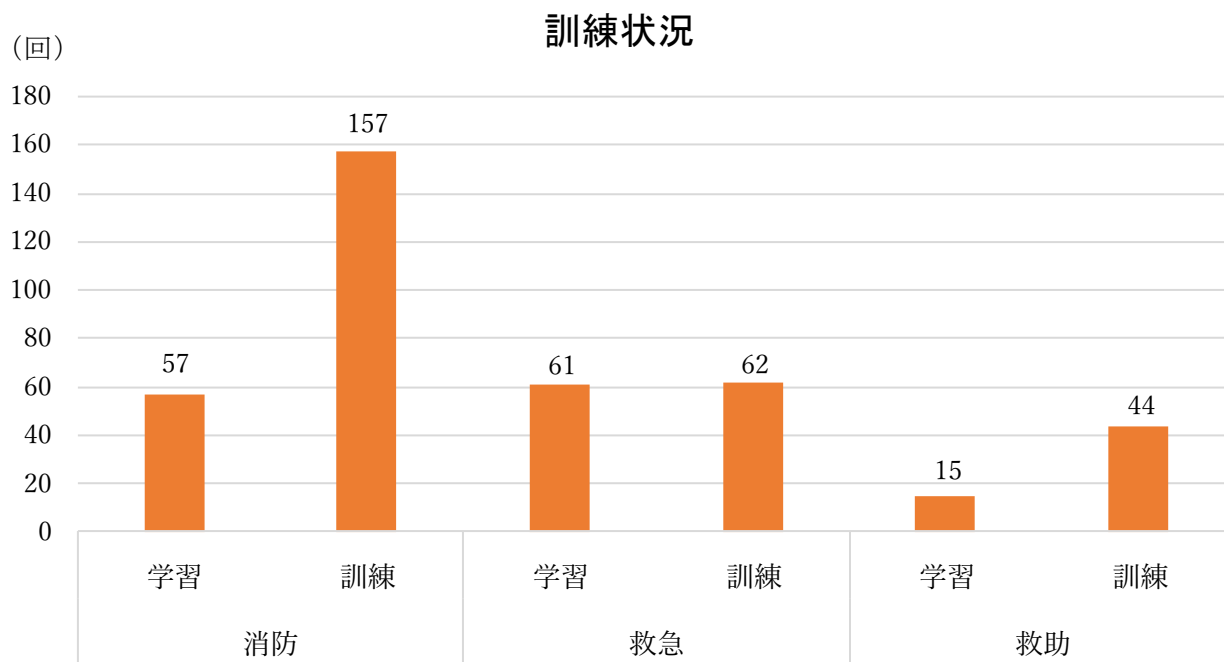
現場活動において効率的に展開するため、日々、訓練及び学習を行い、消防・救急・救助技術の向上を図っています。さらに実災害での活動ごとに指揮及び各隊の活動内容を検討し活動技術の蓄積と反省を踏まえた上で、今後の現場活動に反映させるよう努めています。

<年間訓練状況>

令和7年1月1日～令和7年12月31日

	消防		救急		救助		合計	
	学習	訓練	学習	訓練	学習	訓練	学習	訓練
隊	57	157	61	62	15	44	133	263

(回数)



消 防 団

消防団は「自分たちの郷土は自分たちで守ろう」という郷土愛の精神を基に地域社会の災害防止や、災害発生時の活動などを目的として組織された地域に密着した防災活動機関です。

久万高原町においては、条例の改定により、令和４年４月１日から旧町村単位で４方面隊１０分団が設置されています。団員は条例定数６００名、実員５４６名（令和７年４月１日現在）の編成となっており、水・火災等の災害時における防災活動にあたるとともに、久万高原町総合防災訓練では、自主防災組織と連携した訓練を実施し、住民の方々の「安全と安心なくらしづくり」に重要な役割を果たしています。

また、総務省消防庁及び日本消防協会では、男女共同参画及び女性の持つきめ細やかなソフトな面を活かした予防・防災活動を推進するため、女性消防団員１０万人確保事業を実施し、女性の加入促進に努めています。

近年、高齢化・過疎化による災害弱者の急増と消防団員のサラリーマン化により、昼間における消防力の低下、災害時における犠牲者の増加が問題となっています。このことから火災予防の指導や広報など、災害発生前の活動を積極的に推進するため、令和７年４月１日現在、久万高原町では２１名の女性消防団員を任用し、女性の特性を活かした啓蒙活動を実施しています。

その他にも新任消防団員の資質の向上、幹部団員の防災指導力の強化等、各職責に応じた講習会等を実施し、消防団全体の総合力向上に努めています。

<消防団員の状況>

消防団数	条例定数	現 在 員 数							
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1	600	1 (-)	4 (-)	10 (-)	10 (-)	31 (-)	86 (2)	404 (19)	546 (21)

(女性団員)

<令和７年度中の活動状況>

区 分	火 災	風 水 害 (雪害含む)	遭難・捜索	年 末 警 戒	演 習 訓 練
出 動 回 数	3 件	0 件	※ 1 件	4 日間	18 件
出動延人数	178 名	0 名	1 名	917 名	1445 名

※安否確認

久万高原町消防警察搜索推進協議会

平成 7 年 11 月 28 日 発足

〔結成の趣旨〕……円滑な業務のために

近年、久万高原町内にあっては、高齢化が著しく、これに伴い高齢者の行方不明事案等がみられるほか、登山・レジャー等による山岳地域での遭難事案が発生しています。

これらの行方不明者等の生命、身体を保護することは、行政・消防・警察共通の目的であることから、関係機関相互の連携を図り円滑な業務の遂行によって、住民等の付託に応えようとするものです。

＜構成団体等＞

- 久万高原町(町長)
- 久万高原町消防本部(消防長)
- 久万高原町消防団(団長)
- 久万高原警察署(署長)

＜出動対象事項＞

- (1) 久万高原町内において発生した
 - ・住民及び滞在者の行方不明事故
 - ・住民及び滞在者の遭難事故とし、住民及び滞在者から救助要請のあった場合とする。
- (2) 犯罪関係者の搜索については、その都度関係機関で協議する。

＜支援依頼要請＞

- (1) 住民および滞在者から、第一次的に救助要請を受理した機関の長が、他の機関の支援を必要と判断した時点で出動要請を行うものとする。
- (2) 搜索推進協議会は、警察署への搜索願が提出された後に開催することを基本とするが、特に人命危険を伴う事案の場合、夜間であっても早期に搜索推進協議会を開催し、今後の対応等について協議するものとする。
ただし、搜索現場の状況や家族等の意向を踏まえ、搜索推進協議会を開催しない場合もある。

＜出動人員＞

- (1) 出動人員については、各機関の協議で決定する。
- (2) 各機関の出動人数等は、各機関の状況により決定する。
- (3) 消防団の出動人員については、搜索範囲・場所等により決定する。

＜出動日数＞

出動日数は、基本的には搜索を開始した時点より 3 日間とするが、事案に応じた機関の長が協議して決定する。

＜出動費用＞

出動に要した費用については、各機関によるものとし、基本的には住民及び滞在者に請求しないものとする。

救急体制

高齢化社会の進展や生活習慣の多様化などの要因による疾病構造等の変化から、国民の救急業務に対する期待や需要は増大しています。これらの要望に応えるため、救急隊員のレベルアップ及び救急活動の質の向上を目的にメディカルコントロール体制（医師による医療行為の保障）が整備され、自動体外式除細動器（AED）による除細動の実施や、救急救命士による気管挿管・救急薬剤（アドレナリン）投与、更に処置拡大に伴い、新たに、血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与・心肺機能停止前の静脈路確保と輸液など、救命処置の高度化が図られています。

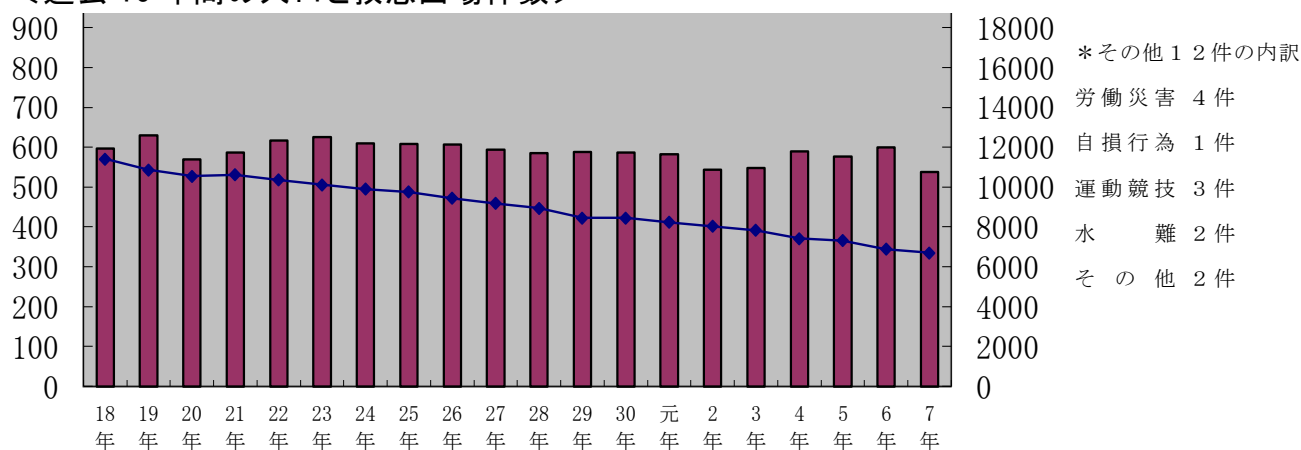
こうした状況に対応するため、当消防本部では、救急救命士及び救急隊員の養成、救急救命士の認定教育や救急救命士再教育など、救急隊員の育成と救急体制の強化、町民に対する応急手当の普及啓発、緊急電話受信時に行う応急手当の口頭指導、多数の人が集まる施設へのAEDの設置、消防防災ヘリコプター、ドクターヘリ及びドクターカーを活用した救急搬送など、プレホスピタル・ケア（救急現場及び医療機関への搬送途上における応急処置をいう）の向上に努めています。

〔救急出場状況〕・・・538件（1日あたり1.47件の出場）

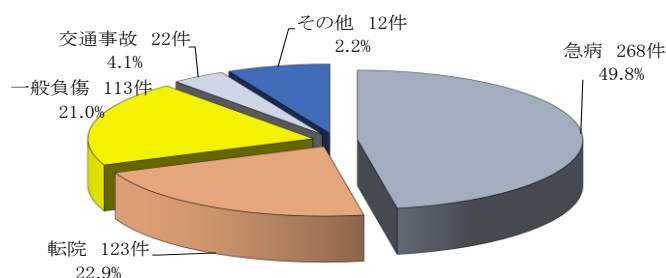
令和7年中の救急出場件数は538件で、前年より62件（10.3%）の減少、搬送人員は520人で52人（9.1%）の減少となっています。

また、救急出場を事故種別ごとにみると、最も多いのは急病 268 件（49.8%）、以下、転院搬送 123 件（22.9%）、一般負傷 113 件（21.0%）、交通事故 22 件（4.1%）、その他 12 件（2.2%）となっています。

＜過去16年間の人口と救急出場件数＞



＜令和7年中の事故種別救急出場件数＞



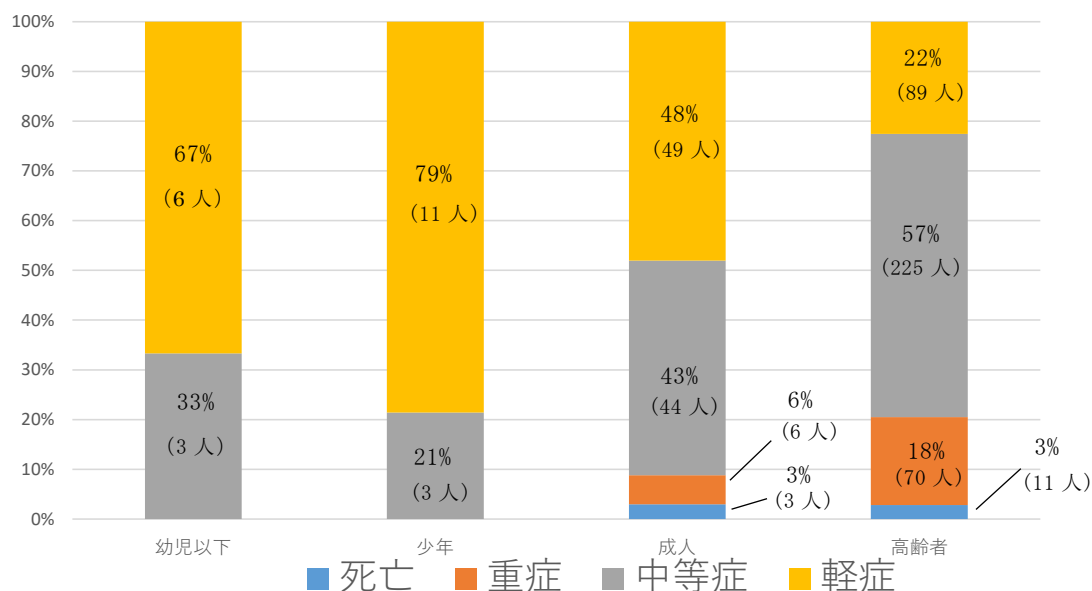
〔救急隊の活動状況〕・・・高齢者、重症傷病者への処置・搬送割合が高い

① 令和7年中の救急出場1件あたりの出場から救急事故現場までの平均所要時間（転院搬送を除く）は、14.6分（全国平均 9.8分）、覚知から医療機関等に収容するまでの平均所要時間（転院搬送を除く）は、61.7分（全国平均 44.6分）となっており全国平均を大きく上回っています。救急隊が行った応急処置の状況を見ると、酸素吸入（87件）が最も多く、以下、保温（70件）、固定（29件）、被覆処置（26件）、気道確保（16件）、止血処置（13件）の順となっています。さらに、観察の内訳を見ると、血中酸素飽和度測定（505件）、血圧測定（505件）、心電図測定（158件）、心音呼吸音の聴取（28件）などとなっています。

② 搬送者数520人のうち、高齢者が395人と全体の約76.0%を占めています。また、令和7年中の年齢区分別の傷病程度を見ると、年齢が高くなるに従って重症・中等症の割合が高く、高齢者（65歳以上）の重症・中等症は搬送人員全体の約58.5%を占めています。

今後さらに高齢化が進み、継続して増加する高齢者救急に対し、質の良い救急活動を行うとともに、関係機関と連携し、効率的な救急医療体制構築に取り組む必要があります。

＜年齢区分別傷病程度の状況＞



幼児以下：新生児(生後28日未満)、乳幼児(生後28日～7歳未満)
 少年：7歳～18歳未満
 成人：18歳～65歳未満
 高齢者：65歳以上

〔応急手当の普及〕・・・AED設置 67 施設

当消防本部では管内の地理的条件等により、119番通報から救急隊が現場到着するまでに14.6分（転院搬送を除く）を要しており、呼吸停止・脈拍停止・大出血等といった生命に重大な危機が訪れた場合一刻も早い救命処置の開始が傷病者の予後を左右することとなり、現場に居合わせた住民による適切な救命処置が救命率向上のため最も重要であると言えます。平成16年7月1日から、非医療従事者によるAED（自動体外式除細動器）の使用が可能となったことから、普通救命講習を開始し、令和8年3月31日までに延べ7,989名が受講・修了しています。普通救命講習の主な受講者は、学生、女性防火クラブ員・地域住民・各種団体関係者となっており、特に中学校においては、毎年救急講習が行われており、知識・技術の維持に重

要とされる反復訓練が行える体制が確立されています。これにより、小学生から実施している入門コースとあわせて生涯教育の一環として位置付け、命の尊さを理解するとともに救命技能の向上が期待できるものと考えています。

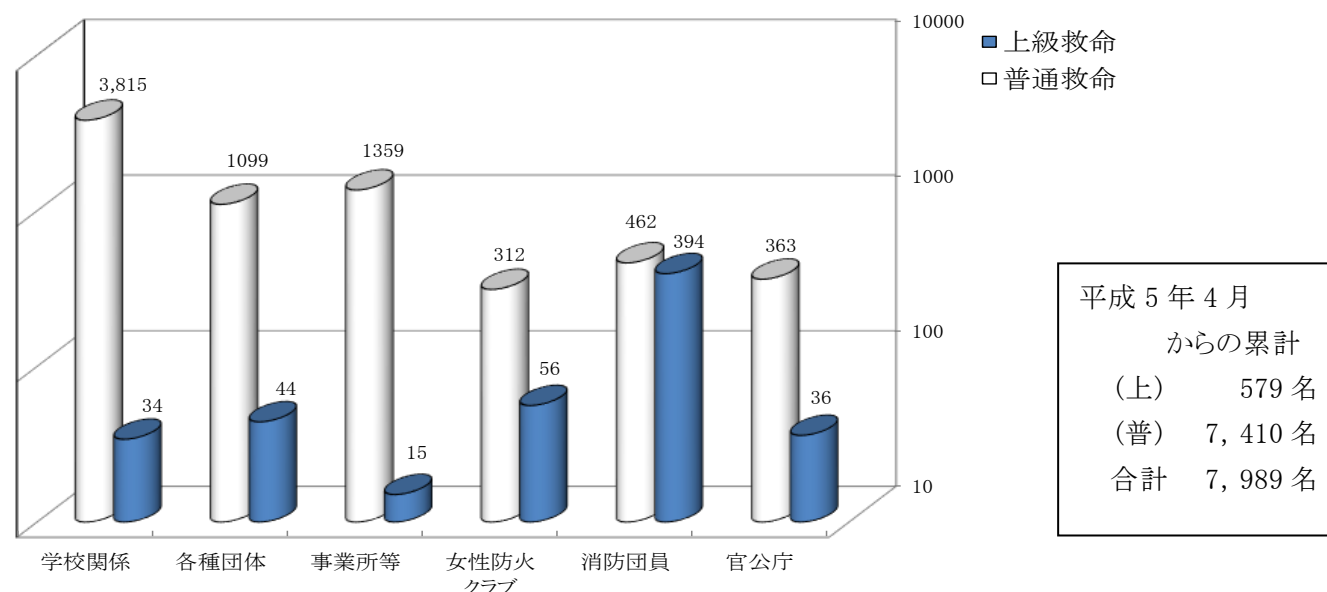
また、AEDは薬機法に規定する高度管理医療機器及び特定保守管理医療機器に指定されており、適切な管理が行われなければ、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある医療機器です。これらのことを踏まえ、AEDを使用する際には、その取扱いの習得と普段の適切な維持管理が必要であること等、設置施設の管理者、従事者等に理解と協力を求め、現在では管内の67施設にAEDが設置されています。

また、久万高原町内で開催される各種イベント等において使用できるよう貸出可能なAEDを整備し、貸出事業を行い救命率の向上を図っています。

＜AED(自動体外式除細動器)の設置状況＞ 67施設

地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名
久万	役場「本庁」	久万	久万高原ふるさと旅行村	久万	久保建設	面河	面河小学校
久万	久万 B&G 海洋センター	久万	畑野川歯科	久万	石丸建設	面河	おもご高齢者生活支援ハウス
久万	養護老人ホーム「ささゆり荘」	久万	久万高原警察署	久万	くま安心館	面河	若山集会所
久万	老人保健施設「あけぼの」	久万	四国電力久万営業所	久万	グループホーム「サマリア」	面河	相ノ峰公民館
久万	久万高原町産業文化会館	久万	久万こども園	久万	グループホーム「メサイア」	面河	消防団多機能車両
久万	久万高原町教育委員会	久万	伊予銀行久万支店	久万	久万保健センター	面河	面河診療所
久万	久万小学校	久万	松山市農協久万支所	久万	まちなか交流館	面河	面河山岳博物館
久万	直瀬小学校	久万	うつのみや内科				
久万	明神小学校	久万	高橋歯科医院	美川	役場「美川支所」	柳谷	役場「柳谷支所」
久万	父二峰小学校	久万	わたなべ歯科医院	美川	美川小学校	柳谷	吉村内科
久万	畑野川小学校	久万	IC ランド土居	美川	仕七川小学校	柳谷	古味集会所
久万	久万中学校	久万	道の駅天空の郷さんさん	美川	美川中学校	柳谷	柳谷小学校
久万	上浮穴高等学校	久万	久万カントリークラブ	美川	岩屋寺	柳谷	四国電力面河発電所
久万	久万高原町立病院	久万	高原ゴルフ倶楽部	美川	仕七川駐在所	柳谷	消防団多機能車両
久万	父二峰診療所	久万	入野福祉館	美川	小椋商店	柳谷	中津公民館
久万	国民宿舎「古岩屋荘」	久万	農業公園アグリピア	美川	美川中学校「若竹寮」		
久万	久万スキーランド	久万	県中予地方局	美川	みかわクリニック		
久万	県林業センター	久万	大宝寺	美川	久万高原町社会福祉協議会		

<上級・普通救命講習受講人数>



<普通・上級救命講習実施状況>

区 分		学 校	女性防火 クラブ	官公庁	消防団	会 社 事業所	地 域 自主防	各種団体	合 計
普 通	回数	4	—	—	—	8	—	4	16 回
	人員	171	—	—	—	127	—	39	337 人
上 級	回数	1	—	—	—	—	—	—	1 回
	人員	11	—	—	—	—	—	—	11 人

[救命率の向上]・・・救急救命士・高規格救急自動車の運用から 25 年

当消防本部（旧上浮穴消防本部）においては、平成 8 年 1 月から救急救命士 1 名により救命処置の行える高規格救急自動車 1 台の運用を開始し、令和 8 年 3 月 31 日現在、救急救命士 12 名、救急科修了者 21 名と高規格救急自動車 4 台で救急隊の運用を行っています。

<救急隊員の資格状況>

項目・名称	救急救命士	救 急 科	救急Ⅱ課程	合 計
資格者数	19	22	1	42 名
運用者数	12	21	1	34 名

〔救急救命士の状況〕・・・12名の救急救命士が活動中(救急救命士有資格者は19名)

救急隊員が救急救命士の資格を取得するためには、救急科(救急Ⅰ課程＋救急Ⅱ課程)の教育訓練を受けたものが、救急救命士養成課程(5年以上又は2,000時間以上の実務経験を有する救急隊員に対する835時間以上の教育訓練)を修了した後、国家試験に合格し厚生労働大臣の免許を受ける必要があります。

このようにして、資格を取得した救急救命士の行う救急救命処置の範囲が、平成4年3月に厚生省より示されました。その後、救急救命士の業務のあり方に関する検討がなされ、平成15年3月及び平成26年1月に救急救命処置の範囲の改正が行われ、救急救命士の行う救急救命処置として、医師の包括的指示を受けて行う行為と具体的指示を受けて行う5項目が定められています。

1. 医師の包括的指示に基づくもの(抜粋)

- ① AED(自動体外式除細動器)による除細動
- ② 血糖値測定

2. 医師の具体的指示に基づくもの

- ① 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- ② 食道閉鎖式エアウェイ、ラリングアルマスク又は気管内チューブによる気道確保
- ③ 救急薬剤(アドレナリン1剤)の投与
- ④ 心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液
- ⑤ 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

〔救急業務高度化教育〕・・・救急隊員・救急救命士の教育

当消防本部では町民の負託にこたえるため、救急業務高度化計画に基づき、計画的に(一財)救急振興財団救急救命研修所や消防学校救急科、消防大学校救急科、救急隊員養成教育等に派遣しています。

また、メディカルコントロール体制のもと、救急救命士就業前研修や救急救命士再教育、さらには救急救命士気管挿管実習として、指定医療機関等に派遣し救急隊員の資質の向上に努めています。

〔メディカルコントロール〕・・・医学的観点から応急処置等の質を保障

救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置などの質を向上させ、救急業務の更なる高度化を推進するため、県に「愛媛県メディカルコントロール協議会」、東・中・南予に「地域メディカルコントロール協議会」を設置しメディカルコントロール体制の充実が図られています。

1. メディカルコントロール体制とは、消防機関と医療機関との連携による以下の体制を言います。

- ① 救急隊が現場からいつでも迅速に医師に指示・指導・助言が要請できる。
- ② 救急活動時の医学的判断・処置について医師が事後検証を行い、その結果を再教育に活用する。
- ③ 救急救命士の再教育として医療機関において定期的に病院実習を行う。

2. これらメディカルコントロール体制の整備に伴い、救急救命士の救命処置拡大も推進されました。

- ① 気管挿管は、平成16年7月から講習及び病院実習を修了した救急救命士により実施が可能となり、平成16年度から消防学校並びに実習病院に派遣し養成を行い、令和8年3月31日現在12名の認定救急救命士が活動しています。

② 薬剤投与は、平成 18 年 4 月から救急救命士による救急薬剤（アドレナリン）の使用が可能となりました。しかし、薬剤の使用には高度な専門性を有する講習を修了する必要がありますが、平成 18 年度から、救急振興財団救急救命九州研修所及び広島市消防局に派遣、教育と病院実習を修了し、令和 8 年 3 月 31 日現在 12 名の認定救急救命士が活動しています。

③ AED（自動体外式除細動器）による除細動は、平成 16 年 7 月に示された厚生労働省告示により、非医療従事者も可能になったことを受け、救急救命士を除く消防職員に研修を行い救急現場での実施が可能となりました。

これらに併せて、当消防本部では管内の救急告示医療機関との連携をますます強化し、メディカルコントロール体制の整備に合わせた資器材の導入やシステムなどの構築を推進するとともに、救急救命士を含む救急隊員のレベルアップや資質の向上に努めています。

④ 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は、平成 26 年 1 月 31 日から必要とされるカリキュラムを修了した救急救命士により実施が可能となり、令和 8 年 3 月 31 日現在 12 名の認定救急救命士が活動しています。

〔ヘリ救急への取り組み〕・・・消防防災ヘリと愛媛県ドクターヘリ運航

久万高原町は石鎚山系を含む山間地域で広大な面積を有することから、救急現場から医療機関への傷病者搬送に長時間を要する場合が多く、緊急性や重症度の高い傷病者の搬送に搬送時間の短縮や高次医療機関への早期搬送に威力を発揮するヘリコプターの活用を図ることは重要です。さらに、この消防防災ヘリコプターに医師が同乗することにより、傷病者を早期に医師の管理下に置き医療が開始されることから、傷病者の救命や予後の向上に有用であることは疑うべくもありません。

このことから、平成 15 年 1 月に、管内の地理的条件や傷病者の傷病状態を考慮した「消防防災ヘリコプター救急運用マニュアル」を作成し、愛媛県防災航空事務所をはじめ、愛媛県立中央病院・愛媛大学医学部附属病院救急部を含む関係機関の協力のもと、消防防災ヘリコプターでの救急搬送（医師同乗含む）の運用を実施しています。

また、愛媛県においても平成 21 年 8 月 20 日より愛媛県消防防災ヘリコプターのドクターヘリの運航が開始、平成 29 年 2 月 1 日からは、愛媛県ドクターヘリの運航が開始され、早期に医師による治療を開始し医療機関に搬送を行い救命率の向上及び後遺障害の軽減を図り、傷病者の利益を第一とすることを目的として運航されています。

〔ドクターカーとの連携〕・・・愛媛県立中央病院のドクターカー運行

平成 22 年 3 月より、愛媛県立中央病院が「ドクターカー」の運行を開始しました。当消防本部においても、ドクターヘリ（的）運航ができない場合や、転院搬送時における傷病者の急変などを視野に入れ、ドクターヘリ（的）運航と同様に有効活用を図っています。

〔救急需要への対応〕

全国的に救急出動件数は増加傾向が続いています。高齢化の進展等により救急需要は今後も増大する可能性が高いことが示されており、救急活動の延伸を防ぐとともに、これに伴う救命率の低下を防ぐための対策として、①軽症利用者等への代替措置の提供（民間の患者搬送事業者などの活用）、②転院搬送業務への病院救急自動車の活用、③119 番受信時及び救急現場における緊急度・重症度の選別（トリアージ）、④電話相談「救急安心センター事業

(#7119)」⑤住民による緊急度判定を支援する全国版救急受診アプリ「Ｑ助(きゅうすけ)」などが推進されています。

久万高原町の救急件数は、過疎化や少子・高齢化が進展しているものの横ばい状態にあり、人口減少は続いているが高齢化や独居化及び住民意識の変化に伴い、今後しばらくは横ばい状態を示すものと考察されます。このような状況の中、当消防本部においては、救急搬送全体に占める転院搬送の割合(22.9%)が大きいことから、2台以上の救急車が町外へ転院搬送に出場した場合、町内の救急対応に苦慮することが考えられます。

このことから、医療機関の理解を得ながら、町内の救急対応に不備が生じないよう手段を講じるとともに、民間患者搬送事業者等の活用も考慮するなど、真に緊急を要する傷病者への対応の遅れや救命率に影響が出ないように努めることが求められています。

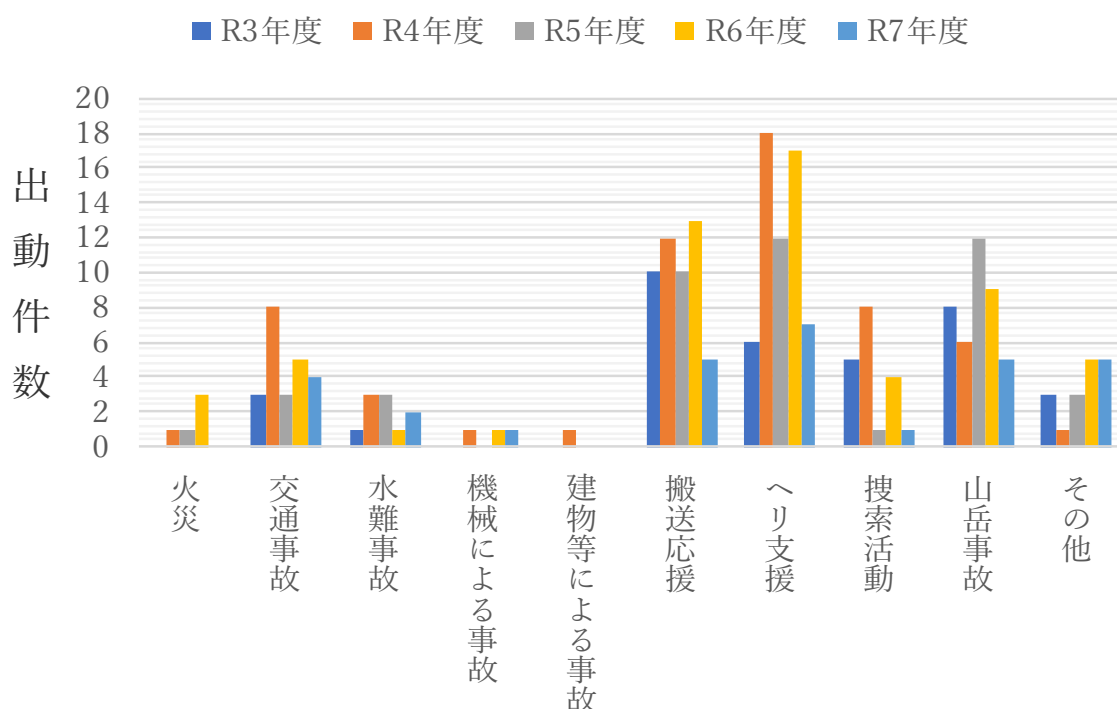
救助体制

近年、災害様態は大規模化または複雑多様化し、甚大な被害を及ぼす災害が全国各地で発生しています。これらの災害に対応するため、広域消防連携・協力体制の構築を目指し、他機関との合同訓練に参加しています。また救助隊員の訓練、教育を実施し、施設・設備の充実を図り、救助活動能力の向上に努めています。

〔救助出動の状況〕・・・主な出動として、救急搬送応援及びヘリ支援、山岳事故が挙げられる

令和7年中の救助活動状況は、救助出動件数 30 件、救助活動件数 23 件で救助人員は 26 人であり、特に救急搬送応援及びヘリ支援、山岳事故が多く、これらの活動は広大な面積、山岳地域を管轄する久万高原町における災害形態の特殊性が反映されています。（「救助出動統計」 下記グラフ参照）

救助出動統計（過去5年間）



〔救助隊員の育成〕・・・専門的知識と技術の習得

救助隊員には、如何なる災害にも対応できる体力・精神力及び専門的知識・技術を身に付けることが不可欠です。当消防本部では、日々訓練に励み救助隊としてのチームワークと個々の能力向上を図っています。

また、消防大学校救助科及び愛媛県消防学校救助科へ職員を入校させ、指導者を育成し、救助隊として統制のとれた教育を実施しています。

〔消防防災ヘリコプターの活用方策〕・・・効果的な連携活動の重要性

令和7年中の防災ヘリ出動要請件数は山岳及び山林地帯における事故で4件となっており、山岳事故での防災ヘリによる救助活動は極めて有効なものととなります。あらゆる災害現場において防災ヘリを有効的に活用するため、定期的な合同訓練を実施し、地上隊として連携のとれた活動が展開できるよう救助技術のレベルアップに努めています。また、管内各地域にヘリポートを整備し、より効果的な運用ができる体制を構築しています。

（「救助編・ヘリコプター離着陸場一覧」 P96 参照）

總務編

令和7年度おもな行事

4 月	1	辞令交付・職員会
	3 ～9/13	愛媛県消防学校初任科入校式(2名)
	3	愛媛県消防長会春季総会
	18	愛媛県消防協会中予支部役員会・総会(松山市)
	23	愛媛県消防長会消防救助技術研修会(松山西消防署)
	23	全国消防長会四国支部消防職員意見発表会・総会(徳島県)
	25	愛媛県予防事務担当者研修会
5 月	16	令和7年度愛媛県中予地区消防長会総会(伊予市)
	14	行政経営改革推進本部会議
	18	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会総会及び防災研修
	18	肱川総合水防演習(大洲市)
	22	松山地区危険物安全協会通常総会(ネストホテル)
	29	第77回全国消防長会総会
	30	第41回日本救急医学会中国四国地方会(島根県)
6 月	4	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会理事会消防大会(松山市民会館)
	5	第10回愛媛県消防救助技術大会(愛媛県消防学校)
	8 ～14	危険物安全週間
	19	久万高原警察署との合同水難救助訓練
	23	石鎚周辺西条市消防本部合同予防査察
7 月	1	愛媛県消防学校初任科技術支援
	4	愛媛県消防長会違反是正推進連絡会及び住宅用火災警報器設置対策連絡会
	6	梶原消防団合同演習視察
	11	違反是正推進連絡会・住警器設置対策連絡会
	12	第46回消防大学校学友会愛媛県支部総会
	12	中予地区MC協議会・研修会(松山市合同庁舎)
	24	第2回あいFIREワーキンググループ会議(松山市合同庁舎)
	23	第1回久万高原町虐待防止対策連絡協議会
	24	愛媛県消防学校初任科教育支援
	25	愛媛県消防長会火災調査担当者研修会(松山市合同庁舎)
	26	第53回消防救助技術四国地区指導会(徳島県消防学校)
	30	愛媛県消防長会1DAYインターンシップ
8 月	1	消防職員委員会等に関する四国ブロック説明会(高知県)
	1	第2回DNARプロトコール調査・研究ワーキング部会(松山市消防局)
	4	愛媛県消防長会違反是正研修会(伊予市)
	19	愛媛県消防長会通信事務担当者研修会(WEB)
	25	ハラスメント防止研修
9 月	6	愛媛県消防学校初任科訓練発表会
	6	愛媛県緊急消防援助隊参集訓練(宇和島市)
	7	愛媛県総合防災訓練(宇和島市)
	7	第1回消防フェスタ(久万高原町消防本部)
	12	愛媛県消防防災航空隊合同訓練
	17	愛媛県消防学校初任科卒業式
	20	救急フェア【中予地域MC協議会】(ニンジニアスタジアム)
	24 ～10月24日	愛媛県消防学校専科教育「救助科」入校
	26	愛媛県消防長会警防事務担当者研修会(合同庁舎)
	26	松山圏域火災予防業務研修(久万高原町)
	27	松山圏域災害医療対策会議
10 月	1	中予地区消防長会ドローン部隊事前確認訓練(東温市)

10 月	8	消防設備保守業務等実務研修会(松山市)
	8	消防学校教育担当者会議(愛媛県消防学校)
	10	全国消防長会四国支部消防長研修会(高松市)
	10	NET119県内統一運用に係る担当者会議(松山市合同庁舎)
	11	久万高原町防災訓練
	14	愛媛県市町長防災危機管理ラボ(NOSAIえひめ)
	14	全国消防長会四国支部予防事務担当者会議(高知市)
	17	西部四国山地消防相互応援協定市町村連絡協議会
	27 ～11月7日	愛媛県消防学校専科教育「警防科」入校
	29	全国消防長会四国支部総務事務担当者会(松山市合同庁舎)
	30	愛媛県消防長会救急事務担当者研修会(松山市合同庁舎)
	31	消防法令違反是正事例研究会(松山市合同庁舎)
11 月	6	中予地区消防長会合同訓練(東温市)
	10 ～21日	愛媛県消防学校幹部教育「初級幹部科」入校
	10	中予地区消防長会共創広報研修会
	12 ～14日	第30回全国女性消防団員活性化大会
	21	愛媛県消防長惨事ストレス研修会(松山市合同庁舎・WEB)
	23	第91回えひめ外傷セミナー(松山市合同庁舎)
	2	松山圏域火災予防業務研修(松山市)
	23	中予地区女性消防団員体力錬成レクバレー大会
12 月	26	久万高原町消防署・高吾北消防署合同山岳救助訓練
	6	令和7年度消防団広域連携強化訓練
	11	第28回全国消防救助シンポジウム(東京都)
	12	東温市脳卒中患者救急搬送連絡協議会脳卒中研修会(東温市消防本部)
	15	愛媛県消防長会女性活躍推進事業「フェムテック研修」(松山市合同庁舎)
	20 ～1月10日	年末年始特別火災予防運動
	26	年末火災予防特別警戒出発式
	27 ～30日	年末特別警戒(消防団)
1 月	1 ～3日	年始特別警戒実施
	5	消防本部仕事始め式町長年頭訓示
	9	消防職員ハラスメント防止研修
	11	愛媛県災害医療研修(MCLSマネージメントコース)(松山市合同庁舎)
	13 ～3月6日	愛媛県消防学校「救急科」入校
	14	防火ポスター習字・硬筆コンクール審査会
	22	文化財防火デー訓練
	22	第34回全国救急隊員シンポジウム(熊本市)
	26	愛媛県消防長会総務事務担当者会議
	29	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会(愛媛県文化会館)
	30	中予地区消防長会火災調査事例報告会(松山市合同庁舎)
	30	令和7年度四国支部警防事務担当者会議(WEB)
2 月	2	令和7年度中予地区MC協議会臨時会議(松山市合同庁舎)
	10	第16回救急医療に係る症例検討会(済生会松山病院)
	11	第1回愛媛PEMECコース(西条市)
	13	全国消防長会四国支部消防法令違反是正事例発表会(徳島市)
	14	少年消防クラブ指導者交流会(東京都)
	17	愛媛県下救助隊合同訓練(今治市)
3 月	2	第2回久万高原町虐待防止対策連絡協議会(産業文化会館)
	2	令和7年度松山圏域災害医療対策会議(中予地方局)
	7	中予地域MC協議会・研修会(松山市合同庁舎)
	9	他機関合同林野火災防御訓練(陸上自衛隊松山駐屯地)
	15	久万高原町消防出初式
	19	救急救命士心肺停止前トレーニング(DXPOT)(松山市合同庁舎)
	19	中予ブロック地区合同救急医療対策協議会(松山市医師会)
	22	5機関合同就職説明会

職員の年齢別状況

階級 年齢	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他	計	1	2	3	4	5	6
18	-	-	-	-	-	1	-	1						
19	-	-	-	-	-	-	-	-						
20	-	-	-	-	-	3	-	3						
21	-	-	-	-	-	2	-	2						
22	-	-	-	-	-	1	-	1						
23	-	-	-	-	-	-	-	-						
24	-	-	-	-	-	1	-	1						
25	-	-	-	-	-	2	-	2						
26	-	-	-	-	-	1	-	1						
27	-	-	-	-	-	-	-	-						
28	-	-	-	-	-	-	-	-						
29	-	-	-	-	3	-	-	3						
30	-	-	-	-	1	-	-	1						
31	-	-	-	-	-	-	-	-						
32	-	-	-	1	-	-	-	1						
33	-	-	-	1	-	-	-	1						
34	-	-	-	1	-	-	-	1						
35	-	-	-	1	-	-	-	1						
36	-	-	2	1	-	-	-	3						
37	-	-	3	-	-	-	1	4						
38	-	-	-	-	-	-	-	-						
39	-	-	3	-	-	-	-	3						
40	-	-	-	-	-	-	-	-						
41	-	-	-	-	-	-	-	-						
42	-	-	1	-	-	-	-	1						
43	-	-	-	-	-	-	-	-						
44	-	-	1	-	-	-	-	1						
45	-	-	1	-	-	-	-	1						
46	-	-	-	-	-	-	-	-						
47	-	1	1	-	-	-	-	2						
48	-	1	-	-	-	-	-	1						
49	-	2	-	-	-	-	-	2						
50	-	-	-	-	-	-	-	-						
51	-	1	-	-	-	-	-	1						
52	-	1	-	-	-	-	-	1						
53	-	2	-	-	-	-	-	2						
54	-	2	-	-	-	-	-	2						
55	-	1	-	-	-	-	-	1						
56	-	-	-	-	-	-	-	-						
57	1	1	-	-	-	-	-	2						
58	-	-	-	-	-	-	-	-						
59	-	-	-	-	-	-	-	-						
60	-	-	-	-	-	-	-	-						
61	-	-	-	-	-	-	-	-						
62	-	-	-	-	-	-	-	-						
人員数	1	12	12	5	4	11	1	46						
平均年齢	57	51.8	36.8	34	29.3	22	37	37.4						

消防職員研修状況

年度別 研修内容		H27 以前	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
消防大学校	本科	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	幹部科(上級幹部科)	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7
	警防科	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
	予防科	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	救急科	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	救助科	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	火災調査科	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5
愛媛県消防大学校	初任教育	76	3	-	2	1	4	1	2	2	2	2	95
	初級幹部科	19	1	1	-	-	1	-	1	1	-	1	25
	警防科	14	1	1	1	1	-	-	-	1	-	1	20
	予防科	30	1	1	1	1	-	1	-	-	1	-	36
	救急科(救急標準課程・救急科)	24	3	-	1	1	3	2	2	2	2	2	42
	救助科	18	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	22
	火災調査科	28	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	35
山岳遭難救助研修		11	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12
救急救命士養成所		17	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	26
赤十字水上安全法講習会		18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
日本救急医学総会/日本臨床救急医学総会		22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
日本救急医学会中国四国地方会		23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
病院研修 救急救命士現任研修 追加研修・就業前研修		175	11	10	12	12	-	12	8	-	4	9	253
合	計	505	24	16	19	19	10	19	15	9	11	17	664

消防職員特殊技能有資格状況

資格種別	階 級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
自動車普通免許一種		1	12	12	5	4	11	45
大型自動車免許一種		1	12	12	5	4	3	37
大型特殊自動車免許		-	1	2	-	-	-	3
自動二輪自動車免許		1	5	5	4	2	2	19
ショベルローダー等運転技術者		1	-	-	-	-	-	1
消防設備士乙1		-	2	-	-	-	-	2
消防設備士乙4		-	3	-	-	-	-	3
消防設備士乙5		-	3	-	-	-	-	3
消防設備士乙6		-	5	5	-	-	-	10
消防設備士乙7		-	1	1	-	-	-	2
消防設備点検資格者(第1種・2種)		-	1	-	-	-	-	1
危険物取扱者甲種		-	1	-	-	-	-	1
危険物取扱者乙1		-	5	4	1	1	-	11
危険物取扱者乙2		-	7	3	-	-	-	10
危険物取扱者乙3		-	7	3	-	-	-	10
危険物取扱者乙4		1	10	10	3	4	-	28
危険物取扱者乙5		-	6	3	-	-	-	9
危険物取扱者乙6		-	9	4	-	1	-	14
防災士		1	12	4	1	-	-	18
特殊無線技士乙・第3級陸上		1	12	12	5	4	8	42
救急隊員資格Ⅱ課程・標準課程		1	11	12	5	3	8	40
救急救命士		1	9	4	2	2	-	18
JPTecプロバイダー・インストラクター		-	4	6	-	2	-	12
ACLSプロバイダー・インストラクター		-	1	-	-	-	-	1
MCLSプロバイダー・インストラクター		1	2	3	-	2	-	8
日赤救急法指導員		-	1	-	-	-	-	1
日赤水上安全法救助員		1	4	4	1	-	-	10
酸素欠乏危険作業主任者		-	2	7	-	-	1	10
玉掛け技能講習会		-	3	6	-	-	-	9
指導救命士		-	3	-	-	-	-	3
二等無人航空機操縦士		-	-	2	1	-	-	3

予算概況

〔消防予算(当初)〕

(各年度)〔単位：千円〕

年 度	消 防 費	目 別 内 訳			
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費
R3	521,334	318,578	57,224	122,431	23,101
R4	450,009	319,140	57,567	36,251	37,051
R5	473,186	316,610	53,564	76,539	26,473
R6	443,179	342,454	54,865	14,114	31,746
R7	459,125	351,513	52,593	21,185	33,834
R8	478,970	363,121	53,626	21,271	40,952

〔一般会計予算(当初、決算)に対する消防費と負担比較〕

(各年度)

年度	区分	一 般 会 計 (千円)	消 防 費 (千円)	構成比 (%)	消 防 費 に 対 す る	
					住民 1 人* 当たり額(円)	1 世帯* 当たり額(円)
R3	当初	9,438,346	521,334	5.5	66,599	121,722
	決算	10,507,567	899,639	8.6	114,926	210,049
R4	当初	9,303,229	450,009	4.8	59,494	107,375
	決算	9,821,134	544,824	5.5	72,029	129,999
R5	当初	8,978,287	473,186	5.3	64,564	115,977
	決算	9,886,655	472,192	4.8	64,428	115,733
R6	当初	8,901,216	443,179	5	62,693	111,576
	決算	9,572,512	459,856	4.8	65,052	115,774
R7	当初	9,279,101	459,125	4.9	67,528	117,664
R8	当初	9,077,177	478,970	5.3	72,516	124,602

※人口及び世帯数は、当該年度の4月1日現在の住民基本台帳登録人口の数値にて計算

予 防 編

年間の主な行事

実施月日	行 事 名	内 容
5月18日	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	女性防火クラブの活動について協議しました。
6月8日～ 6月14日	危険物安全週間	危険物関係事業所に対する査察の実施及び予防広報により、危険物の保安に対する意識の高揚啓発に努めました。
9月7日	消防フェスタ	地域住民等を対象に車両展示や地震・煙体験、放水・救助体験、応急手当、防災食づくり、大声コンテスト等を実施し、消防防災の重要性を楽しく学びながら防災意識の向上を図りました。
11月9日～ 11月15日	車両による広報	期間中、管内を巡回し、火災予防広報を実施しました。
	ポスター 掲示	火災予防桃太郎旗の設置及び防火ポスターを公共施設、事業所等に配布しました。
	放送による広報	期間中、防災行政無線により予防広報を実施しました。
	防災教室の実施	学校・事業所・地域を対象に通報・避難・消火訓練等を実施しました。
	立入検査の実施	防火対象物の立入検査を実施しました。
11月4日～ 11月28日	一人暮らしのお年寄り宅防災診断	管内の一人暮らしのお年寄り世帯(75歳以上345戸)を対象に、火気使用設備の状況確認や危険箇所の是正、健康状況の調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進活動を実施しました。
11月4日～ 11月28日	移動タンク等立入検査の実施	危険物安全週間中に立入検査できなかった事業所及び立入検査時に指摘事項があった事業所から選定して実施しました。
12月20日～ 1月10日	年末年始火災予防特別運動	一般住民の防火意識の高揚を図り、「火災の未然防止」「早期発見」「被害の軽減」を目的に、年末・年始火災予防特別運動を実施しました。
1月14日	防火ポスター・習字コンクール	小・中学生よりポスターの部208点・防火習字・硬筆の部232点の応募があり、142名を表彰しました。表彰作品については管内各施設で展示会を実施しました。
3月1日～ 3月7日	ポスター 掲示	秋季火災予防運動に同じ。
	放送による広報	
	防災教室の実施	
	立入検査の実施	
	後期高齢者夫婦世帯等防災診断 (2月25日～3月10日)	管内の後期高齢者夫婦世帯等(190戸)を対象に、火気使用設備の状況確認や危険箇所の是正、健康状況の調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進活動を実施しました。

防火対象物数・立入検査状況

地区別 防火対象物の区分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町	立入検査
1	イ 劇場・映画館・演芸場	1	-	-	-	1	-
	ロ 公会堂・集会場	19	7	5	5	36	15
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	-	-	-	-	-	-
	ロ 遊技場・ダンスホール	-	-	-	-	-	-
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-	-	-	-
	ニ カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-
3	イ 待合・料亭の類	-	-	-	-	-	-
	ロ 飲食店	5	-	-	-	5	-
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	10	1	-	-	11	7
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等	9	1	2	2	14	3
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	25	3	7	4	39	12
6	イ 病院・診療所・助産所	4	-	1	1	6	2
	ロ 老人児童等福祉施設・厚生施設	9	-	-	-	9	7
	ハ 老人サービスセンター	6	1	1	1	9	6
	ニ 幼稚園・養護学校・盲学校	4	-	2	-	6	6
7	小中学校・高等学校・各種学校	21	-	9	2	32	20
8	図書館・博物館・美術館	6	1	-	-	7	1
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-
	ロ 公衆浴場	2	-	-	-	2	1
10	車両の停車場	-	-	-	-	-	-
11	神社・寺院・教会	5	-	1	-	6	-
12	イ 工場・作業場	36	2	8	1	47	22
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫・駐車場	3	-	1	-	4	1
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	33	2	2	1	38	13
15	官公署・銀行・その他の事業所	76	2	11	17	106	47
16	イ 特定の複合用途防火対象物	27	5	7	3	42	14
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	12	1	3	-	16	4
17	重要文化財・重要美術品	2	-	3	-	5	1
合 計		315	26	63	37	441	182

消防用設備の設置状況

消防用設備別 防火対象物の区分			消火設備					警報設備				避難設備		定期 点 検
			消 火 器 具	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 報 知 設 備 の 通 報 す る	消 防 機 関 へ 通 報 す る	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	
1	イ	観覧場・劇場	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
	ロ	公会堂・集会場	36	5	-	-	-	11	1	1	13	2	20	35
2	イ	キャバレー等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケBOX等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	料理店等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店等	5	-	-	-	-	3	1	-	-	-	3	3
4		百貨店等	11	2	-	-	-	7	1	-	1	-	9	9
5	イ	旅館・ホテル等	14	5	-	-	-	14	2	5	2	6	14	9
	ロ	共同住宅等	30	-	-	-	-	4	2	-	1	-	1	25
6	イ	病院・診療所	6	-	1	-	-	3	-	3	2	-	5	4
	ロ	福祉施設	9	2	9	-	-	9	-	9	-	1	9	8
	ハ	ディサービス等	9	-	-	-	-	8	-	1	1	-	9	9
	ニ	幼稚園等	6	-	-	-	-	3	-	-	-	1	6	6
7		学校等	28	14	-	-	1	26	6	-	4	3	1	30
8		図書館	4	2	-	-	-	4	2	-	1	1	1	5
9	イ	蒸気浴場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	2
10		車両の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2
12	イ	工場・作業場	44	8	-	1	-	20	-	-	-	-	1	31
	ロ	テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	駐車場・車庫	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	ロ	飛行機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	34	3	-	-	-	8	-	-	-	-	1	25
15		その他の事業所	76	5	-	1	-	17	1	-	7	-	12	66
16	イ	特定含む混在	30	6	-	1	-	20	1	-	1	4	27	27
	ロ	その他の混在	10	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	9
17		重要文化財	5	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5
合 計			367	52	10	3	1	162	18	19	37	18	124	314

*任意設置については除外しています。

防火管理者の選任状況・消防計画の届出状況

内 訳 区 分			甲種防火対象物						乙種防火対象物					
			単一管理			複数管理			単一管理			複数管理		
			対象物数	選任済み	消防計画	対象物数	選任済み	消防計画	対象物数	選任済み	消防計画	対象物数	選任済み	消防計画
1	イ	劇場・映画館・演芸場	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	18	17	17	-	-	-	18	15	14	-	-	-
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	待合・料亭の類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	6	5	5	1	1	1	1	1	1	-	-	-
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	10	10	10	-	-	-	3	3	3	-	-	-
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	イ	病院・診療所・助産所	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	老人児童等福祉施設・厚生施設	9	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	ディサービスセンター等	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	幼稚園・養護学校・盲学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7		小中学校・高等学校・各種学校	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8		図書館・博物館・美術館	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
10		車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	イ	工場・作業場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15		官公署・銀行・その他の事業所	15	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	イ	特定の複合用途防火対象物	26	25	25	2	1	1	1	1	1	-	-	-
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		重要文化財・重要美術品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計			105	100	100	3	2	2	25	22	21	-	-	-

各種届出事務の処理状況

種 別 \ 地 区 別		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	その他	合計
消 防 法 関 係	工事整備対象設備等着工届	-	-	-	-	-	-
	消 防 用 設 備 等 設 置 届	6	-	1	-	-	7
	消防用設備等点検結果報告	204	16	21	23	-	264
	防 火 管 理 者 選 任 届	13	2	3	1	-	19
	消 防 計 画 作 成 届	22	3	6	1	-	32
	L P G 等 貯 蔵 ・ 取 扱 届	-	-	-	1	-	1
火 災 予 防 条 例 関 係	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	3	-	-	-	-	3
	ボ イ ラ ー ・ 炉 等 設 置 届	4	-	1	-	-	5
	発電・蓄電・変電設備設置届	6	-	2	-	-	8
	火災とまぎらわしい行為の届	195	-	14	1	-	210
	煙火の打ち上げ・仕掛け届	3	-	1	-	-	4
	道 路 工 事 届	56	52	31	37	1	177
	少量危険物・指定可燃物届	3	1	-	-	-	4
そ の 他	森 林 火 入 れ 許 可	-	-	-	-	-	-
	罹 災 証 明 等 交 付 申 請	4	-	-	-	-	4
合 計		519	74	80	64	1	738

危険物施設数

(完成検査済証交付施設)

製造所等の別 数量の別	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
5 倍以下	1	1	1	6	2	10	-	21	2	1	3	24
5 倍をこえ 10倍以下	1	4	-	1	-	-	-	6	2 (2)	-	2	8
10倍をこえ 50倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3 (3)	2	5	5
50倍をこえ 100倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	5	5
100倍をこえ 150倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
150倍をこえ 200倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	2 (1)	-	2	2
200倍をこえ 1000倍以下	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
合 計	2	5	1	8	2	10	-	28	16 (6)	4	20	48

※ () 内は、給油取扱所のうち自家用を表記。

危険物関係事務の処理状況

施 設 別 種 類 別	貯 蔵 所								取扱所			合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
設 置 許 可	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
変 更 許 可	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
設 置 完 成 検 査	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
変 更 完 成 検 査	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
予 防 規 程 の 認 可	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	6	6
仮貯蔵・仮取扱承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仮 使 用 の 承 認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃 止 届	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
譲 渡 引 渡 届	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
種 類 数 量 変 更 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 届	-	-	-	1	-	1	-	2	1	-	1	3
保安監督者選・解任届	1	-	-	1	-	-	-	2	1	1	2	4
取扱者選・解任届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
休 止 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再 開 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 届	-	-	-	5	-	2	-	7	6	-	6	13
合 計	1	-	-	7	-	9	-	17	12	3	15	32

危険物手数料の徴収状況

(単位:円)

区 分 \ 地区別	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	計
設 置 許 可	26,000	-	26,000	-	52,000
変 更 許 可	13,000	-	-	-	13,000
設 置 完 成 検 査	-	-	13,000	-	13,000
変 更 完 成 検 査	6,500	-	-	-	6,500
完 成 検 査 前 検 査	-	-	-	-	-
仮貯蔵・仮取扱	-	-	-	-	-
仮 使 用	-	-	-	-	-
合 計	45,500	-	39,000	-	84,500

危険物施設に対する査察状況

製造所等の別 \ 査察実績	施設数	査察回数(延べ)
屋 内 貯 蔵 所	2	2
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	5	2
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	-
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	8	7
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	2	1
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	10	9
屋 外 貯 蔵 所	-	-
給 油 取 扱 所	16	14
一 般 取 扱 所	4	4
合 計	48	39



クラブ広報編

幼年消防クラブ

久万こども園幼年消防クラブ

S 59. 4. 1 結成

★平成25年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★令和 3年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 白川 真理	クラブ員 86名
4月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練)	
5月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練：紙芝居)	
6月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練：通報訓練)	
7月	定期避難訓練	(風水害想定)	
8月	合同避難訓練	(火災想定：通報訓練：消火訓練)	3施設合同、消防署指導
9月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：消火器の設置場所確認)	
10月	定期避難訓練	(地震想定)	
11月	定期避難訓練	(地震想定・火災想定・消火訓練・紙芝居)	
12月	定期避難訓練	(シェイクアウトえひめ/地震想定：消火訓練：通報訓練)	
1月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：消火器の設置場所確認)	
2月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練)	
3月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：通報訓練)	

直瀬幼年消防クラブ

S 59. 12. 1 結成

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 八木 伸浩	クラブ員 1名
4月	避難訓練		
6月	救急救命講習・防災訓練	(災害時の引き渡し訓練)	
12月	シェイクアウトえひめ：避難訓練		
冬休み	わが家の防火点検		
1月	防火ポスター・防火習字制作		
2月	避難訓練		
通年	防災に関する学習		

畑野川幼年消防クラブ

H10. 7. 9 結成

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 片岡 克哉	クラブ員 7名
5月	避難訓練 火災想定	(幼年・少年合同)	
6月	救急救命講習	(幼少合同・保護者参加)	
9月	避難訓練	(幼年・少年合同)	
12月	地震体験車	(幼年・少年合同)	
12月	シェイクアウトえひめ	(幼年・少年合同)	

明 神 幼 年 消 防 ク ラ ブ	S 61. 2. 27 結 成
-------------------	-----------------

★平成30年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者	田中 明定	クラブ員	6名
4月	避難訓練 地震・火災想定 (避難経路の確認)				
6月	救命救急講習 (PTA活動)				
6月	避難訓練：土砂災害時				
11月	引き渡し訓練 (保護者参加)				
2月	引き渡し訓練 (保護者参加)				

久万幼稚園幼年消防クラブ	H 元. 7. 14 結 成
--------------	----------------

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者	稲垣 文	クラブ員	18名
5月	避難訓練：火災想定 (小学校合同)				
6月	救急救命講習 (参観日保護者参加)				
7月	避難訓練：引き渡し訓練 (小学校合同)				
11月	避難訓練：地震想定 (小学校合同)				
12月	シェイクアウトえひめ：地震想定				
1月	避難訓練：火災想定 (小学校合同)				

仕 七 川 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H3. 12. 4 結 成
---------------------	---------------

★令和元年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者	杉本 進介	クラブ員	6名
4月	避難訓練				
5月	少年消防クラブ結団式				
6月	救急救命講習：AED指導 参観日 (消防署指導)				
6月	少年消防学習会 (川での安全な遊び方について)				
11～12月	防火ポスター・防火習字制作				
12月	シェイクアウトえひめ：緊急地震速報訓練				
冬休み	我が家の防火点検				
3月	校内防火・防災点検：活動のまとめ				

柳 谷 幼 年 消 防 ク ラ ブ	H27. 6. 4 結 成
-------------------	---------------

★令和2年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者	川本 賢一	クラブ員	5名
5月	避難訓練：地震想定				
7月	防災用品の整備				
12月	シェイクアウトえひめ				
12月	避難訓練：地震想定				
3月	防災用品の補充				

少年消防クラブ

< 小学校 >

直瀬小学校少年消防クラブ

S 56. 5. 29 結成

★昭和59年度 全国少年消防クラブ運営指導議会議長（消防庁長官）表彰を受ける。

★平成27年度 （財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★令和元年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

★令和 4年度 2022年度優良少年消防クラブ表彰 消防庁長官賞を受賞。

令和7年度	活動報告	代表者 八木 伸浩	クラブ員 4名
-------	------	-----------	---------

4月	救急救命講習
----	--------

6月	引き渡し訓練
----	--------

12月	シェイクアウトえひめ：災害時における避難訓練
-----	------------------------

冬休み	我が家の防火点検
-----	----------

1月	防火習字・防火ポスター制作
----	---------------

2月	避難訓練
----	------

通年	防災学習
----	------

畑野川小学校少年消防クラブ

H10. 7. 9 結成

★平成26年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

★平成29年度 （財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける

★令和7年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 片岡 克哉	クラブ員 14名
-------	------	-----------	----------

5月	避難訓練（幼少合同）
----	------------

6月	救急法講習会（保護者参加）
----	---------------

9月	避難訓練：地震想定（幼少合同）
----	-----------------

12月	一人暮らしの高齢者宅訪問：防火の呼びかけ、花・手紙の配布（3年生以上）
-----	-------------------------------------

12月	シェイクアウトえひめ：地震想定
-----	-----------------

冬休み	我が家の防火点検
-----	----------

9月～3月	防火ポスター・防火習字制作：防火呼びかけ
-------	----------------------

明神小学校少年消防クラブ	S 61. 2. 27結成
--------------	---------------

★平成25年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★令和4年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 田中 明定	クラブ員 6名
4月	避難訓練：地震・火災想定		
6月	避難訓練：大雨土砂災害想定		
11月	避難訓練：水消火器訓練（消防署指導）		
11月	防火ポスター制作		
12月	シェイクアウトえひめ：避難訓練		
12月	一人暮らし高齢者宅訪問：防火の呼びかけ		
12月	防火習字制作		
冬休み	わが家の防火点検（消防署指導）		
2月	避難訓練・暴風雪警報発表時の引き渡し訓練（保護者参加）		

久万小学校少年消防クラブ	H10. 11. 9結成
--------------	--------------

★平成28年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 稲垣 文	クラブ員 27名
5月	少年消防クラブ任命式・防火教室（設備点検など）		
7月～9月	防火に関する広報活動：防火ポスター等作成		
冬休み	我が家の防火点検		

父二峰小学校少年消防クラブ	H11. 7. 3結成
---------------	-------------

★平成29年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★平成30年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 高市 秀昭	クラブ員 16名
6月	避難訓練（火災想定：消火訓練）		
7月	一人暮らしの高齢者宅訪問（防火の呼びかけ）		
7月	救急救命講習（児童・保護者を対象としたプール使用時の救命法）		
10月	起震車体験		
11月～1月	防火ポスター・防火習字制作		
12月	シェイクアウトえひめ		
冬休み	我が家の防火点検		

面河小学校少年消防クラブ

H12. 4. 1 結成

★平成24年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★平成24年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★平成24年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 相原 順治	クラブ員 3名
4月	全校避難訓練：火災想定		
4月	令和7年度少年消防クラブ結団式		
12月	シェイクアウトえひめ		
冬休み	我が家の防火点検：自宅の防火チェック		
3月	防災リュックの配布		
3月	今年度の反省		

仕七川小学校少年消防クラブ

H3. 12. 4 結成

★令和3年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★令和3年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 杉本 進介	クラブ員 8名
4月	避難訓練		
5月	少年消防クラブ結団式		
6月	救急救命講習会：AED指導 参観日（消防職員）		
6月	少年消防学習会（川での安全な遊び方について）		
11月～12月	防火ポスター・防火習字作成		
12月	シェイクアウトえひめ：緊急地震速報訓練		
冬休み	わが家の防火点検		
3月	校内防火・防災点検：活動のまとめ		

柳谷小学校少年消防クラブ

H27. 6. 4 結成

★令和2年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 川本 賢一	クラブ員 6名
冬休み	わが家の防火点検		
3月	防災用品の整備		

< 中学校 >

久万中学校少年消防クラブ

H12.7.4結成

★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 佐藤 太	クラブ員 26名
5月	避難訓練：土砂災害対応		
6月	避難訓練：地震・火災想定		
夏休み	防火ポスター制作		
冬休み	我が家の防火点検		
通年	防災倉庫点検 (医薬品等の補充)		

美川中学校少年消防クラブ

H12.7.4結成

★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。

★平成25年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度	活動報告	代表者 新田 敏之	クラブ員 22名
4月	避難訓練		
5月	普通救命講習		
12月	シェイクアウトえひめ：避難訓練・地震想定		
冬休み	我が家の防火点検		
3月	避難訓練：不審者対応想定		

女性防火クラブ

上直瀬女性防火クラブ

S56.2.26結成

★昭和56年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。		
★昭和58年度	（財）自治総会センターのコミュニティ助成事業を受ける。		
★昭和60年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。		
★平成 2年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。		
★平成26年度	愛媛県消防協会会長表彰を受ける。		
★令和 6年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。		
令和7年度	活動報告	部長 上村 芽衣子	クラブ員 26名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 総会		
9月	松山圏域女性防火クラブ合同研修会		
9月	久万高原町消防フェスタ:防災食		
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会		

上畑野川女性防火クラブ

S59.2.15結成

★昭和62年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。	
★平成 6年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。	
★平成 7年度	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。	
★平成10年度	日本消防協会より防災資器材の寄贈を受ける。	
★平成20年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。	
★平成29年度	愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。	
令和7年度 活動報告	部長 八塚 美紀子	クラブ員 16名
4月	敬老会（防火啓発チラシ配布）	
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 総会	
6月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会理事会・消防大会	
7月	軽可搬ポンプ点検	
9月	松山圏域女性防火クラブ合同研修会	
9月	久万高原町消防フェスタ:防災食	
12月	一人暮らしの高齢者宅訪問（畑野川小学校少年消防クラブ合同）	
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会	
2月	公民館まつり（防災食・防火啓発）	
3月	久万高原町出初式	
3月	軽可搬ポンプ点検	

下 畑 野 川 女 性 防 火 ク ラ ブ

S59.2.15結成

★昭和62年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。

★平成22年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。

★平成28年度 愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

★令和7年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度 活動報告		部長 小黒 五月	クラブ員 29名
4月	下畑野川敬老会		
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 総会		
7月	防災食作り		
8月	下畑野川盆おどり会		
9月	久万高原町消防フェスタ:防災食		
10月	一斉避難訓練		
12月	一人暮らしの高齢者宅訪問（畑野川小学校少年消防クラブ合同）		
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会		
3月	久万高原町出初め式		

渋 草 女 性 防 火 ク ラ ブ

H6.7.28結成

★平成 6年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。

★平成 9年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。

★平成12年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。（応急手当の普及推進）

★平成18年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。

★平成19年度 自治体消防制度60周年記念日本防火協会会長表彰を受ける。

★平成21年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★令和 3年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和7年度 活動報告		部長 高岡 千鶴美	クラブ員 8名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 総会		
10月	防火交通茶屋		
11月	防火交通茶屋:マスコットの防火啓発・配布		
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会		

表彰及び助成事業状況

クラブ名		部門	表彰					助成事業			
全国少年消防クラブ運営指導議会 (消防庁長官) 会長表彰			上浮穴郡 生活環境 事務組合 組合長表彰	愛媛県婦人 防火クラブ 連絡協議会 会長表彰	自治体消防 制度60周年 日本消防協会 会長表彰	愛媛県 消防協会 会長表彰	日本消防協会 優良表彰	上浮穴郡 纏会表彰	日本消防協会 『安全で災害に 強い地域づくり 推進事業』	日本消防協会 防災資器材	(財)自治総会セクター コミュニティ助成事業
直瀬小学校 少年消防クラブ			昭和60年度			平成26年度 令和6年度	昭和59年度		昭和56年度 平成 2年度		昭和58年度
		部門							昭和57年度 平成21年度		昭和58年度
明神小学校 少年消防クラブ			平成 6年度	平成 7年度		平成29年度			昭和62年度 平成20年度	平成10年度	
		クラブ名		平成28年度		令和 7年度			昭和62年度 平成22年度		
上 直 瀬 女性防火クラブ			昭和60年度			平成23年度		平成21年度	平成10年度		
下 直 瀬 女性防火クラブ			平成 9年度 平成12年度		平成19年度	令和 3年度			平成 6年度 平成18年度		
上畑野川 女性防火クラブ						令和 3年度		平成25年度			
下畑野川 女性防火クラブ						平成30年度					
露 峰 女性防火クラブ						平成29年度					
渋 草 女性防火クラブ						平成28年度					
久万こども園 幼年消防クラブ						平成26年度					
明 神 幼年消防クラブ						平成27年度					
久万幼稚園 幼年消防クラブ						令和 2年度					
畑野川 幼年消防クラブ						令和元年度					
面河 幼年消防クラブ						令和 4年度					平成25年度
直 瀬 幼年消防クラブ						平成29年度					平成28年度
柳 谷 幼年消防クラブ						令和 7年度					平成29年度
仕七川 幼年消防クラブ						令和元年度					平成27年度
明神小学校 少年消防クラブ						平成30年度					平成29年度
久万小学校 少年消防クラブ						令和 5年度		平成24年度			平成24年度
畑野川小学校 少年消防クラブ						令和 3年度					令和 3年度
直瀬小学校 少年消防クラブ						令和 2年度					
父二峰小学校 少年消防クラブ						平成27年度					
面河小学校 少年消防クラブ						平成28年度		平成25年度			
仕七川小学校 少年消防クラブ											
柳谷小学校 少年消防クラブ											
久万中学校 少年消防クラブ											
美川中学校 少年消防クラブ								平成25年度			

少年消防クラブ助成事業

◎『安全で災害に強い地域づくり推進事業』

○消防防災実践活動モデル事業（モデル少年消防クラブ）

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平 成 21 年 度	柳谷小学校(旧柳谷中学校)
平 成 22 年 度	久万中学校 美川中学校

〈 資機材 配備状況 〉

	品 名	規 格 等	配 備 数		
			柳谷小	久万中	美川中
1	防災倉庫 〔兼 救助工具収納箱〕	タクボ物置	一 式	—	—
2	防災倉庫	タクボ物置	—	一 式	一 式
3	救助工具収納箱	AK型	—	一 式	1 式
4	簡易テント	E-ZUP DXA45	—	1 台	1 台
5	発電機	ホンダ EU16 i	1 台	1 台	1 台
6	チェンソー	ハスクバーナ 340型	1 台	—	—
7	投光器（スタンド付）	ハロゲン1灯式	1 台	1 台	—
8	コードリール	防雨型	1 台	1 台	1 台
9	リヤカー（ノーパンクタイヤ）	折りたたみ式	1 台	1 台	1 台
10	ハンド型メガホン	防雨型（サイレン付）	1 台	1 台	1 台
11	防塵ゴーグル	YG-5080	1 個	—	—
12	ガソリン携行缶	20ℓ用	1 缶	—	—
13	一輪車	—	1 台	1 台	1 台
14	脚立	—	1 台	1 台	1 台
15	担架	A式担架2型	1 台	1 台	1 台
16	災害組織用救急箱	約20人用	1 箱	1 箱	1 箱
17	LEDライト	ヘッドライト	—	10 個	10 個
18	LEDライト	ハンドライト	—	10 個	10 個
19	ヘルメット	PU-NI-L	5 個	20 個	20 個
20	手袋	ケブラー	5 双	20 双	20 双
21	手袋（軍手）	メクセル(12双入)	5 箱	—	—
22	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入)	5 箱	2 箱	2 箱
23	寸胴なべ	ステンレス50L	1 個	1 個	1 個
24	4升炊き炊飯器	RR-40SE	1 器	1 器	1 器
25	鋳物コンロ	LPG3連 KP20	1 個	1 個	1 個
26	LPGレギュレーター	調整器2口	1 個	1 個	1 個
27	点火装置	スパークL	1 個	1 個	1 個
28	湯切り竹柄そば上げ	24cm	1 個	1 個	1 個
29	ポータブル電源	708 Jackery	1 機	1 機	1 機
30	ソーラーパネル	100 Jackery	1 台	1 台	1 台
31	専用バック	P7 Jackery	1 個	1 個	1 個

※23～31は令和3年度にコミュニティ助成整備

〈 活動服 配備状況 〉

	柳谷小学校	久万中学校	美川中学校
配 備 数	13 着	64 着	53 着

（活動服 内訳）

①長袖シャツ

②カーゴパンツ

③帽子

④ベルト

⑤ヘルメット

少年消防クラブ コミュニティ助成事業

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平成 24 年 度	面 河 小 学 校
平成 25 年 度	明 神 小 学 校
平成 27 年 度	直 瀬 小 学 校
平成 28 年 度	久 万 小 学 校

〈 資 機 材 配 備 状 況 〉

★は役場総務課で配備

	品 名	規 格 等	配 備 数			
			面河小	明神小	直瀬小	久万小
1	防災備蓄倉庫	タクボ物置	一 式	一 式	一 式	一 式
2	簡易テント	E-ZUP DXA45 DX45 アルミ TA-34	一 式	一 式	一 式	一 式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1 台	1 台	1 台	1 台
4	リヤカー (ノーパンク)	折りたたみ式	1 台	1 台	1 台	1 台
5	発電機	ホンダ EU16 i ホンダ EU9iK1JN1	1 台	1 台	1 台	1 台
6	投光器 (スタンド付)	ハロゲン1灯式 ハロゲン2灯式 ハヤタ PHCX-305	1 台	1 台	1 台	1 台
7	コードリール	防雨型	1 台	1 台	1 台	1 台
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1 台	1 台	1 台	1 台
9	LEDライト	ヘッドライト	10 個	10 個	10 個	10 個
10	ヘルメット	PU-NI-L 148EZ-W1-J	10 個	10 個	10 個	10 個
11	手袋	ケブラー	10 双	10 双	10 双	10 双
12	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入) 使い捨て型	1 箱	1 箱	1 箱	1 箱
13	移動式カマド	船山 EG600A 自主防エコノミーU型	一 式	一 式	一 式	一 式
14	チェーンソー	ゼノア GZ3850EZ			1 台	
15	ガソリン携行缶	20ℓ			1 個	2 個
16	難燃毛布	災害備蓄用パッキ式	★	★	20 枚	30 枚
17	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20			5 台	10 台
18	一輪車 (ノーパンク)					5 台
19	はしご兼用脚立	PRT-20FX				1 脚
20	伸縮脚付き足場台	PXGE-1012FK				1 脚
21	ロールマット	段ボール・個包装	★	★	★	★
22	間仕切り	4部屋セット(パーテンション)	★	★	★	★

少年消防クラブ コミュニティ助成事業

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平成 29 年 度	畑 野 川 小 学 校
	父 二 峰 小 学 校
令 和 3 年 度	仕 七 川 小 学 校
	柳 谷 小 学 校、久 万 ・ 美 川 中 学 校 (資機材追加整備)

〈 資機材 配備状況 〉

★は役場総務課で配備

	品 名	規 格 等	配 備 数		
			畑野川小	父二峰小	仕七川小
1	防災備蓄倉庫		★	★	★
2	簡易テント	TA-34	一 式	一 式	一 式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1 台	1 台	1 台
4	リヤカー (ノーパンク)	折りたたみ式		1 台	1 台
5	発電機	ホンダ EU16 i	★	★	★
6	投光器	バルーン型	★	★	★
7	コードリール	防雨型	★	★	★
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1 台	1 台	1 台
9	LEDライト	ヘッドライト	10 個	10 個	10 個
10	ヘルメット	148EZ-W1-J	10 個	10 個	10 個
11	手袋	ケブラー	10 双	10 双	10 双
12	防塵マスク	使い捨て型	1 箱	1 箱	1 箱
13	移動式カマド	船山 EG600A	一 式	一 式	
14	ガソリン携行缶	20 ^{リットル}	2 缶	2 缶	2 缶
15	難燃毛布	災害備蓄用パック式	★	★	★
16	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20	5 台	5 台	5 台
17	一輪車	ノーパンク	5 台	5 台	5 台
18	寸胴なべ	ステンレス50L			1 個
19	4升炊き炊飯器	RR-40SE			1 器
20	鋳物コンロ	LPG3連 KP20			1 個
21	LPGレギュレーター	調整器2口			1 個
22	点火装置	スパークL			1 個
23	湯切り竹柄そば上げ	24cm			1 個
24	ポータブル電源	708 Jackery			1 機
25	ソーラパネル	100 Jackery			1 台
26	専用バック	P7 Jackery			1 個
27	ロールマット	段ボール・個包装	★	★	★
28	間仕切り	4部屋セット(パーテンション)	★	★	★

※令和3年度 柳谷小、久万中、美川中に18～26を各1ヶ、資機材充実で配備した

警 防 編

保有消防車両

(令和7年12月31日現在)

車名	号車	車種	排気量	登録番号	備考	配置年	年数	走行距離	配置部署	取得・寄贈
指令車兼 人員輸送車	消防 1号	トヨタ プロード	2,690cc	愛媛 さ 800 93-17	4WD	H17. 3. 10	19	99,749 k m	本部署	平成16年度市町村合併 推進体制整備事業
消防用査察 指導車	消防 2号	トヨタ エスティマ	2,360cc	愛媛 す 800 27-38	4WD	H21. 10. 30	15	117,416 k m	本部署	単 独
水槽付ポンプ車	消防 3号	ヒノ レンジャー	5,120cc	愛媛 は 800 62-63	4WD モリタA-2	R 2. 12. 1	4	9,596 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備整備費補助事業
積載兼工作車	消防 4号	ミツビシ キャンター	5,240cc	愛媛 は 830 ・ 119	4WD ラビットB-3	H15. 8. 20	19	38,536 k m	本部署	単 独
小型動力ポンプ 付水槽車	消防 5号	ヒノ レンジャー	6,400cc	愛媛 は 800 55-67	FR車 トーハツB-3	H22. 6. 18	15	14,967 k m	本部署	平成21年度地域活性化 経済対策臨時交付金事業
小型水槽付 ポンプ車	消防 6号	ヒノ デュトロ	4,009cc	愛媛 せ 800 10-88	4WD モリタA-2	R 6. 3 . 8	1	3,099 k m	美川支署	単 独
資器材運搬車	消防 7号	スズキ エブリーフロン	659cc	愛媛 あ 880 16-10	4WD	H27. 1. 26	9	62,947 k m	本部署	平成26年度石油貯蔵施設 立地対策等交付金事業
査察広報車	消防 8号	マツダ CX-30	1,997cc	愛媛 せ 800 10-43	4WD	R 6. 1. 20	1	15,079 k m	本部署	令和5年度 電源立地 地域対策交付金事業
資器材運搬車	消防 9号	スバル サンバー	659cc	愛媛 あ 80 20-11	4WD	R 2. 12. 28	4	19,579 k m	本部署	久万高原町消防団から移管
訓練指導車	消防11号	マツダ タイタン	1,990cc	愛媛 す 100 11-91	FR車	H18. 8. 30	18	32,819 k m	本部署	宝くじ協会寄贈
資器材運搬車	消防12号	ニッサン パネット	1,780cc	愛媛 す 800 11-91	4WD	R 6. 3. 31	0	8,070 k m	本部署	久万高原町消防団から移管
高規格救急車	救急 1号	ニッサン エルグランド	3,490cc	愛媛 す 800 63-72	4WD	H28. 3. 8	6	70,212 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備整備費補助事業
高規格救急車	救急 2号	トヨタ ハイエース	2,693cc	愛媛 す 800 15-64	4WD	H20. 1. 11	14	218,438 k m	本部署	全国共済農業協同組合連合会 愛媛県本部 寄贈
高規格救急車	救急 3号	トヨタ ハイエース	2,693cc	愛媛 さ 830 11-93	4WD	R6. 12. 23	1	17,016 k m	美川支署	単 独
高規格救急車	救急 5号	トヨタ ハイエース	2,693cc	愛媛 は 830 11-95	4WD	R 5. 2. 6	1	26,843 k m	本部署	全国共済農業協同組合連合会 愛媛県本部 寄贈

消防機械器具の保有状況(抜粋)

(令和7年12月31日現在)

種別	名 称	数量	種別	名 称	数量
放水器具	小型ポンプB-3級	2	林野火災用器具	マルチジョイント	2
	軽可搬ポンプD-2級	1		ウォーターチャージャー	1
	高圧送水ポンプ一式	2		トレンチショベル	10
	水幕ホース	3		背負い式消火水のう	48
	65mmホース	136	車両整備器具	高温・高圧洗浄機	1
	50mmホース	21		ガレージジャッキ	3
	40mmホース	22		クロスリムレンチ	3
	可変噴霧ノズル	3		ギアレンチ	2
	バブルカップ	2	その他	アクションカメラ	1
	エコファイターノズル	2		ドローン	2
	クワドラフ Fog ノズル	2		自立式大型水槽	1
	ラインプロポーションナー	3		防雨型コードリール	3
	プロパック	1		チェーンブロック	1
	トランスフォーマーピアシングノズル	1		救助用三脚	1
照明器具	発電機	6		ナイロンスリング	6
	投光器	5		エアーテント	1
	可搬式投光器	1		備中鍬柄付	3
	携帯用投光器	1		木製警杖	10

化学消火薬剤保有状況

(令和7年12月31日現在)

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカー	個 数	備 考
た ん 白 系	ニュー・マイティフォーム (3%)	ヤマト	20L × 4缶	
	ニュー・マイティフォーム (6%)	ヤマト	20L × 13缶	水溶性液体用
		合 計	20L × 17缶	340 リットル
合成界面活性剤	マルチエース	モリタ	20L × 3缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 24缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 7缶	耐寒用
		合 計	20L × 34缶	680 リットル
水溶性液体用 泡 消 火 薬 剤	ニューアルコジェットフォーム (6%)	ヤマト	20L × 3缶	耐アルコール用
	ニューアルコジェットフォーム (6%)	ハッタ	20L × 3缶	耐アルコール用
		合 計	20L × 6缶	120 リットル
水性膜泡 消火薬剤	フォレックスパン-S	YONE	20L × 6缶	120 リットル
		合計	20L × 6缶	120 リットル

※ 使用中の容器の数は含まない。

油処理剤保有状況

(令和7年12月31日現在)

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカー	個 数	備 考
油処理剤	シーグリーン (805)	ヤマト	18L × 5缶	90リットル
油 吸 着 マ ッ ト	BL-65型	三 井	139枚	
油・液体吸着剤	ACライト (4.5kg入り)	谷口商会	24袋 →	108 kg

※ 使用中の端数は数に含まない。

消防水利の状況

(令和7年12月31日現在)

地区別		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合 計
区 分						
消 火 栓 65mm	公 設	450	2	124	24	600
	私 設	—	5	—	—	5
	小 計	450	7	124	24	605
防 火 水 槽 40t以上	公 設	73	37	15	6	131
	私 設	—	—	—	—	—
	小 計	73	37	15	6	131
防 火 水 槽 20 t 以 上 40 t 未 満		20	1	24	44	89
そ の 他	河 川 ・ 溝 等	66	6	8	10	90
	海 ・ 湖	—	—	—	—	—
	プ ー ル	7	2	1	4	14
	濠 ・ 池 等	6	4	—	2	12
	下 水 道	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—
	小 計	79	12	9	16	116
合 計 (現有数)		602	56	148	46	852
基 準 数		632	126	281	148	1,187
消 防 水 利 充 足 数		455	60	111	54	680
不 足 数		177	66	170	94	507
充 足 率 (%)		72.0	47.6	39.5	36.5	57.3

※消火栓:50mm 以下は除く。防火水槽:40t 未満は合計数に含まず。

耐震性防火水槽設置状況

(令和7年12月31日現在)

久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合 計
31	17	7	6	61

年間出動状況及び燃料消費量

(令和7年12月31日現在)

出動別	車名 区分	消防1号 指令車	消防2号 査察・指導車	消防3号 水槽付ポンプ車	消防4号 積載工作車	消防5号 小型ポンプ付水槽車	消防6号 水槽付ポンプ車	消防7号 資器材搬送車	消防8号 査察広報車
火災出動	回数 走行距離	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
救急出動	回数 走行距離	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
救助出動	回数 走行距離	1 37	1 100	4 128	11 444	2 100	- -	2 71	3 267
風水害出動	回数 走行距離	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
捜索・遭難	回数 走行距離	1 12	- -	- -	1 11	- -	- -	- -	- -
演習訓練	回数 走行距離	4 103	11 824	80 211	55 179	54 80	46 300	3 138	49 2,487
訓練指導	回数 走行距離	- -	11 602	2 7	- -	2 9	1 21	7 93	6 201
警防調査	回数 走行距離	- -	- -	2 11	1 5	2 7	- -	1 48	3 226
予防調査	回数 走行距離	- -	2 46	- -	5 33	4 27	- -	34 1,080	38 2,227
原因調査	回数 走行距離	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 25
特別警戒	回数 走行距離	- -	- -	10 220	- -	2 5	7 229	1 8	4 414
予防広報	回数 走行距離	- -	1 39	1 18	1 6	1 23	- -	- -	2 129
その他の	回数 走行距離	20 1,044	77 5,796	31 715	15 101	11 284	50 686	233 2,242	55 1,716
誤報・確認	回数 走行距離	- -	- -	13 152	- -	1 5	- -	- -	- -
合計	回数 走行距離	26 1,196	103 7,407	143 1,310	89 779	79 535	104 1,236	281 3,680	162 7,692
消費燃料	ガソリン 軽油	239 -	640 -	- 530	- 189	- 307	- 264	335 -	579 -
年間距離	指数	1,196km	7,407km	1,310km	779km	535km	1,236km	3,680km	7,692km

出 動 別	車名 区分	消防9号 資器材搬送車	消防11号 訓練指導車	消防12号 資器材搬送車	救急1号 高規格車	救急2号 高規格車	救急3号 高規格車	救急5号 高規格車	合 計
火 災 出 動	回 救 走行距離	-	-	-	-	-	-	-	-
救 急 出 動	回 救 走行距離	-	-	-	105	13	166	254	538
救 助 出 動	回 数 走行距離	2	-	1	5,806	677	9,321	8,836	24,640
風 水 害 出 動	回 数 走行距離	76	-	44	-	184	-	1	30
捜 索 ・ 遭 難	回 数 走行距離	-	-	-	-	-	-	-	-
演 習 訓 練	回 数 走行距離	2	-	-	-	1	-	-	5
訓 練 指 導	回 数 走行距離	35	-	-	-	22	-	-	80
警 防 調 査	回 数 走行距離	6	2	5	2	26	48	9	400
予 防 調 査	回 数 走行距離	116	69	50	227	110	731	12	5,637
原 因 調 査	回 数 走行距離	2	30	1	-	1	2	1	66
特 別 警 戒	回 数 走行距離	10	261	16	-	7	37	5	1,269
予 防 広 報	回 数 走行距離	3	2	2	-	-	3	2	21
そ の 他	回 数 走行距離	156	1	66	-	-	22	8	550
誤 報 ・ 確 認	回 数 走行距離	2	5	2	-	2	26	14	134
合 計	回 数 走行距離	137	116	12	-	33	349	110	4,173
消費燃料	回 数 走行距離	-	-	-	-	-	-	-	2
年 間 距 離 指 数	回 数 走行距離	-	-	-	-	-	-	-	25
予 防 広 報	回 数 走行距離	2	-	-	1	2	2	2	33
そ の 他	回 数 走行距離	4	-	-	59	70	36	5	850
誤 報 ・ 確 認	回 数 走行距離	-	2	-	-	1	11	2	22
合 計	回 数 走行距離	-	168	-	-	18	234	29	664
消費燃料	回 数 走行距離	113	28	33	39	33	354	42	1,134
誤 報 ・ 確 認	回 数 走行距離	2,000	894	607	220	526	5,056	176	22,063
合 計	回 数 走行距離	-	-	-	-	-	-	-	14
消費燃料	回 数 走行距離	-	-	-	-	-	-	-	157
年 間 距 離 指 数	回 数 走行距離	132	69	44	147	81	612	327	2,399
消費燃料	回 数 走行距離	2,534	1,509	795	6,312	1,647	15,786	9,186	61,564
年 間 距 離 指 数	回 数 走行距離	221	201	132	1,456	343	2,141	1,662	7,950
消費燃料	回 数 走行距離	-	-	-	-	-	-	-	1,290
年 間 距 離 指 数	回 数 走行距離	2,534km	1,509km	795km	6,312km	1,647km	15,786km	9,186km	61,564km

備考 ※ 救急出動には医師搬送、不搬送件数を含む。

※ 救助出動には応援出動、出場途中帰署件数を含む。

月別出動状況

(令和7年12月31日現在)

種 別	区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災	延べ人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	延べ車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
救 急	延べ人員	162	122	141	123	168	96	124	145	99	169	135	39	1,523
	延べ車両	54	40	47	41	56	33	42	48	34	57	45	41	538
救 助	延べ人員	3	8	6	12	2	3	15	8	-	11	6	-	74
	延べ車両	1	3	2	5	1	1	6	3	-	5	3	-	30
風水害等 の災害	延べ人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	延べ車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
捜 索	延べ人員	-	-	4	-	-	-	-	-	8	-	-	-	12
	延べ車両	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
演習訓練	延べ人員	41	33	45	84	81	91	90	60	105	54	55	28	767
	延べ車両	19	17	22	31	44	41	50	36	69	30	28	13	400
訓練指導	延べ人員	5	29	6	-	10	22	17	5	8	10	9	12	133
	延べ車両	3	14	4	-	5	11	6	4	4	4	5	6	66
警防調査	延べ人員	-	1	-	4	7	7	3	9	1	4	3	-	39
	延べ車両	-	1	-	2	4	3	1	4	2	3	1	-	21
予防調査	延べ人員	16	11	49	16	17	24	18	23	21	18	78	11	302
	延べ車両	5	4	26	6	8	12	8	9	8	7	37	4	134
原因調査	延べ人員	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	延べ車両	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
特別警戒	延べ人員	15	-	-	-	-	-	12	23	-	3	-	36	89
	延べ車両	5	-	-	-	-	-	6	9	-	1	-	12	33
広 報	延べ人員	-	-	10	18	5	6	3	-	2	5	3	5	57
	延べ車両	-	-	4	7	2	2	1	-	1	2	1	2	22
その他	延べ人員	216	247	196	168	220	154	192	199	220	230	194	49	2,285
	延べ車両	103	116	90	92	106	93	95	91	102	109	97	40	1,134
誤報・確認	延べ人員	-	-	2	4	6	3	-	11	2	2	2	-	32
	延べ車両	-	-	2	2	2	1	-	4	1	1	1	-	14
合計	延べ人員	458	451	459	434	516	406	474	483	466	506	485	180	5,318
	延べ車両	190	195	199	188	228	197	215	208	224	219	218	118	2,399

※ 署内ヘリポートを使用した救助出動に関しては、車両を使用していない。

緊急通報受信状況

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
	災害別													
受 信 件 数	火 災													0
	救 急	54	42	45	41	56	33	41	49	34	52	42	42	531
	救 助	1			1					1				3
	救急救助		1	1	1			2	2		3	2		12
	確認出動						1		3	1	2		2	9
	そ の 他	4	3	2	2	2	3	3	7	1	1			28
	間 違 い	4	4	3	3	3	1	3	1	1	2		4	29
	いたずら													0
	試 験	2	2	4	6		1	5	4	6	2	7		39
	訓 練	1	1	6	1			3	4	2	2	6	6	32
	問い合わせ		3			1		4	2	1				11
	合 計	66	56	61	55	62	39	61	72	47	64	57	54	694

携帯119転送受信状況

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
	種別													
転送 送受信	送 信		2			1		1	2					6
	受 信		1	2	2		1	3	2	1	2	1	1	16
	合 計	0	3	2	2	1	1	4	4	1	2	1	1	22

覚知方法別受信状況

覚知別	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
1 1 9		19	12	17	16	14	12	19	20	22	13	22	22	208
携 帯 1 1 9		24	22	21	20	27	9	27	24	9	29	15	20	247
I P 1 1 9												1		1
衛 星 1 1 9			2						1					3
一 般 加 入		22	14	19	17	21	15	8	19	10	18	17	9	189
一般加入（美川）			3	2			2	2	4	3	1	1	1	19
一般加入（警察）		1												1
一般加入（介護）														0
転 送			1	2	2		1	3	2	1	2	1	1	16
自 己 覚 知			2						2	1	1		1	7
駆 け 付 け								2						2
ジ オ チ ャ ッ ト														0
トンネルモニター盤										1				1
合 計		66	56	61	55	62	39	61	72	47	64	57	54	694

携帯電話別受信件数

携帯電話業者別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
ド コ モ	14	16	14	9	16	6	12	17	6	19	9	14	152
a u	3	3	3	7	7	1	10	5	1	6	4	2	52
ソ フ ト ハ ン ク	6	2	3	3	3	1	4	2	2	3	1	4	34
楽 天 モ バ イ ル	1	1	1	1	1	1	1			1	1		9
合 計	24	22	21	20	27	9	27	24	9	29	15	20	247

久万高原町における気象記録

久万高原町消防本部観測(昭和54年～令和7年)

※令和7年の最大記録

最大瞬間風速記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	平成 16年 8月 30日	15:00	南	35.0m	台 風
2	平成 30年 7月 10日	11:17	西	30.1m	台 風
3	昭和 55年 9月 11日	8:00	南	30.0m	台 風
※	令和 7年 3月 17日	6:36	北北西	16.6m	低 気 圧

平均風速最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	昭和 55年 9月 11日	18:00	南	22.0m	台 風
2	平成 3年 9月 27日	20:00	南東	15.0m	台 風
3	平成 7年 9月 24日	15:00	北西	14.5m	台 風
※	令和 7年 2月 7日	19:02	西北西	8.8m	低 気 圧

最低気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	平成 7年 12月 31日	7:00	-15.0℃
2	平成 8年 2月 10日	8:00	-14.0℃
3	平成 30年 2月 9日	6:59	-13.3℃
※	令和 7年 2月 25日	6:50	-8.9℃

最高気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	令和 2年 8月 17日	14:59	36.2℃
2	平成 6年 8月 7日	13:00	35.7℃
3	令和 6年 8月 4日	11:45	35.6℃
※	令和 7年 8月 3日	11:19	35.3℃

日雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	雨 量	降雨原因
1	平成 17年 9月 6日	309.5mm	台 風
2	平成 16年 8月 30日	286.0mm	台 風
3	令和 4年 9月 18日	281.5mm	台 風
※	令和 7年 8月 10日	95.0mm	前線の停滞

積雪最大記録

順位	発 生 年 月 日	積雪量
1	令和 4年 12月 23日	76.8cm
2	昭和 59年 1月 31日	72.0cm
3	平成 17年 12月 17日	65.0cm
※	令和 7年 1月 10日	20.8cm

1時間雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	雨 量	降 雨 原 因
1	昭和 58年 7月 16日	18:00 ～ 19:00	56.5mm	前 線 の 停 滞
2	令和 2年 8月 29日	16:00 ～ 17:00	51.5mm	前 線 の 停 滞
3	平成 29年 9月 17日	14:00 ～ 15:00	50.0mm	台 風 第 18 号
※	令和 7年 9月 4日	23:00 ～ 0:00	28.0mm	台 風 第 15 号

継続雨量の最大記録

順位	発 生 年	月 / 日 ～ 月 / 日	雨 量	降 雨 原 因
1	平成 17年	7/1 ～ 7/6	414.0mm	前 線 の 停 滞
2	昭和 54年	6/27 ～ 6/30	411.5mm	前 線 の 停 滞
3	平成 15年	6/28 ～ 7/5	384.0mm	前 線 の 停 滞
※	令和 7年	6/9 ～ 6/11	167.0mm	前 線 の 停 滞

気象観測年報

内訳			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均 極 値	
気 温 ℃	平 均	平均	0.6	-0.1	7.0	11.3	15.7	21.2	24.9	25.1	23.2	17.4	8.2	3.8		13.2	
		最高	3.0	5.5	15.2	19.0	20.7	25.6	26.6	27.5	26.2	22.5	14.9	9.0		27.5	
		最低	-3.5	-4.1	0.7	4.5	12.5	15.6	22.2	21.0	17.7	8.0	3.4	-0.8		-4.1	
	極 値	最高	13.9	13.3	24.7	28.1	31.5	33.8	34.6	35.3	34.0	29.9	20.1	17.6		35.3	
		起日	23	27	26	19	20	30	31	3	1	12	16	1		7/28	
		最低	-8.6	-8.9	-5.0	-1.9	2.4	7.4	17.3	17.1	11.7	1.2	-2.7	-5.9		-8.9	
		起日	31	25	9	1	5	5	7	3	30	29	30	6		1/26	
	湿 度 %	平均	75.5	71.7	73.3	72.3	76.4	79.6	75.7	80.0	83.1	83.5	83.1	79.4		77.8	
最低		18.3	23.4	12.2	11.0	18.8	20.7	23.2	28.4	35.6	27.3	26.0	36.8		11.0		
起日		23	23	14	24	3	4	23	2	2	17	29	5		4/13		
風 速 m/s	平均	0.9	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.9		0.9		
	瞬間	15.7	16.0	16.6	13.6	13.6	13.5	11.7	12.2	11.4	12.0	1.6	14.6		16.6		
	風向	N	NNW	NWW	ENE	ENE	NNW	ENE	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW		
	起日	7	17	17	13	13	4	12	2	5	27	18	26		5/8		
最多風向			NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NE	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	
日照時間h (累計)			113.3	87.9	143.7	197.4	166.0	143.7	260.5	194.3	138.0	151.0	143.4	136.8		1,876.0	
降 水 量 mm	合計(累計)		80.0	50.0	135.5	95.0	246.5	271.5	135.0	172.0	144.0	109.0	58.5	42.0		1,539.0	
	最 大	日量	20.0	9.0	25.5	17.5	66.5	89.5	41.0	95.0	72.5	48.5	21.0	16.5		95.0	
		起日	9	1、12	16	15	21	10	14	10	4	31	9	25		7/11	
		1時間	3.5	3.5	16.5	8.0	21.5	23.5	23.0	28.5	28.5	12.0	7.0	3.0		28.5	
		起日	9	12	3	14	17	10	14	7	5	19	9	5、14		8/29	
降 雪 量 mm	降雪日数		10	15	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2		31	
	最 大	日量	20.7	9.4	5.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1		20.7
		起日	11	2.4	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26		1/1
		1時間	3.3	1.9	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1		3.3
		起日	11	24	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26		1/1



火災統計編

火災発生状況

(各年中)

年 区 分			令和6年	令和7年	増 減
			(A)	(B)	(B) - (A)
出火件数	総 件 数		7	0	△ 7
	種 別	建 物	5	0	△ 5
		林 野	1	0	△ 1
		車 両	1	0	△ 1
		そ の 他	0	0	0
焼損状況	焼損棟数		7	0	△ 7
	程 度	全 焼	7	0	△ 7
		半 焼	0	0	0
		部 分 焼	0	0	0
		ぼ や	0	0	0
面積	建 物 床	m ²	633	0	△ 633
	建 物 表	m ²	0	0	0
	林 野	a	3	0	△ 3
り災状況	総 世 帯		1	0	△ 1
	程 度	全 損	5	0	△ 5
		半 損	0	0	0
		小 損	0	0	0
	人 員		1	0	△ 1
死 傷	死 者	人	0	0	0
	傷 者		1	0	△ 1
損害状況	総損害額		11,216	0	-11,216
	種 別	建 物	10,811	0	-10,811
		林 野	164	0	△ 164
		車 両	241	0	241
		そ の 他	0	0	0
出 火 率		万人当り	9.9	0.0	△ 9.9

* 各年の数値は1月～12月に発生した火災を集計したもの。
以下本節において同じ。

火災一覧表

(令和7年中)

火災番号	出火月日	火災種別	出火地区	出火時刻	覚知時刻	鎮火時刻	天候	風速	湿度	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	火元用途	構造燃焼物	出火原因
------	------	------	------	------	------	------	----	----	----	--------------	--------------	-------------	-------------	------	-------	------

無火災

地区別火災発生状況

(平成28年～令和7年の総数)
(総件数53件)

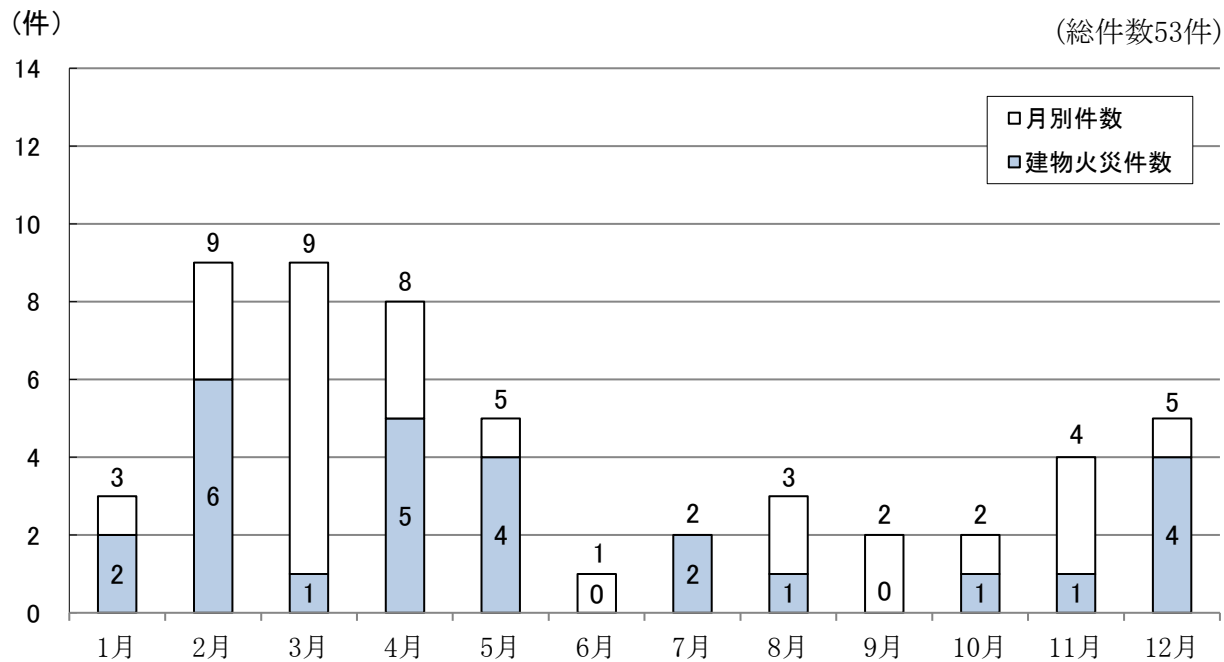
地区 区分				久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
火災 件数	総 件 数			24	7	17	5	53
	種 別	建 物	件	7	4	10	5	26
		林 野		5	3	1	—	9
		車 両		3	—	4	—	7
		その他		9	—	2	—	11
焼 損 状 況	焼損棟数			8	15	25	18	66
	程 度	全 焼	棟	7	12	20	10	49
		半 焼		—	—	1	2	3
		部分焼		1	2	3	3	9
		ぼ や		—	1	1	3	5
面 積	建 物 床	m ²	326	710	1,510	894	3,440	
	建 物 表	m ²	—	24	28	49	101	
	林 野	a	123	6	14	1.2	144.2	
り 災	世帯			4	6	6	5	21
	人員			2	9	12	7	30
死 傷	死者			—	1	—	—	1
	傷者			2	1	4	2	9
損 害 状 況	損害額			12,667	11,522	35,983	19,202	79,374
	種 別	建 物	千円	9,824	11,295	31,394	19,189	71,702
		林 野		1,136	227	296	—	1,659
		車 両		569	—	4,293	—	4,862
		その他		1,138	—	—	13	1,151

※()内は令和7年中の数値

月別火災発生状況

(平成28年～令和7年の総数)

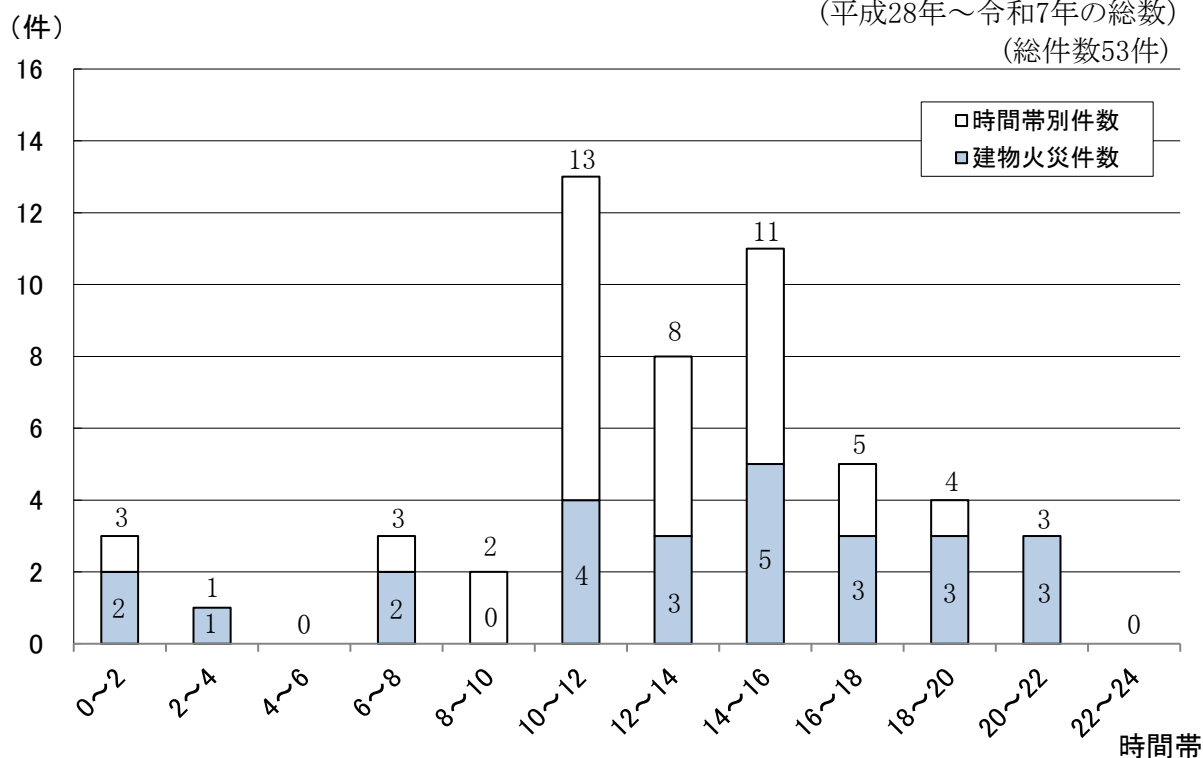
(総件数53件)



月	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
種別	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野
年																								
平成28年	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-
平成29年	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
平成30年	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和2年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
令和5年	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
令和6年	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
令和7年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1	1	6	-	1	3	5	1	4	1	-	-	2	-	1	2	-	-	1	-	1	1	4	-
車両	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-
その他	1	-	2	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-
合計(53)	3	-	9	-	9	-	8	-	5	-	1	-	2	-	3	-	2	-	2	-	4	-	5	-

時間帯別火災発生状況

(平成28年～令和7年の総数)
(総件数53件)



時間	0時		2時		4時		6時		8時		10時		12時		14時		16時		18時		20時		22時	
種別	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野
年																								
平成28年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-
平成29年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
平成30年	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
令和元年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和2年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
令和5年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
令和6年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
令和7年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2	-	1	-	-	-	2	-	-	-	4	4	3	1	5	3	3	1	3	-	3	-	-	-
車両	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
合計(53)	3	-	1	-	-	-	3	-	2	-	13	-	8	-	11	-	5	-	4	-	3	-	-	-

地区別火災発生一覧表

(平成17年～令和7年の総数)

(総件数121件)

区分 地区	出 火 件 数				焼 損 面 積			焼 損 棟 数	り 災		死 傷 者		損 害 額 千 円
	統計	建物	林野	他	床面積(m ²)	表面積(m ²)	林野(a)		世帯	人員	死者	傷者	
久 万 地 区	68	34	14	20	2,128	4,852	195	42	16	27	-	3	53,347
東 明 神	6	2	-	4	50	194	13	2	-	-	-	-	954
西 明 神	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入 野	6	4	-	2	244	-	8	4	3	3	-	1	4,661
久 万	9	9	-	-	487	7	-	11	9	14	-	1	10,691
野 尻	7	4	-	3	1	101	-	4	-	-	-	-	3,418
菅 生	8	3	2	3	165	1,195	4	5	1	3	-	-	10,901
上 畑 野 川	5	1	4	-	112	-	46	1	-	-	-	-	2,153
下 畑 野 川	3	-	1	2	-	-	42	-	-	-	-	-	595
直 瀬	11	3	3	5	383	3,313	6	4	-	-	-	1	1,125
父 野 川	2	-	2	-	-	-	70	-	-	-	-	-	360
露 峰	4	2	1	1	164	-	-	2	1	4	-	-	7,127
二 名	7	6	1	-	522	42	6	9	2	3	-	-	11,362
面 河 地 区	7	4	2	1	785	128	3	17	7	12	1	1	14,326
相 の 木	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	803
笠 方	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
前 組	2	1	2	-	294	-	5	5	1	3	1	-	3,747
渋 草 大 成	3	3	-	-	491	128	-	12	6	9	-	1	9,775
中 組 本 組	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
若 山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美 川 地 区	35	24	4	7	2,503	101	208	50	17	37	1	4	64,492
有 枝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 川	4	2	-	2	145	32	-	3	1	3	-	1	2,491
上 黒 岩	4	2	1	1	-	4	-	2	-	-	-	-	639
中 黒 岩	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沢 渡	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1,822
日 野 浦	7	6	1	-	843	11	8	15	4	6	1	1	19,836
仕 出	2	1	-	1	30	17	-	2	-	-	-	-	652
七 鳥	6	5	-	1	228	23	-	8	4	11	-	-	8,407
東 川	8	6	1	1	763	14	14	14	6	14	-	2	22,460
黒 藤 川	3	2	1	-	494	-	186	6	2	3	-	-	8,185
柳 谷 地 区	11	10	1	-	1,290	100	10	28	8	14	-	3	26,366
柳 井 川	5	4	1	-	387	59	4	9	3	5	-	3	6,291
西 谷	4	4	-	-	783	41	6	14	4	7	-	-	12,845
中 津	2	2	-	-	120	-	-	5	1	2	-	-	7,230
久万高原町	121	72	21	28	6,706	5,181	416	137	48	90	2	11	158,531

救 急 編

年別救急活動状況

<救急出場件数>

事故別 年次	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転 院	そ の 他		
													医 師	資 器材	そ の 他
平成24年	610	—	—	1	26	4	6	86	—	9	282	193	—	—	3
平成25年	608	—	—	—	27	7	5	86	—	6	280	195	—	—	2
平成26年	607	—	—	—	44	8	3	101	—	8	247	194	—	—	2
平成27年	594	—	—	1	36	7	4	89	2	6	283	164	—	—	2
平成28年	585	—	—	—	33	2	4	82	—	4	294	165	—	—	1
平成29年	588	—	—	—	38	5	6	87	3	7	283	153	3	—	3
平成30年	587	—	—	—	32	7	—	91	—	4	301	143	—	—	9
令和元年	582	—	—	1	28	9	6	104	—	6	281	143	2	—	2
令和2年	544	1	—	—	35	5	1	82	—	5	252	161	—	—	2
令和3年	548	1	—	1	27	9	3	101	—	4	251	149	1	—	1
令和4年	590	—	—	2	34	12	2	103	—	6	266	162	—	—	3
令和5年	577	1	—	1	29	5	1	96	—	6	279	157	—	—	2
令和6年	600	1	—	1	40	9	3	98	1	2	293	149	—	—	3
令和7年	538	—	—	2	22	4	3	113	—	1	268	123	—	—	2
合 計	8,158	4	0	10	451	93	47	1,319	6	74	3,860	2,251	6	0	37

<救急搬送人員>

事故別 年次	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転 院	そ の 他		
													医 師	資 器材	そ の 他
平成24年	593	—	—	1	29	4	6	85	—	5	267	193	—	—	3
平成25年	588	—	—	—	26	5	5	81	—	5	270	195	—	—	1
平成26年	584	—	—	—	44	9	3	97	—	6	228	195	—	—	2
平成27年	573	—	—	1	40	7	4	85	1	2	266	165	—	—	2
平成28年	560	—	—	—	34	2	4	77	—	3	276	164	—	—	—
平成29年	561	—	—	—	40	4	6	83	3	4	265	153	—	—	3
平成30年	553	—	—	—	32	7	—	87	—	2	281	143	—	—	1
令和元年	551	—	—	—	26	9	6	96	—	2	267	143	—	—	2
令和2年	519	1	—	—	33	5	1	78	—	2	236	161	—	—	2
令和3年	519	1	—	1	28	7	3	91	—	1	237	149	—	—	1
令和4年	564	—	—	1	36	11	2	98	—	3	249	161	—	—	3
令和5年	546	1	—	1	28	5	1	88	—	2	261	157	—	—	2
令和6年	572	1	—	3	39	7	3	92	1	—	275	149	—	—	2
令和7年	520	—	—	1	21	3	3	109	—	1	257	123	—	—	2
合 計	7,803	4	0	9	456	85	47	1,247	5	37	3,635	2,251	0	0	26

月別救急活動状況

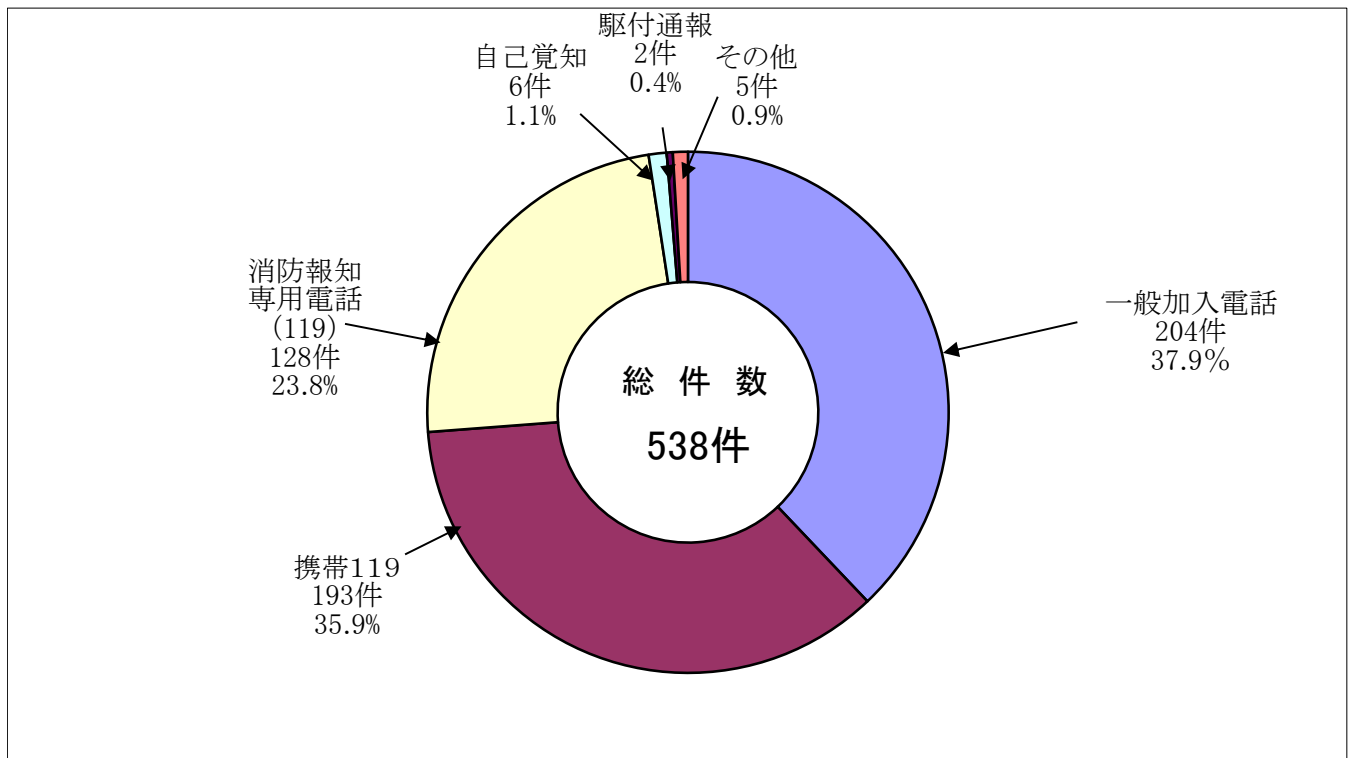
月 別 項 目		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
出 場 件 数		538	54	41	46	41	56	33	42	48	34	57	45	41	
搬 送 人 員		520	53	41	44	38	57	33	40	49	33	52	41	39	
火 災	件数	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自然災害	件数	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
水 難	件数	2	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	
	人員	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
交通事故	件数	22	1	2	1	2	4	—	3	1	1	2	4	1	
	人員	21	1	2	1	1	6	—	3	1	1	1	3	1	
労働災害	件数	4	—	1	—	—	—	1	1	—	—	1	—	—	
	人員	3	—	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	
運動競技	件数	3	1	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
	人員	3	1	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
一般負傷	件数	113	7	9	10	9	12	1	15	10	6	13	13	8	
	人員	108	7	9	9	8	12	1	15	11	6	10	12	8	
加 害	件数	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自損行為	件数	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	
	人員	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	
急 病	件数	268	32	20	26	18	28	21	16	18	17	33	14	25	
	人員	257	31	20	25	17	27	21	15	18	16	32	12	23	
そ の 他	転 院	件数	123	13	8	7	12	12	10	6	17	10	8	13	7
		人員	123	13	8	7	12	12	10	6	17	10	8	13	7
	医 師	件数	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	資器材	件数	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	件数	2	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		人員	2	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

署・地区別救急活動状況

事故種別 区 分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他			
													転院	医師	資器材	その他
休 日		164	—	—	1	11	1	2	41	—	—	81	27	—	—	—
休日以外		374	—	—	1	11	3	1	72	—	1	187	96	—	—	2
消防署(本署)		381	—	—	1	13	3	1	78	—	—	188	97	—	—	—
美川支署		157	—	—	1	9	1	2	35	—	1	80	26	—	—	2
出場件数		538	—	—	2	22	4	3	113	—	1	268	123	—	—	2
搬送人員		520	—	—	1	21	3	3	109	—	1	257	123	—	—	2

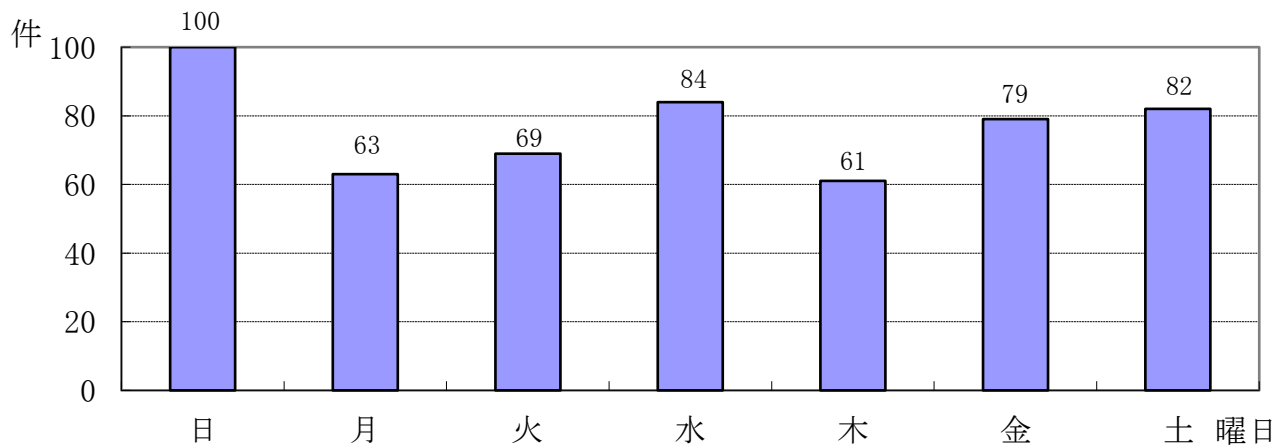
事故種別 区 分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他			
													転院	医師	資器材	その他
久万高原町	久万地区	377	—	—	1	6	3	2	69	—	—	181	115	—	—	—
	面河地区	37	—	—	—	4	—	1	18	—	—	14	—	—	—	—
	美川地区	82	—	—	1	5	1	—	12	—	—	56	7	—	—	—
	柳谷地区	38	—	—	—	4	—	—	13	—	1	17	1	—	—	2
町 外		4	—	—	—	3	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—

覚知方法別状況



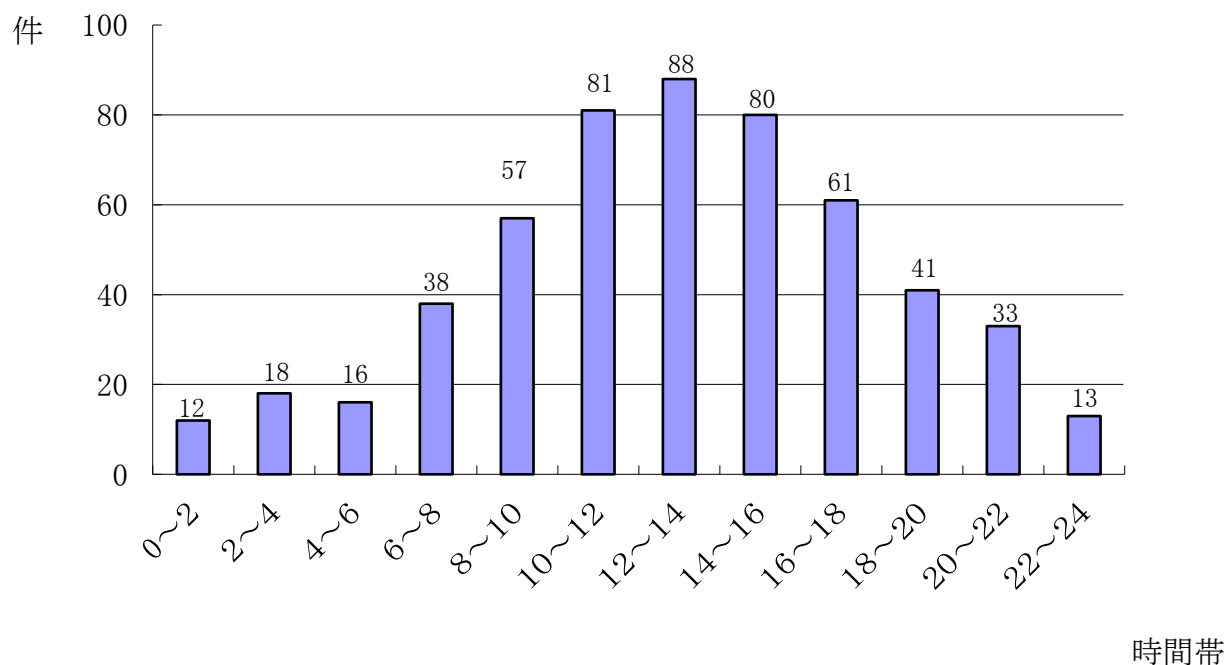
曜日別発生件数状況

(総件数538件)



時間帯別発生件数状況

(総件数538件)



居住区別搬送人員の対人口比

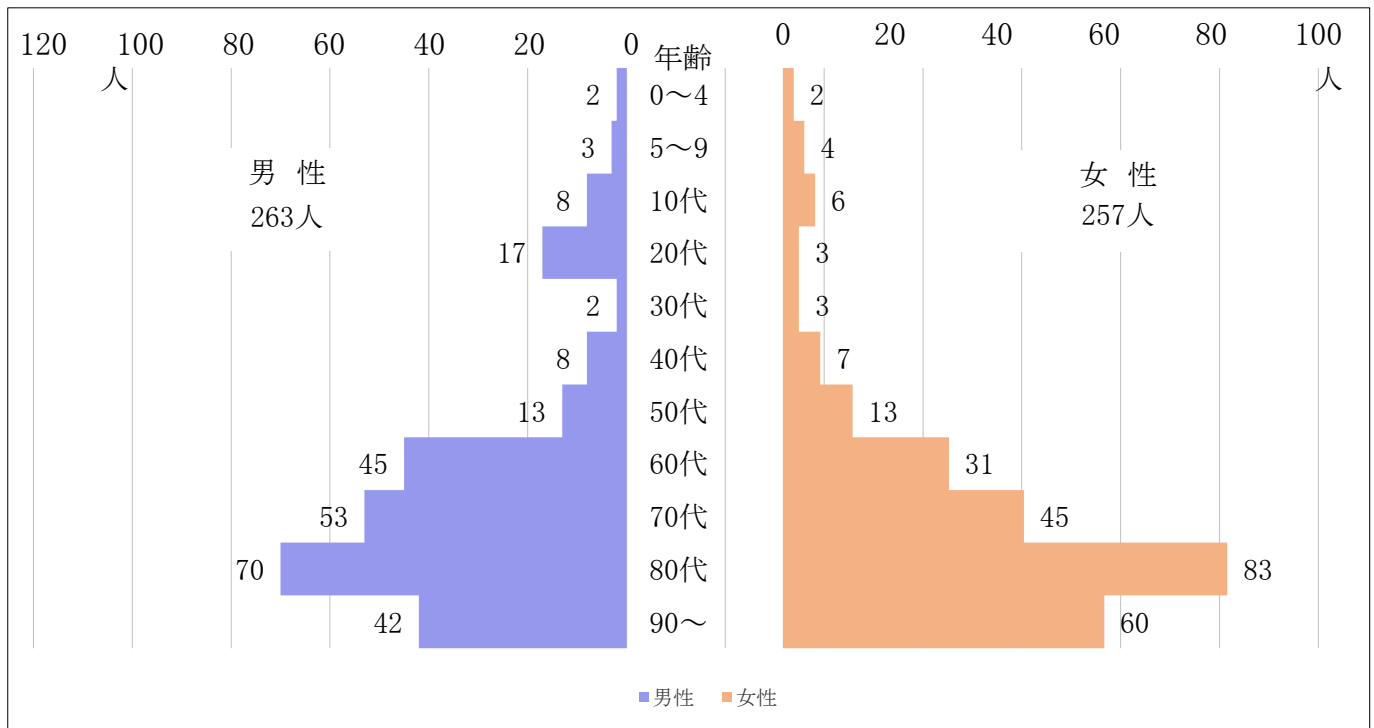
※ 地区別人口は令和7年12月31日現在

項目	久万高原町				町外	合計
	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区		
居住区別搬送人員	293	32	83	33	79	520
人口	4,813	374	1,005	501	—	6,693
対人口比	16人に1人	12人に1人	12人に1人	15人に1人	—	13人に1人

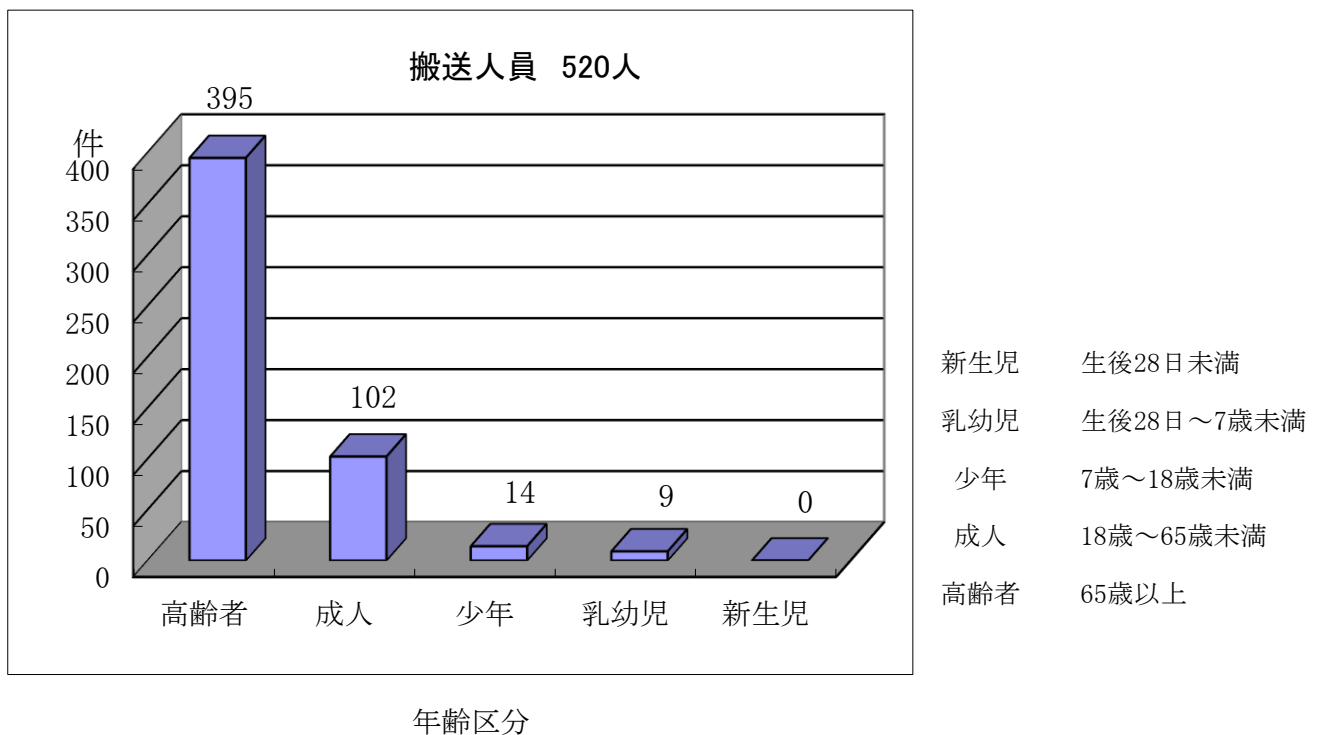
※久万高原町居住者搬送(441人)を、人口割すると15人に1人の搬送となる。

年齢性別区分搬送人員状況

<その1>



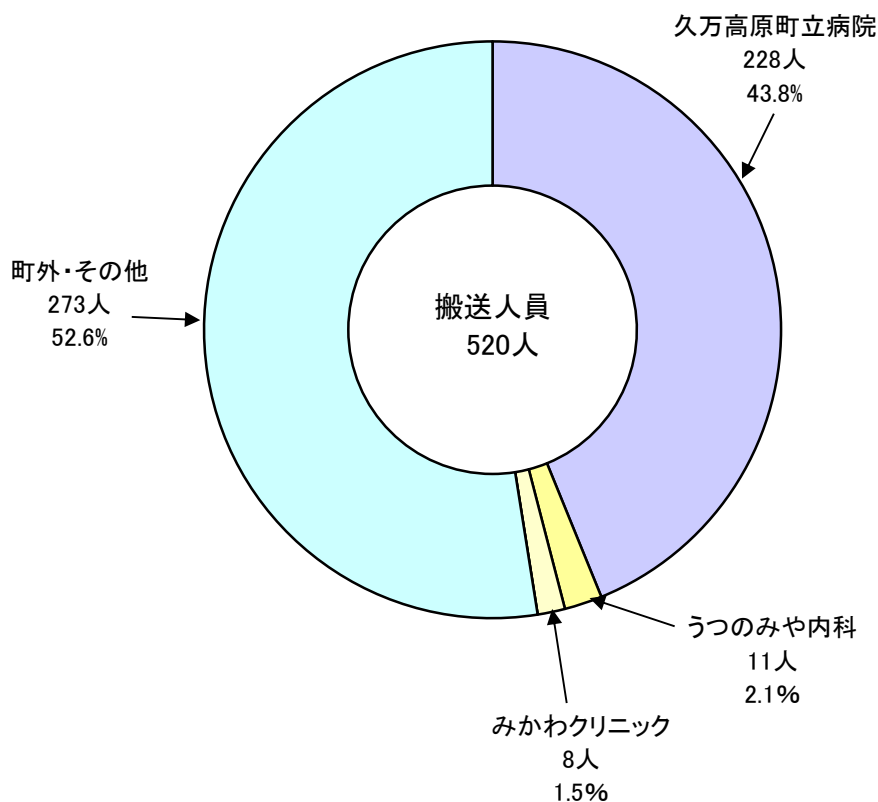
<その2>



医療機関別収容人員の状況

管内医療機関	医 療 機 関 名		開設	人員	内転院
	告 示	久万高原町立病院	公 立	228	5
	非告示	みかわクリニック	私 的	8	0
		うつのみや内科	私 的	11	0
	合 計			247	5
管外医療機関	救 急 告 示	松山赤十字病院	公 的	46	14
		国立病院機構愛媛医療センター	国 立	31	10
		愛媛県立中央病院	公 立	30	17
		済生会松山病院	公 的	29	14
		松山市民病院	私 的	20	12
		南松山病院	私 的	20	5
		平成脳神経外科病院	私 的	18	9
		愛媛生協病院	私 的	14	5
		奥島病院	私 的	12	5
		松山まどな病院	私 的	11	5
		梶浦病院	私 的	7	4
		野本記念病院	私 的	5	3
		愛媛大学医学部附属病院	国 立	3	0
		松山さくら病院	私 的	3	2
		松山城東病院	私 的	2	0
		梶原町立国民健康保険梶原病院	公 的	1	0
	合 計			252	105
	非告示	救命救急センター	公 立	9	7
		その他県内	私 的	4	2
	合 計			13	9
特 殊	ドクターヘリ（県外ドクターヘリ含む）		6	4	
	他消防機関（消防防災ヘリ）へ中継		2	0	
	久万高原警察署・その他		0	0	
総 計			520	123	

収容機関別状況



※ その他の医療機関等への搬送人員273人中118人は転院搬送によるもの。

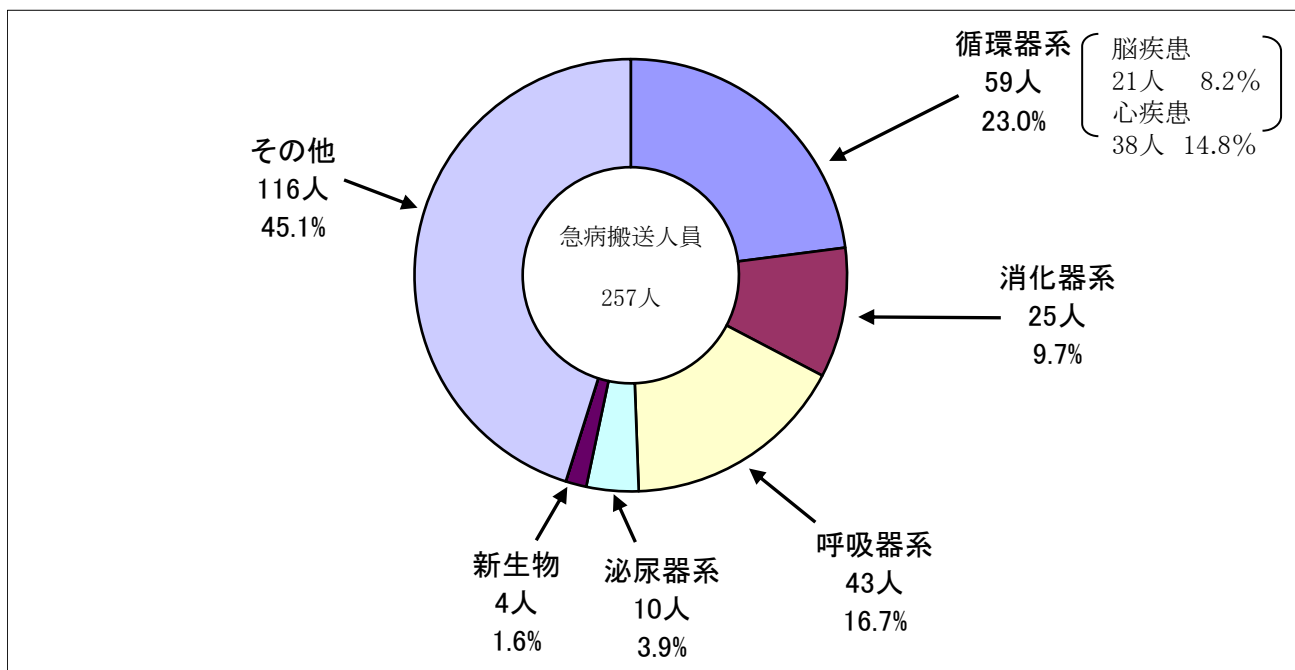
事故種別・傷病程度

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	割合
死亡	—	—	1	—	—	—	3	—	1	9	—	14	2.7%
重症	—	—	—	—	—	1	17	—	—	33	25	76	14.6%
中等症	—	—	—	7	1	2	45	—	—	141	78	274	52.7%
軽症	—	—	—	14	2	—	44	—	—	74	22	156	30.0%
計	0	—	1	21	3	3	109	1	1	257	125	520	100.0%

急病疾患別内訳

(急病搬送人員 257人)

疾患別	循環器系		消化器系	呼吸器系	泌尿器系	新生物	その他
	脳疾患	心疾患					
	21	38					



事故種別・理由別不搬送

事故種別 不搬送理由	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院	医 師	資 器 材	そ の 他
緊急性なし	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷病者なし	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
拒 否	9	—	—	—	1	—	—	4	—	—	4	—	—	—	—
酩 酊	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
死 亡	9	—	—	1	—	—	—	1	—	—	7	—	—	—	—
現 場 処 置	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
誤報・いたづら	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	4	—	—	—	1	1	—	1	—	—	1	—	—	—	—
計	23	—	—	1	3	1	—	6	—	—	12	—	—	—	—

緊急電話受信時における口頭指導内容

(全指導回数20回、19件)

口頭指導内容	件数	口頭指導内容	件数
胸骨圧迫・人工呼吸などに関するもの	9	その他(異物除去、保温、体位管理)	1
止血・被覆などに関するもの	9		

* 指導回数には複数項目の場合が存在するため回数と件数は一致しない

応急処置及び拡大処置件数

事故 種別	応急 処置 対象 人員	止 血	固 定	被 覆	保 温	人 工 呼 吸	胸 骨 圧 迫	心 肺 蘇 生 法	うち自動心マ使用	酸 素 吸 入	気道確保				
											用 手 含 む 総 数	うち A	うち B	うち C	うち D
急病	257	1	1	—	40	7	6	4	1	56	9	—	—	3	—
交通	21	—	7	6	5	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
一般負傷	109	11	12	18	12	—	1	1	—	3	3	—	—	1	—
その他	133	1	9	2	13	3	3	3	1	27	4	—	—	2	—
計	520	13	29	26	70	10	10	8	2	87	16	0	0	6	0

事故 種別	応急 処置	在宅療法	ショック パンツ	血圧測定	心音・呼吸音 聴診	血中酸素飽和度	心電図	除細動	静脈路確保	心肺機能停止前 静脈路確保	薬剤投与 アドレナリン	薬剤投与 ブドウ糖	血糖測定	その他	合計	処置と特定行為 拡大された応急	うち特定行為	
急病	—	—	—	248	19	247	103	—	—	1	—	1	—	2	262	1,011	625	5
交通	—	—	—	19	2	19	1	—	—	—	—	—	—	19	79	41	—	
一般負傷	—	—	—	108	2	107	12	—	—	—	—	—	—	107	398	229	1	
その他	—	—	—	130	5	132	42	—	—	1	—	—	1	130	509	314	3	
計	0	0	0	505	28	505	158	0	2	0	1	0	3	518	1,997	1,209	9	

※ については、拡大された処置

※ 気道確保 A 経鼻エアウェイ使用

※ については、特定行為

B 喉頭鏡・鉗子を使用した異物除去

C ラリングアルマスク等使用

D 気管挿管

現場到着所要時間

	3分未満	3分～5分 未満	5分～10分 未満	10分～20分 未満	20分以上	計	現場到着 平均所要時間
急 病	－	15	105	86	61	267	13.7
交 通	1	－	7	5	8	21	20.2
一般負傷	－	5	41	31	35	112	16.1
その他	1	－	6	3	2	12	11.6
計	2	20	159	125	106	412	14.6
転 院	6	10	95	10	2	123	6.0
総 計	8	30	254	135	108	535	12.6

※出場途上辞退3件を除く

医療機関収容所要時間状況

	10分未満	10分～20分 未満	20分～30分 未満	30分～60分 未満	60分～120分 未満	120分以上	計	収容平均 所要時間
急 病	－	4	34	106	107	6	257	57.0
交 通	－	－	1	4	13	3	21	84.1
一般負傷	－	4	14	34	49	8	109	69.9
その他	－	1	2	4	3	－	10	50.8
計	0	9	51	148	172	17	397	61.7
転 院	－	2	3	98	20	－	123	53.4
総 計	0	11	54	246	192	17	520	59.7

平均出場時間

	令和7年	令和6年
総出場件数	538件	600件
総出場時間	987時間41分	1109時間44分
全平均時間	1時間50分	1時間51分

ドクターヘリ及びドクターカーとの連携活動状況

＜ドクターヘリの運航状況一覧表＞

年次	件数 (No)	種別	傷病名または要因	程度	収容医療機関
平成21年	1	一般	出血性ショック	重症	救命救急センター
平成22年	1	一般	多発外傷	その他	救命救急センター
	2	急病	狭心症疑い	軽症	救命救急センター
	3	一般	左下腿開放骨折	重症	救命救急センター
	4	急病	AMI	その他	救命救急センター
	5	労災	頭部外傷	中等症	救命救急センター
平成23年	1	交通	自転車での転倒	重症	救命救急センター
	2	労災	木材運搬車の下敷	その他	高知医療センター
平成25年	1	交通	高エネルギー外傷	重症	救命救急センター
平成27年	1	一般	左下腿挫減創	重症	救命救急センター
	2	労災	多発外傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	右前腕・踵骨骨折	重症	救命救急センター
	4	交通	CPA	死亡	救命救急センター
令和3年	1	転院	急性冠症候群	重症	救命救急センター

＜ドクターカー運行状況一覧表＞

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
平成22年	1	労災	急性硬膜外血腫	重症	救命救急センター
	2	一般	右大腿切創	中等症	救命救急センター
	3	一般	左前腕開放骨折	重症	救命救急センター
平成23年	1	一般	頸髄損傷	重症	救命救急センター
平成24年	1	交通	仙骨開放骨折	重症	救命救急センター
	2	労災	脳挫傷・外傷性SAH	重症	救命救急センター
	3	転院	痙攣重積	中等症	救命救急センター
	4	急病	ACS・CPA蘇生後	重症	救命救急センター
平成25年	1	一般	右脛骨・左大腿骨骨折	重症	救命救急センター
	2	交通	左膝蓋骨開放骨折	重症	救命救急センター
	3	交通	顔面複雑骨折	重篤	救命救急センター
	4	転院	骨盤骨折	重症	救命救急センター
	5	転院	くも膜下出血	重篤	救命救急センター
	6	転院	頸髄損傷	重篤	救命救急センター
	7	交通	左視床出血・全身打撲	重症	高知消防防災ヘリ
平成26年	1	交通	熱傷	重症	救命救急センター
平成27年	1	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
	2	一般	胸髄損傷	重症	救命救急センター
	3	交通	多発骨折	重症	救命救急センター
	4	一般	熱傷	軽症	救命救急センター
	5	交通	腹腔内出血	重症	救命救急センター
	6	労災	脊髄損傷疑い	軽症	救命救急センター
平成28年	1	急病	てんかん重積状態	重症	救命救急センター
	2	一般	圧挫傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	多発性外傷	重症	救命救急センター
	4	交通	多発性外傷	中等症	救命救急センター
平成29年	1	転院	急性呼吸不全	重症	救命救急センター
	2	急病	急性冠症候群	中等症	救命救急センター
	3	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
平成30年	1	急病	急性冠症候群	重症	救命救急センター
令和5年	1	急病	心原性脳梗塞	重症	救命救急センター

※令和元年～4年については、ドクターカー要請0件。

<ドクターヘリ運航状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
令和 7年	1	急 病	一過性脳虚血発作	軽症	久万高原町立病院
	2	一般負傷	多発性外傷	重症	救命センター
	3	転 院	急性心筋梗塞	中等症	救命センター
	4	転 院	急性胆嚢炎	中等症	救命センター
	5	転 院	総胆管結石性胆管炎	中等症	愛媛県立中央病院
	6	転 院	胆管炎	中等症	愛媛県立中央病院

年次	ドクターヘリの運航総件数 (平成21年運用開始)	ドクターカー運行総件数 (平成22年運用開始)	ドクターヘリ運航総件数 (平成29年運航開始)
平成27年	4	6	
28年	—	4	
29年	—	3	16
30年	—	1	20
令和元年	—	—	14
2年	—	—	13
3年	1	—	9
4年	—	—	18
5年	—	1	12
6年	—	1	19
7年	—	—	6
合計	5	16	127

救 助 編

救助出動及び活動状況

事故種別 区 分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他					合 計	
										高 所 転 落	搬 送 応 援	へ り 支 援	捜 索 活 動	山 岳 事 故		そ の 他
出 動 件 数		0	4	2	-	1	-	-	-	-	5	7	1	5	5	30
活 動 件 数		0	2	2	-	0	-	-	-	-	5	6	1	3	4	23
救 助 人 員		0	2	4	-	0	-	-	-	-	5	6	1	4	4	26
出 動 人 員	救 助 隊 員	-	7	3	-	3	-	-	-	-	6	8	2	8	12	49
	消 防 隊 員	-	4	7	-	1	-	-	-	-	5	12	4	9	6	48
	救 急 隊 員	-	9	6	-	3	-	-	-	-	15	21	-	12	18	84
	計 (人)	0	20	16	0	7	0	0	0	0	26	41	6	29	36	181
活 動 人 員	救 助 隊 員	-	4	3	-	-	-	-	-	-	6	6	2	5	8	34
	消 防 隊 員	-	1	7	-	-	-	-	-	-	5	12	4	4	5	38
	救 急 隊 員	-	6	6	-	-	-	-	-	-	15	18	-	3	12	60
	計 (人)	0	11	16	0	0	0	0	0	0	26	36	6	12	25	132
活 動 車 両 等	救 助 工 作 車	-	1	2	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	10
	ポ ン プ 車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	救 急 車	-	2	2	-	-	-	-	-	-	5	6	-	3	4	22
	そ の 他	-	1	3	-	-	-	-	-	-	3	-	2	2	1	12
	防 災 ヘ リ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	4
	計 (台)	0	4	7	0	0	0	0	0	0	10	6	3	8	11	49

(注) 山岳事故については、応援協定に基づき、管轄外での活動件数を含む。

過去5年間の救助活動状況の推移

区 分 \ 年 別	救 助 出 動 件 数		救 助 活 動 件 数		救 助 人 員	
	件数	増減率(%)	件数	増減率(%)	人員	増減率(%)
R 3 年	36	△7.7	26	△18.8	25	△19.4
R 4 年	59	63.9	54	107.7	48	92.0
R 5 年	45	△23.7	38	△29.6	38	△20.8
R 6 年	62	37.8	49	28.9	47	23.7
R 7 年	30	△51.7	23	53.1	26	△44.7

救助関係資器材の保有状況

名称			数量	名称			数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	2	隊員保護用器具	耐電手袋	2		
	三連はしご	3		耐電衣	2		
	空気式救助マット	1		耐電ズボン	2		
	救命索発射銃	1		耐電長靴	2		
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	3		防毒マスク	5		
	エバックハーネス	1		防塵マスク	10		
	平坦架	2		化学防護服	5		
	ガス測定器	2		肘プロテクター	11		
	送排風機	1		膝プロテクター	11		
	簡易画像探索機	1		空気呼吸器	17		
	熱画像赤外線カメラ	1		酸素呼吸器	4		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	搬送用資機材	バスケット型担架	3		
	油圧スプレッダー	3		減圧担架	1		
	可搬ウィンチ	2		キャリングシート	1		
	マット型空気ジャッキ	5		キャリングラック	1		
	大型油圧スプレッダー	2		サーモソフト ストレッチャー	1		
	チェーンブロック	1		バーティカル ストレッチャー	1		
切断用器具	油圧切断機	2	その他	携帯式担架	1		
	エンジンカッター	3		緩降機	1		
	チェーンソー	4		救命胴衣	10		
	ガス溶断機	1		救命ボート	2		
	鉄線カッター	2		救命浮環	6		
	空気切断機	1		流水救助器材	2		
	大型油圧切断機	2		エアテント	1		
	空気鋸	1		懸垂降下器	10		
	電動鋸	1		登はん器具	4		
破壊器具	万能斧	4		ハーネス	13		
	ハンマー	3		携帯GPS	3		
	削岩機	1					
	ハンマドリル	2					

ヘリコプター離着陸場一覧

久万地区					
1	A	上野尻	笛ヶ滝公園ラグビー場	久万高原町 教育委員会	芝 生
2	B (準)	上畑野川	畑野川小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
3	B (準)	下畑野川	千本高原グラウンド	久万高原町 ふるさと創生課	真砂土転圧
4	A	菅生	久万公園グラウンド	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
5	B (適)	菅生	菅生ラグビー場 サブグラウンド	久万高原町 教育委員会	芝 生
6	C	菅生	槇谷分校跡	久万高原町 総務課	真砂土転圧
7	B (準)	直瀬	直瀬小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
8	B (準)	東明神	明神小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
9	B (適)	露峰	父二峰小学校	久万高原町 教育委員会	アスファルト
10	B (適)	下野尻	久万高原消防ヘリポート	久万高原町 消防本部	アスファルト
美川地区					
11	A	上黒岩	美川中学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
12	A	日野浦	美川スキー場駐車場	久万高原町 ふるさと創生課	アスファルト
13	B (準)	東川	仕七川小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
14	B (準)	東川	山村広場	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
15	B (適)	日野浦	日野浦ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
16	B (適)	黒藤川	二笹ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
17	B (適)	黒藤川	黒藤川ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
面河地区					
18	C	大成	大成神社	久万高原町 総務課	砂利転圧
19	A	笠方	面河ダム	久万高原町 ふるさと創生課	真砂土転圧
20	B (準)	渋草	面河小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
21	B (適)	中組	面河ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
22	B (適)	相ノ峰	相ノ峰ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
柳谷地区					
23	A	柳井川	柳谷小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
24	B (適)	西谷	姫鶴運動場	姫鶴荘	真砂土転圧
25	B (準)	西谷	四国電力ヘリポート	四国電力 (愛媛支店技術部面河水力センター)	アスファルト
26	B (適)	西谷	中久保ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
27	B (適)	西谷	川成ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
28	B (適)	中津	休場ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
石鎚山関係					
29	B (適)	石鎚山系	石鎚山土小屋第2駐車場	愛媛県自然保護課	アスファルト
30	B (準)	石鎚山系	石鎚スカイライン中間展望台	中予地方局 久万土木事務所	砂利転圧

A: 地域拠点飛行場外離着陸場

航空法第 79 条ただし書きに基づき、国土交通大臣の許可を常時得た場外離着陸場で、平時の訓練及び緊急患者搬送や災害時などに即応して、直ちに使用できる状態を確保している場外離着陸場。

※一部、離着陸に際し散水の必要有り。

B: 緊急時離着陸場

事故若しくは災害発生時等緊急時に使用する離着陸場。

(適): 離着陸に関し散水の必要が無い場所

(準): 離着陸に関し散水が必要な場所

C: 孤立地区対策緊急時離着陸場

町が孤立地区対策として指定する離着陸場で、事故若しくは災害発生時等、緊急時に離着陸し、またはホイストにより吊り上げを行う緊急時の離着陸場。

消防団編

消防団の沿革

平成 16 年 8 月 1 日、久万町、面河村、美川村、柳谷村の 4 町村が合併し、久万高原町が誕生しました。これに伴い、消防団も合併し、条例定数 717 名（平成 16 年 8 月 1 日実員 683 名）17 分団 31 部とし、旧町村の消防機材（消防ポンプ車 2 台、消防ポンプ積載車 47 台、小型動力ポンプ 71 台）を引き継ぎ、久万高原町消防団が発足しました。

合併初年度である平成 16 年度事業として、団員の士気の向上を図ることを目的に、活動服の統一を実施するとともに、更なる消防力の強化を目的として、耐用年数を大幅に経過した積載車 2 台（久万・美川各 1 台）を更新整備しました。

また、石油貯蔵施設立地対策等交付金事業及び電源立地地域対策交付金事業等を活用し、積載車等資機材を年次計画により更新しております。

しかしながら、労働人口の町外流出、住民の高齢化は消防団にとっても深刻な問題であり、地域によっては団員確保が困難な状況となっております。

そのため、分団の配置、出動態勢の見直し等、消防団の組織再編を検討し、令和 4 年 4 月 1 日、機構改革による再編成を行い、条例定数 600 名、10 分団 31 部としました。

平成 16 年	8 月	1 日	町村合併により久万高原町消防団となる
平成 17 年	2 月	21 日	久万第 3 分団第 4 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） 美川第 1 分団第 3 部積載車更新（日本損害保険協会寄贈）
	3 月	6 日	愛媛県消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
	4 月	1 日	機構改革により 12 分団 36 部に再編成
	10 月	20 日	第 17 回全国女性消防操法大会出場（美川方面隊古味女性消防隊）
	11 月	25 日	久万第 2 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 18 年	4 月	1 日	女性消防団員 21 名となる
	7 月	23 日	第 1 回久万高原町消防操法大会
平成 19 年	2 月	19 日	日本消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
		27 日	久万第 4 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	10 月	22 日	久万第 3 分団第 1 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	7 日	携帯用投光器 197 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
	11 月	7 日	投光器一式 8 基配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 20 年	3 月	7 日	消防庁長官表彰（表彰旗）を受章
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選
	6 月	29 日	第 2 回久万高原町消防操法大会
	12 月	6 日	携帯用投光器 270 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 21 年	2 月	20 日	久万第 4 分団第 3 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		20 日	美川第 2 分団第 4 部積載車更新（電源立地地域対策交付金事業）
	7 月	11 日	小型動力ポンプ更新整備事業 6 台（地域活性化・生活対策臨時交付金事業）
	10 月	9 日	久万第 3 分団第 3 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	24 日	消防団管理積載車に搭載していない可搬ポンプ 22 台を地域移管
	12 月	20 日	携帯用投光器 250 個配備（消防基金安全装備品助成事業）

平成 22 年	3 月	2 日	美川第 2 分団第 2 部小型動力ポンプ付き積載車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
		29 日	久万第 2 分団第 1 部ポンプ自動車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
		31 日	消防団車庫 50 施設中 13 施設修繕工事实施 (町単独事業)
	4 月	30 日	消防団車庫 50 施設中 8 施設新築工事实施 (地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業)
	6 月	20 日	第 3 回久万高原町消防操法大会
	11 月	12 日	ケブラー手袋 230 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
		29 日	久万第 1 分団第 2 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 23 年	1 月	21 日	柳谷第 1 分団第 1 部多機能型車両受領 (日本消防協会)
	2 月	23 日	面河第 1 分団第 2 部及び第 3 部並びに美川第 1 分団第 2 部及び 第 3 分団第 3 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
	3 月	30 日	久万高原町消防団本部拠点施設新築工事竣工 (地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業)
	4 月	1 日	消防団幹部 (副分団長以上) 3 年任期により役員改選
		15 日	久万第 2 分団第 2 部詰所車庫改築工事竣工 (地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業)
平成 24 年	2 月	6 日	ケブラー手袋 230 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
	3 月	16 日	久万第 3 分団第 2 部積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	6 月	24 日	第 4 回久万高原町消防操法大会
	6 月	28 日	バルーン式投光器 5 台配備 (消防団安全対策設備整備費補助事業)
	9 月	28 日	テント 3 張、パイプイス 30 台配備 (コミュニティ助成事業)
	11 月	29 日	ケブラー手袋 257 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
	12 月	21 日	久万第 2 分団第 3 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 25 年	1 月	18 日	雨衣 401 着配備 (町単独事業)
	2 月	26 日	日本消防協会長表彰 (竿頭綬) を受章
	4 月	1 日	女性消防団員 23 名となる
	7 月	1 日	女性消防団員 25 名となる
		29 日	雨衣 323 着配備 (町単独事業)
	10 月	31 日	久万第 4 分団第 1 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	11 月	25 日	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
		26 日	及び東日本大震災被災地復興視察
	3 月	2 日	愛媛県消防協会長表彰 (竿頭綬) を受章
平成 26 年		21 日	面河第 1 分団第 1 部多機能型車両及び拠点資機材等受領 (総務省消防庁)
	4 月	1 日	消防団幹部 (副分団長以上) 3 年任期により役員改選 女性消防団員 26 名となる
	4 月	16 日	土居団長、愛媛県消防協会長へ就任
	5 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	5 月	11 日	土居団長、日本消防協会監事及び全日本消防人共済会総代へ就任
	6 月	22 日	第 5 回久万高原町消防操法大会

	6 月	12 日	救助用半長靴 700 足配備（消防基金安全装備品助成事業）
	2 月	1 日	全方面隊合同訓練（ふるさと旅行村）
	11 月	1 日	女性消防団員 25 名となる
平成 27 年	2 月	13 日	広島市土砂災害視察（幹部研修）（～14 日）
	5 月	11 日	新任団員研修会
	6 月		消防団組織再編に向けた方面隊現状確認
	10 月		〃
	12 月		〃
平成 28 年	1 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	5 月	17 日	土居団長、愛媛県消防協会長を留任
	6 月	17 日	土居団長、日本消防協会理事へ就任
		19 日	第 6 回久万高原町消防操法大会
	8 月	24 日	全国救助技術大会視察（幹部研修）
	11 月	29 日	団本部防災活動車（三菱デリカ）を受領（日本消防協会）
平成 29 年	3 月	7 日	日本消防協会特別表彰「まとい」を受章
	4 月	1 日	女性消防団員 23 名となる
	5 月	10 日	面河地区前組の火災出動範囲を変更（久万 3-1、3-2 を加える）
		27 日	特別表彰「まとい」受章祝賀会を開催
	6 月	1 日	役場本庁職員 15 人体制で団本部消防隊を結成
	11 月	30 日	面河第 2 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 30 年	3 月	7 日	消防団 125 年・自治体消防 70 周年記念大会参加
	5 月	18 日	土居団長、愛媛県消防協会長を留任
	6 月	1 日	女性消防団員 26 名となる
		15 日	土居団長、日本消防協会副会長へ就任
		17 日	第 7 回久万高原町消防操法大会
	7 月	1 日	女性消防団員 25 名となる
	8 月	28 日	救助用半長靴兼防火用長靴を面河方面隊に配備（コミュニティ助成事業） ヘルメット更新配備 665 個（町単独事業）
	10 月	17 日	活動服更新配備 700 着（町単独事業）
		23 日	アポロキャップ配備 700 個（町単独事業）
	12 月	13 日	防火衣（48 着）・防火帽（48 個）更新配備 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 31 年	3 月	5 日	日本消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
令和元年	6 月	8 日	岡山県倉敷市真備町豪雨災害視察（幹部研修）（～9 日）
	9 月	2 日	第 1 回消防団再編検討委員会
	10 月	20 日	新任団員研修会
	10 月	25 日	第 2 回消防団再編検討委員会
	11 月	8 日	救助用半長靴兼防火用長靴を柳谷方面隊に配備 （消防団安全装備品整備事業）
	11 月	27 日	第 3 回消防団再編検討委員会
	12 月	4 日	団本部指令車（日産エクストレイル）を受領（日本消防協会）
	12 月	19 日	防火衣（50 着）・防火帽（50 個）更新整備 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）

令和 2 年	2 月	16 日	愛媛県消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選 愛媛県消防団広域相互応援協定を締結
	5 月	1 日	美川地区の火災出動範囲を変更（方面隊管轄内出動）
	6 月	21 日	第 8 回久万高原町消防操法大会 （新型コロナウイルス感染防止のため延期）
	6 月	24 日	土居団長、日本消防協会副会長を退任
	8 月	6 日	土居団長、愛媛県消防協会会長を退任
	8 月	11 日	消防団移動系無線整備基本設計（町単独）
	9 月	13 日	土居団長、消防団長を退任
	9 月	14 日	立野副団長、消防団長へ就任
	9 月	30 日	救助用半長靴兼防火用長靴を美川方面隊第 3 分団に配備 （消防団安全装備品整備事業）
令和 3 年	2 月	21 日	令和 3 年久万高原町消防団出初式 （新型コロナウイルス感染防止のため中止）
	3 月	3 日	本部消防隊消防ポンプ自動車及び救助資機材受領（総務省消防庁）
	3 月	8 日	美川第 2 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	3 月	15 日	消防団移動系無線整備実施設計（町単独）
	3 月	16 日	携帯用デジタル簡易無線機 160 台購入 （消防団救助能力向上資機材緊急整備事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	7 月	1 日	美川地区の火災出動範囲を変更（分団管轄内出動）
	9 月	14 日	救助用半長靴兼防火用長靴を美川方面隊第 1 分団第 2 分団に配備 （消防団安全装備品整備事業）
令和 4 年	2 月	20 日	令和 4 年久万高原町消防団出初式 （新型コロナウイルス感染防止のため中止）
	3 月	16 日	久万第 4 分団第 4 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	条例改定に伴い、定数及び報酬を 1 部変更
	8 月	7 日	第 33 回愛媛県消防操法大会（久万第 1 分団第 3 部）
	10 月	21 日	救助用半長靴兼防火用長靴を久万方面隊に配備（コミュニティ助成事業）
令和 5 年	2 月	19 日	令和 5 年久万高原町消防団出初式
	3 月	10 日	柳谷第 1 分団第 3 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 22 名となる
	4 月	29 日	土居敏夫元団長、春の叙勲、瑞宝双光章を受章
	5 月	30 日	久万広域森林組合、愛媛県消防団協力事業所知事表彰授賞
	8 月	31 日	立野団長、消防団長を退任
	9 月	1 日	瀧内副団長、消防団長へ就任
令和 6 年	2 月	18 日	令和 6 年久万高原町消防団出初式
	3 月	29 日	柳谷第 1 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 21 名となる
	6 月	23 日	第 8 回久万高原町消防操法大会

	7 月	28 日	第 34 回愛媛県消防操法大会（柳谷第 1 分団）
令和 7 年	2 月	16 日	令和 7 年久万高原町消防団出初式
	2 月	5 日	久万第 1 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	2 月	5 日	美川第 3 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （電源立地地域対策等交付金事業）
令和 8 年	2 月	5 日	久万第 4 分団第 3 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	2 月	5 日	柳谷第 1 分団第 2 部小型動力ポンプ付積載車更新 （電源立地地域対策等交付金事業）
	3 月	15 日	令和 8 年久万高原町消防団出初式

※旧町村別消防団の沿革については、平成 24 年度版年報以前を参照

階級別消防団員数・・・消防団員の高齢化対策が今後の課題

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～ 64歳	65歳 以上	合 計
団 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
副 団 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4
分 団 長	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	5	9
副分団長	-	-	-	-	-	-	1	2	2	2	4	11
部 長	-	-	1	-	-	1	4	5	4	12	4	31
班 長	-	-	2	2	10	10	15	14	12	3	18	86
団 員	1	6	19	27	34	34	55	48	43	43	94	404
(うち女性団員)	-	-	2	2	-	-	4	5	2	-	6	21
合 計	1	6	22	29	44	45	75	70	61	64	129	546

消防団員の職業構成

職業構成別の 状況	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業
	65	57	1	1	72	13
	電気・ガス 熱供給・ 水道業	運輸 通信業	御売業 小売業 飲食店	金融業 保険業	不動産業	サービス業
	9	19	16	2	0	67
	公務・ 他に分類さ れないもの	分類不能 の産業	その他	合計		
	182	0	42	546		

※ 内訳	国家公務員	日本郵政公社 職員	地方公務員	特殊法人等公務員に 準ずる職員
	0	6	117	59

就業形態別の 状況	雇用者	役員	雇用のある 業主	雇用のない 業主	家族従業者	家庭内職者
	375	5	18	30	23	15
	その他	合計				
	80	546				

年齢別消防団員数

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 以上	合 計	平均 年齢
久万高原町消防団	1	6	22	29	44	45	75	70	254	546	53.5
内女性団員	—	—	2	2	—	—	4	5	8	21	53.0

在職年数別消防団員数

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
久万高原町消防団	46	84	65	76	60	61	154	546
内女性団員	1	4	6	7	3	—	—	21

消防団員の退職・新任状況

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
退職	1	3	5	3	4	2	17	35
区 分	25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳以上	合 計
新任	2	2	0	3	6	0	8	21

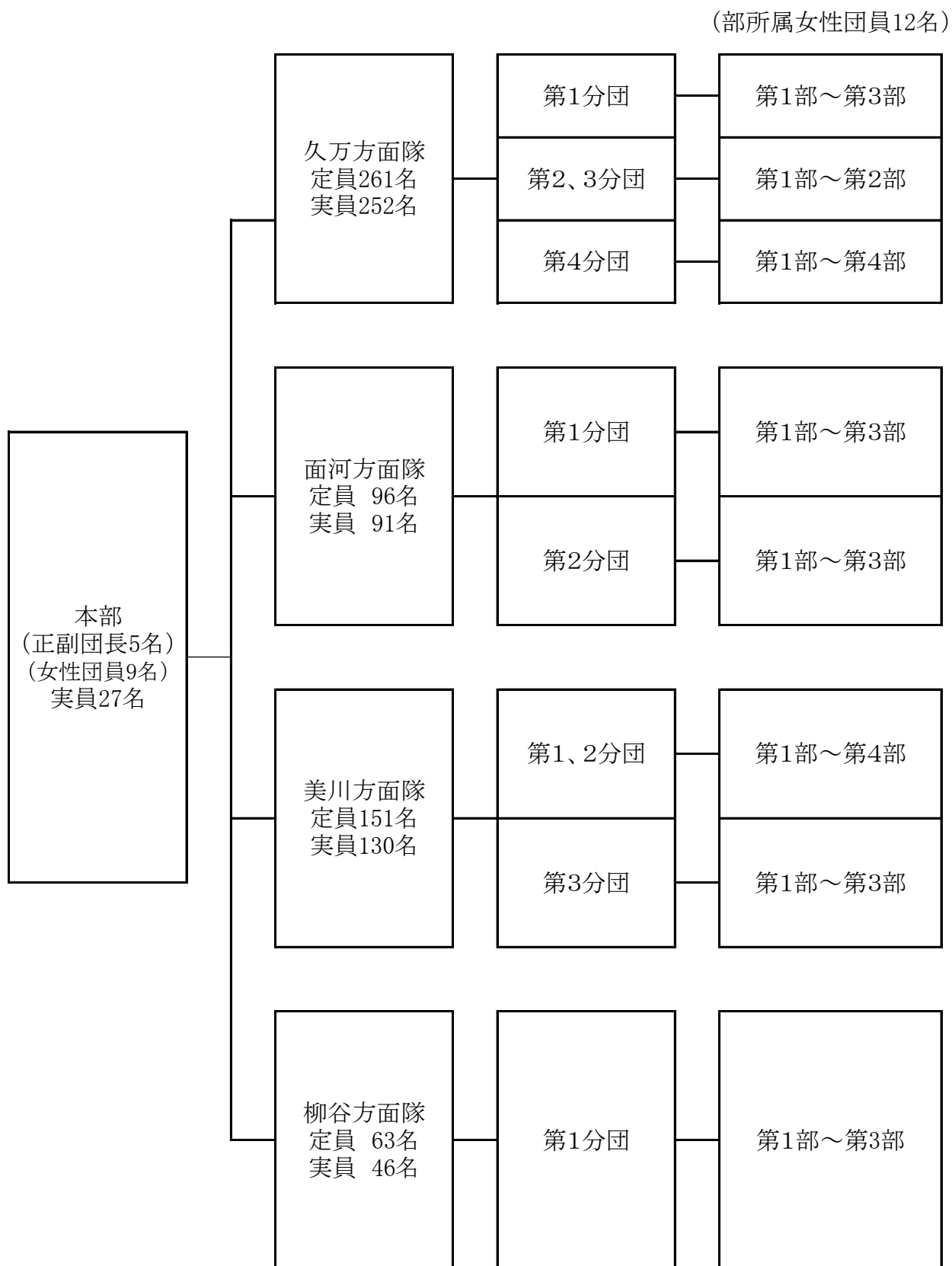
消防団年俸調べ

団 長	副団長 (本部付)	副団長 (方面隊長兼務)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
134,500	107,500	87,500	65,500	54,500	51,500	39,500	36,500

消防団手当調べ

火災出動手当	風水害出動手当	警戒出動手当	教養訓練出動手当	その他の手当
4,000(4時間未満)	4,000(4時間未満)	4,000(4時間未満)		
8,000(4時間以上)	8,000(4時間以上)	8,000(4時間以上)	4,300	2,000

久万高原町消防団組織図



各方面隊別出動範囲

方面隊	分団	管轄		出動範囲
久万方面隊	第1分団	東明神	全域	第1分団・第2分団管轄内
		西明神		
		入野		
		久万	住安・本町・辻	
		菅生	槻之沢・北村・高野・東国(一部)	
	第2分団	久万	桂町・福井・曙・緑ヶ丘・旭ヶ丘	
		菅生	中組・中通・東国(一部)・中野村・槇谷	
		上野尻	全域	
		下野尻		
	第3分団	上畑野川	全域	第4分団管轄内
		下畑野川		
		直瀬		
	第4分団	露峰	全域	
父野川				
二名				
面河方面隊	第1分団	渋草		方面隊管轄内
		笠方		
		前組		
		相の峰		
		大成		
	第2分団	本組		
		中組		
		若山		
		河の子		
		相の木		
美川方面隊	第1分団	上黒岩		分団管轄内
		有枝		
		中黒岩		
		大川		
		沢渡		
	第2分団	七鳥		
		仕出		
		東川		
	第3分団	日野浦		
		黒藤川		
柳谷方面隊	第1分団	柳井川		方面隊管轄内
		西谷		
		中津		

本部消防隊

<消防ポンプ自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
本 部 消 防 隊	昼間(全町対応) 夜間(本部後方支援)	ト ヨ タ	LDF - KDY231改	2,980	5	2021 . 03	愛媛 800 す 94 - 23

久万方面隊

<消防ポンプ自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第3部	東明神・西明神 入野・久万・菅生	三 菱	KK - FG52EC	5,240	26	2000 . 12	愛媛 800 さ 28 - 62
第2分団第1部	上野尻・下野尻	日 野	BDG - XZU378M	3,990	16	2010 . 03	愛媛 800 す 30 - 70

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	東明神・西明神 入野・久万・菅生 上野尻・下野尻	ダイハツ 軽四	3BD - S710W	650	1	2025 . 02	愛媛 880 あ 31 - 74
第1分団第2部		ニ ッ サ ン	KG - SP6F23	2,660	23	2003 . 12	愛媛 800 さ 81 - 76
第1分団第2部		ダイハツ 軽四	EBD - S331W	658	16	2010 . 11	愛媛 800 あ 9 - 96
第2分団第2部		ニ ッ サ ン	KR - SR8F23	3,150	21	2005 . 11	愛媛 800 さ 99 - 02
第2分団第2部		ダイハツ 軽四	EBD - S331W	660	14	2012 . 12	愛媛 880 あ 12 - 89
第3分団第1部	上畑野川 下畑野川 直瀬 面河地区前組 (第2部)	ニ ッ サ ン	PDG - Z25F24	2,950	19	2007 . 10	愛媛 800 す 14 - 24
第3分団第2部		ト ヨ タ	LDF - KDY281	2,980	14	2012 . 03	愛媛 800 す 40 - 91
第3分団第2部		ニ ッ サ ン	PDG - SZ5F24	2,950	17	2009 . 10	愛媛 800 す 26 - 96
第3分団第1部		ト ヨ タ	KR - KDY270	2,490	21	2005 . 02	愛媛 800 さ 92 - 65
第4分団第1部	露峰 父野川 二名	ダイハツ 軽四	EBD - S331W	650	13	2013 . 10	愛媛 880 あ 14 - 38
第4分団第2部		ニ ッ サ ン	KR - SR8F23	3,150	19	2007 . 02	愛媛 800 す 9 - 61
第4分団第3部		ニ ッ サ ン	PDG - SZ5F24	2,950	17	2009 . 02	愛媛 800 す 22 - 86
第4分団第3部		ダイハツ 軽四	3BD - S710W	650	0	2026 . 02	愛媛 880 あ 33 - 25
第4分団第4部		ダイハツ 軽四	3BD - S710W	650	4	2022 . 03	愛媛 880 あ 27 - 86

<小型(可搬)ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	東明神 中組 (明神公民館)	ト ー ハ ツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2025	1
第1分団第2部	西明神 沖 (JA支所上)	ラ ビ ッ ト	P476 - 42kw	B - 3	2003	23
第1分団第2部	入野 (農業試験場前)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2010	16
第2分団第2部	野尻 (上野尻)	ト ー ハ ツ	V46BS - 28kw	B - 3	1998	28
第2分団第2部	中野村 (集会所下)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2012	14
第3分団第1部	下畑野川 (下畑野川公民館横)	ト ー ハ ツ	V46BS - 28kw	B - 3	1998	28
第3分団第2部	上直瀬 (公民館横)	ラ ビ ッ ト	P476 - 42kw	B - 3	2002	24
第3分団第2部	下直瀬 (中通)	シ バ ウ ラ	SF651M - 34kw	B - 3	1999	27
第3分団第1部	上畑野川 (上西之浦)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	17
第4分団第1部	二名 (富重)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2013	13
第4分団第2部	二名 (宮成)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	17
第4分団第3部	父野川 馬ノ地 (公民館横)	ト ー ハ ツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2026	0
第4分団第3部	露峰 (橋詰)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	17
第4分団第4部	露峰 (中村)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2022	4

面河方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	面河地区全域	いすゞ	TKG - NHS85AN	2,990	12	2014 . 03	愛媛 800 す 52 - 64
第1分団第1部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	24	2002 . 07	愛媛 800 さ 43 - 18
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	15	2011 . 02	愛媛 880 あ 10 - 32
第1分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	15	2011 . 02	愛媛 880 あ 10 - 33
第2分団第1部		ニッサン	TKG - SZ5F24	2,950	9	2017 . 11	愛媛 800 す 73 - 74
第2分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	25	2001 . 05	愛媛 800 さ 34 - 50
第2分団第3部		ニッサン	U - SM6F23改	2,280	33	1993 . 11	愛媛 88 す 9 - 74

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	洪草 里成 （役場支所前）	トーハツ	VF63AS - 22kw	B - 2	2014	12
第1分団第1部	洪草 竹の谷 （J A 支所前）	トーハツ	V75GM - 52kw	B - 2	2002	24
第1分団第2部	笠方 （八社神社下）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	15
第1分団第3部	前組 （支援センター横）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	15
第2分団第1部	本組 （八幡神社横）	トーハツ	V46AS - 27kw	B - 3	1995	31
第2分団第2部	中組 （中組公民館横）	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	1998	28
第2分団第3部	若山 （旧面河駐在所横）	トーハツ	V46AS - 27kw	B - 3	1995	31

美川方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	分団管轄内	ニッサン	KC - SN6F	2,490	29	1997 . 11	愛媛 88 す 43 - 14
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	15	2011 . 02	愛媛 880 あ 10 - 34
第1分団第3部		三菱軽四	GBD - U62T	650	21	2005 . 02	愛媛 880 あ - 13
第1分団第4部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	25	2001 . 05	愛媛 800 さ 34 - 51
第2分団第1部		ニッサン	GC - SK82LN	1,780	25	2001 . 05	愛媛 800 さ 34 - 55
第2分団第1部		ダイハツ軽四	3BD - S331W	650	5	2021 . 03	愛媛 880 あ 26 - 51
第2分団第2部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	16	2010 . 02	愛媛 800 す 29 - 75
第2分団第3部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	24	2002 . 11	愛媛 800 さ 49 - 20
第2分団第4部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	17	2009 . 02	愛媛 800 す 22 - 85
第3分団第1部		ダイハツ	3BD - S710W	650	1	2025 . 02	愛媛 880 あ 31 - 73
第3分団第1部		スバル軽四	GD - TT2	659	24	2002 . 03	愛媛 80 あ 19 - 00
第3分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	25	2001 . 05	愛媛 800 さ 34 - 53
第3分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	15	2011 . 02	愛媛 880 あ 10 - 31

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	大川（大川下中）	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	1995	31
第1分団第2部	有枝（八幡神社前）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	15
第1分団第3部	上黒岩（上本組）	トーハツ	VC52A - 34kw	B - 3	1996	30
第1分団第4部	沢渡（集会所横）	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	1999	27
第2分団第1部	仕出（筒城集会所横）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	17
第2分団第1部	東川（蓑川集会所横）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2021	5
第2分団第2部	七鳥（熊野神社上）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2010	16
第2分団第3部	西古味（集会所横）	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	25
第2分団第4部	東川（中村堀田宅横）	トーハツ	V25AS - 13kw	B - 3	2002	24
第3分団第1部	日野浦（大谷集会所西）	トーハツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2025	1
第3分団第1部	日野浦（成河藤社入口）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2002	24
第3分団第2部	黒藤川（旧黒藤川小学校）	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	25
第3分団第3部	黒藤川（旧二箇小学校下）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	15

柳谷方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	柳谷地区全域	いすゞ	CA - SE88MN	2,990	15	2011. 01	愛媛 800 す 34 - 78
第1分団第1部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	23	2003. 11	愛媛 800 さ 80 - 65
第1分団第1部		ダイハツ軽四	3BD - S710W	650	2	2024. 03	愛媛 880 あ 30 - 59
第1分団第2部		ダイハツ軽四	3BD - S710W	650	0	2026. 02	愛媛 880 あ 33 - 24
第1分団第2部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	23	2003. 11	愛媛 800 さ 80 - 64
第1分団第2部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	23	2003. 03	愛媛 800 さ 53 - 21
第1分団第2部		三菱	KK - FD70AB	2,830	23	2003. 03	愛媛 800 さ 52 - 31
第1分団第3部		ダイハツ軽四	3BD - S710W	650	3	2023. 03	愛媛 880 あ 29 - 30
第1分団第3部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	24	2002. 11	愛媛 800 さ 49 - 23

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	柳井川落出（柳井川集会所）	トーハツ	VF63AS - 22kw	B - 2	2011	15
第1分団第1部	柳井川川前（川前集会所下）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	23
第1分団第1部	柳井川永野（永野）	トーハツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2024	2
第1分団第2部	西谷本谷（下四組集会所）	トーハツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2026	0
第1分団第2部	西谷名荷下（名荷下集会所）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	23
第1分団第2部	西谷古味（沖田石油向）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	23
第1分団第2部	西谷高野（旧高野集会所川向）	トーハツ	VC72AS - 46kw	B - 2	2003	23
第1分団第3部	中津旭（R 33バス停）	トーハツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2023	3
第1分団第3部	中津窪田（升田宅横）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	23

方面隊別消防団保有資機材

区分	装 備	久 万 (本部含む)	面 河	美 川	柳 谷	合 計
車 両	消防ポンプ自動車	3	－	－	－	3
	小型動力ポンプ付積載車	14	7	13	9	43
放 水 器 具	ホース 65mm	277	100	182	122	681
	吸水管	24	12	18	9	63
	管槍口	40	22	23	18	103
	双口接手(分岐金具)	23	8	14	10	55
	中継金具(65-70ネジ)	33	9	19	14	75
	消火栓開閉金具	49	11	21	14	95
	簡易布水槽	14	6	6	12	38
	スタンドパイプ	9	2	－	－	11
	消火水囊	7	17	1	1	26
	防火衣	40	14	26	18	98
照 明	発電機	9	6	3	3	21
	携帯用投光器	9	8	12	5	34
無 線 機	携帯用無線機	39	17	20	9	85
	車載用無線機	17	7	13	9	46
そ の 他 防 災 用 資 機 材	鳶口	99	43	84	45	271
	チェーンソー	1	3	1	3	8
	警戒用ロープ	10	6	4	5	25
	スコップ	45	13	36	44	138
	エンジンカッター	4	1	2	3	10
	水中ポンプ	1	1	－	1	3
	携行缶(GS)	24	10	19	12	65
	ホースブリッジ	17	7	14	3	41
	コードリール	8	8	3	5	24
	懐中電灯(LED)	7	－	13	23	43
	救助用ジャッキ	1	－	－	－	1
	油圧切断機	1	1	－	1	3
	救命胴衣	－	5	－	－	5
	担架	4	7	5	4	20
	自動体外式除細動器(AED)	1	1	－	1	3
	拡声器	2	1	－	2	5
	土嚢袋	3,000	1,000	1,300	1,100	6,400
	ケブラー手袋	団員数	団員数	団員数	団員数	546
	雨衣	団員数	団員数	団員数	団員数	546
	救助用半長靴(安全ゴム長靴)	団員数	団員数	団員数	団員数	546

消防団幹部調べ

< 久万高原町消防団 >

令和7年4月1日 現在

階 級	氏 名	住 所
団 長	瀧 内 光 雄	大川

< 久 万 方 面 隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	山 本 英 二	久万
第 1 分団長	小 倉 重 生	東明神
第 1 副分団長	古 岡 剛	入野
第 2 分団長	水 谷 文 昭	久万
第 2 副分団長	土 居 憲 二	上野尻
第 3 分団長	竹 田 英 一	直瀬
第 3 副分団長	八 塚 勝 博	上畑野川
第 4 分団長	河 野 勝 博	露峰
第 4 副分団長	寺 岡 雅 博	二名

< 面 河 方 面 隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	十 亀 直 彦	洪草
第 1 分団長	木 下 正	洪草
第 1 副分団長	菅 貴 義	洪草
第 2 分団長	菅 明 義	洪草
第 2 副分団長	高 岡 公 明	中組

< 美 川 方 面 隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	倉 橋 正	上黒岩
第 1 分団長	岡 林 幸 治	上黒岩
第 1 副分団長	佐 々 山 幹 彦	大川
第 2 分団長	木 岡 加 寿 樹	東川
第 2 副分団長	山 崎 剛	七鳥
第 3 分団長	中 岡 正 行	日野浦
第 3 副分団長	猪 野 勉	上野尻

< 柳 谷 方 面 隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	橋 本 福 幸	柳井川
第 1 分団長	舘 野 勉	西谷
第 1 副分団長	佐 賀 幸 一	中津

久万高原町消防団長

初 代	大 野 健 二	H16.8.1 ～ H20.3.31
二 代	土 居 敏 夫	H20.4.1 ～ R2.9.13
三 代	立 野 好 仁	R2.9.14 ～ R5.8.31
四 代	瀧 内 光 雄	R5.9.1 ～

久万高原町消防操法大会成績表

※令和4年度以降の地区大会は県の操法大会種目とした。

※ポンプ車操法については地区大会を行わず、久万方面隊第1分団・第2分団が交互に県大会へ出場する。

<小型動力ポンプの部>

大会回数	開催年月日	出場数	優 勝	準優勝
第1回	平成18年7月23日	11	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第1分団
第2回	平成20年6月29日	10	美川方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団
第3回	平成22年6月20日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第2分団
第4回	平成24年6月24日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団
第5回	平成26年6月22日	10	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団
第6回	平成28年6月19日	11	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第2分団
第7回	平成30年6月17日	10	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団
第8回	令和2年6月21日	-	新型コロナウイルス感染防止のため延期	
第8回	令和3年-月-日	-	新型コロナウイルス感染防止のため延期	
第8回	令和6年6月23日	6	柳谷方面隊 第1分団	美川方面隊 第1分団

<ポンプ自動車の部>

大会回数	開催年月日	出場数	優 勝
第1回	平成18年7月23日	1	久万方面隊 第2分団
第2回	平成20年6月29日	1	久万方面隊 第1分団
第3回	平成22年6月20日	1	久万方面隊 第2分団
第4回	平成24年6月24日	1	久万方面隊 第1分団
第5回	平成26年6月22日	1	久万方面隊 第2分団
第6回	平成28年6月19日	1	久万方面隊 第1分団
第7回	平成30年6月17日	1	久万方面隊 第2分団
第8回	令和2年6月21日	-	新型コロナウイルス感染防止のため延期
第8回	令和3年-月-日	-	新型コロナウイルス感染防止のため延期
第8回	令和4年-月-日	-	久万方面隊第1分団が出場

※町村合併以前の操法大会成績表については、令和2年度版年報以前を参照

愛媛県消防操法大会成績表

※出場種目については、直近の全国大会出場種目に限定する。
(令和3年12月 愛媛県消防操法大会に係る会議の審議結果より)

<小型ポンプの部>

大会回数	開 催 年 月 日	参加数	出 場 分 団	成績
第 24 回	平成 18 年 9 月 17 日	17	久万高原町消防団 柳谷方面隊第2分団	
第 25 回	平成 20 年 7 月 27 日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第2分団	
第 26 回	平成 22 年 7 月 25 日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第 27 回	平成 24 年 7 月 29 日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第 28 回	大会日、予備日とも警報発令により中止		久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第 29 回	平成 28 年 7 月 31 日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第 30 回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 面河方面隊第2分団	
第 31 回	新型コロナウイルス感染防止のため延期			
第 32 回	新型コロナウイルス感染防止のため中止			
第 34 回	令和 6 年 7 月 28 日	16	久万高原町消防団 柳谷方面隊第1分団	

<ポンプ自動車の部>

大会回数	開 催 年 月 日	参加数	出 場 分 団	成績
第 23 回	平成 16 年 9 月 5 日	16	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第 24 回	平成 18 年 9 月 17 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第 25 回	平成 20 年 7 月 27 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第 26 回	平成 22 年 7 月 25 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第 27 回	平成 24 年 7 月 29 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第 28 回	大会日、予備日とも警報発令により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第 29 回	平成 28 年 7 月 31 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第 30 回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第 31 回	新型コロナウイルス感染防止のため延期			
第 32 回	新型コロナウイルス感染防止のため中止			
第 33 回	令和 4 年 8 月 7 日	13	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	10位

※町村合併以前の操法大会成績表については、令和2年度版年報以前を参照

消 防 年 報

令和 7 年度版

発行日 令和 8 年 9 月 1 日

発 行 久万高原町消防本部

〒791-1207

上浮穴郡久万高原町下野尻甲 33 番地

TEL (0892) 21-2411

FAX (0892) 21-2656

久万高原町
イメージキャラクター

ゆいぼう

